

## 南琉球宮古語下地皆愛方言 一簡略記述・談話資料・語彙集一<sup>1</sup>

セリック・ケナン

京都大学/NINJAL・takamori.celik@gmail.com

キーワード：南琉球宮古語、文法記述、言語ドキュメンテーション

### 1 はじめに

南琉球宮古語は伝統的に宮古諸島で話されている言語である。一つの言語であるとはいえ、集落単位で言語変種が異なり、少なくとも 40 の方言があると考えられる。現在は、数多くの記述研究が蓄積されており、詳細な記述が存在している方言が多くなっている(伊豆山 2002、下地来間:杉村 2003、伊良部長浜:Shimoji 2008、大神:Pellard 2009、池間西原:林 2013 など)。これらの研究により、宮古語の文法体系に対する理解が大きく深められてきた。しかし、記述の乏しい方言はいまだにたくさん残っており、宮古語の言語的な多様性が完全に明らかになっていないとは言えない。それに加えて、宮古語の正確な談話資料が一般的に少ないという状況が続いている。この 2 点を省みて、本稿では今まで記述のなかった下地皆愛方言を取り上げ、簡略記述、談話資料と語彙集を作成する。

### 2 下地皆愛方言の簡略記述

#### 2.1 下地皆愛方言とは

皆愛方言は、宮古島の下地地域(上野村分村後の旧下地町)にある皆愛集落で話されている方言である。この集落は、平良方面からの一家に加えて上地(下地)と与那覇(下地)の村民とが移住して、近世末期にできたという(畑 1983)。筆者の観察では、皆愛方言は上地方言に近く、与那覇方言や平良方言とは一線を画している。このことから、村の創設において上地からの移住者が大半であったことが想像される。現在は集落内に 40 名ほどの住人がいるが、他の地域への移住者が多いため、皆愛出身者の数はそれより多いと考えられる。宮古のほかの地域と同様に、若い世代においては日本語への移行が進んでおり、宮古語が流暢に話せるのはおおよそ昭和 30 年以前に生まれた世代である。また、すべての皆愛方言話者は日本語との二重言語使用者である。

#### 2.2 先行研究とデータ

皆愛方言に関する先行研究は、琉球方言クラブが編集した、農業を中心にした語彙を集めた冊子しかない(琉球方言クラブ 2017)<sup>2</sup>。本稿で扱うデータは、2014 年 4 月より現在までの数多くの実地調査で、主に昭和 30 年生(男性)と昭和 23 年生(女性)の話者から得たものである。

#### 2.3 音素目録と音韻的規則

---

<sup>1</sup> 本研究はインフォーマントの長間三夫氏と友利京子氏の多大なるご協力によって可能となった。彼らは長年の間、日々の生活に追われながら自分たちの故郷の言葉をあきることなく丁寧に教えてくださった。心から感謝いたします。

<sup>2</sup> 丁寧な意味記述が施されているのとは対照的に、収録されている語形が正確であるとは言えない。また、この方言の音声的な実態に即していない音声記号が用いられている。

表 1 音素目録

子音	p, b, m, f, v, t, d, n, ts, dz, s, z, r, j, k, g, (h) <sup>3</sup>
二重子音	pp, mm, ff, vv, tt, nn, tts, ss, kk
母音	i, ɿ <sup>4</sup> , u, a
長母音	i:, ɿ:, u:, a:, o:
母音連続	iɿ, ui, uɿ, ai, aɿ

[te, dz, ɛ, z] の口蓋子音も存在しており、それぞれ [ts, dz, s, z] との最小対語が得られるが、前者の子音は、後者の子音とグライドの連続として分析することができる。そのため、te, dz, ɛ, z を音素として立てず、その代わりにそれらの音声を子音とグライドの連続として分析する(1.)。この分析を採用すると、(グライドを除いた) どの子音もグライドに後続されうるという一般化が成立する(2.)。なお、i の後に a や u が続くと、i がグライド化する(3.)。グライド化した i に続く母音が短母音ならば代償延長が起こる(4.)。そのほかに、i と結合する ts, dz, s, z が口蓋化する (2.4 節以降は [te, dz, ɛ, z] を tsj, dzj, sj, zj、[C<sup>i</sup>V] を CjV のように表記する)。

- (1.) [te, dz, ɛ, z] は tsj, dzj, sj, zj のように分析する
- (2.) 子音とグライドの連続が許される
- (3.) i > [j] / \_{a(:), u(:)}
- (4.) iV > [jV:] / V = {a, u}<sup>5</sup>
- (5.) ts, dz, s, z > [te, dz, ɛ, z] / \_i

u も a の前でグライド化することがある。この規則は u 終りの語彙に主題の助詞 =a が付与されるときに適用される(6.)。長母音は同じ母音の連続として分析する (節 2.4 以降は「:」を用いず「V<sub>1</sub>V<sub>1</sub>」のように表記する)。母音の連続は融合し、母音に続く i の連続は省略される(9.)。

- (6.) ua > [ʷa:]
- (7.) au > [o:] 例: [pindzo:] //pindza=u// 「ヤギ=ACC」
- (8.) ua > [a:] 例: [juka:] //juku-a// 「休む-HORT」
- (9.) ii > [i] / V\_ 例: [bui] //bui-i// 「吠える-CVB」

m, n, v の子音が成節的になりうる。この方言では、\*ti, \*tu, \*si, \*su, \*ki, \*ku 由来の音節は有声子音に後続されるときや語末に立つときに基本的に有声性を伴って発音されており、フォルマントが観察できる。これらの音節が語末に立つ場合、語根末分節複写の際に有声性を持つ分節が複写される(2.3.1 節参照) ことも、これらの音節を成節的無声子音として分析することが不適切であること

<sup>3</sup> h はその分布が非常に限られており、擬音語や感動詞以外は ahjaa 「子どもを産めなくなった雌豚」の一語にしか見られない。この語は atjaa 「当て.TOP」などと最小対を成すので、h を音素として認めざるを得ない。

<sup>4</sup> この記号は宮古語の「摩擦母音」を表わす。この方言では歯茎の摩擦音を伴う「張唇後舌狭母音」である。

<sup>5</sup> (3.)と(4.)を一つの規則としてまとめない理由は、後続する母音の代償延長が起こるのが短母音の場合のみであるからである。

を示している<sup>6</sup>。

- (10.) mm 「芋」、nn 「はい (承諾)」、vv 「売る」  
 (11.) afu [afu] \*[afu] \*[af] 「カステラ」  
 (12.) makɿ [makɿ] \*[makɿ] \*[maksɿ] 「蒔く」  
 (13.) jaasɿ- 「ひもじい」 > jaasɿɿnu \*jaassnu 「ひもじい.ADJZ」

### 2.3.1 語根末分節複写

派生形容詞や(主に形容詞語根を元に作られる)延長重複形が形成されるときに、語根末の分節が複写される。ただし、語根末において同じ分節が2モーラにわたって連続すると複写が行われない。更に、-u や -i に終わるいくつかの頻度の高い形容詞は不規則的な形式を示す(若い世代における -i 終りの形容詞は規則的)。

表 2 語根末分節複写

語根	派生形容詞形	延長重複形	備考	
jam-	「痛い」	jammnu	jamm~jam	語根末分節複写
kiv-	「煙たい」	kivvnu	kivv~kiv	語根末分節複写
jaasɿ-	「ひもじい」	jaasɿɿnu	jaasɿɿ~jaasɿ	語根末分節複写
mɿɿ-	「新しい」	mɿɿnu	mɿɿ~mɿɿ	複写無し
nn-	「似ている」	nnnu	nn~nn	複写無し
ffu-	「黒い」	ffoonu	ffoo~ffu	不規則形
ssu-	「白い」	ssoonu	ssoo~ssu	不規則形
upu-	「大きい」	upoonu	upoo~upu	不規則形
imi-	「小さい」	imeenu	imee~imi	不規則形 (古い世代)
kagi-	「きれい」	kageenu	kagee~kagi	不規則形 (古い世代)
imi-	「小さい」	imiinu	imii~imi	規則形 (若い世代)
kagi-	「きれい」	kagiiinu	kagii~kagi	規則形 (若い世代)

### 2.3.2 形態音韻規則

対格助詞 =u、副助詞 =atsɿm と主題助詞 =a が付与されるときに、いくつかの形態音韻変化が見られる。

表 3 形態音韻的規則

語末	=u	=atsɿm	=a
-n	-n=nu	-n=natsɿm	-n=na
-m	-m=mu	-m=matsɿm	-m=ma
-tsɿ, -dzɿ	-t=tsu	-t=tsatsɿm	-t=tsa
-sɿ	-s=su	-s=satsɿm	-s=sa
-fu	-f=fu	-f=fatsɿm	-f=fa
-pɿ, -bɿ, -kɿ, -gɿ, -Vɿ	-ɿ=zu	-ɿ=zatsɿm	-ɿ=za
-VV	-VV=ju	-VV=jatsɿm	-VV=ja

<sup>6</sup> ただし、\*ti、\*tu、\*si、\*su、\*ki、\*ku 由来の音節を統一的に扱えない可能性もある。特に「語末」・「語末以外」、後続する子音の有声性やオンセットの子音などを条件に分岐が起こっているシナリオも考えられるが、詳細な議論は省く。

## 2.4 品詞

主な品詞としては、名詞、動詞、形容詞、副詞が認められる。名詞は、補語として機能する句の主要部として働く。動詞は、屈折接尾辞を伴い、節の述語として機能する。形容詞は名詞を、副詞は述語や節を修飾する。それに加えて、数詞、助数詞、感動詞という品詞もある。また、いくつかの品詞を跨いでいる範疇に指示詞と疑問詞がある。

### 2.4.1 数詞と助数詞

数詞と助数詞は、*tuu*「十」を除いて、拘束形態素である。数詞と助数詞が結合し、数量詞（名詞相当）を形成する。主なものを以下示す。

- (14.) 数詞 : *pɪtu-*「一」、*futa-*「二」、*mɪ(ɪ)-*「三」、*ju(u)-*「四」、*itsɪ-*「五」、*m(m)-*「六」、*nana-*「七」、*ja(a)-*「八」、*kukunu-*「九」、*tu(u)*「十」、*pata-*「廿」、*-su-*「十倍」、*mumu*「百」、*pjaaku*「百」  
 (15.) 助数詞 : *-tsɪ*「～つ、～才」、*-kuu*「～個」、*-kara*「～匹、～頭」、*-sɪdzɪ*「～粒、～個」、*-ɟza*「～枚」、*-kiv*「～軒」、*-taaɪ*「～人」、*-para*「村」、*-ka*「～日」、*-ti*「～年」、*-n*「～回」

普通の名詞は基本的に数詞と直接結合することができない。しかし、期間や容量などを含意する名詞は、数詞と結合ができ、助数詞のように使われる。

- (16.) *tsɪkɪ*「月」、*pɪtu-tsɪkɪ*「一ヶ月」、*futa-tsɪkɪ*「二ヶ月」など  
 (17.) *paku*「箱」、*pɪtu-paku*「一箱」、*futa-paku*「二箱」など

### 2.4.2 感動詞

感動詞は単独で使われ、一つの発話を成す。様々な感情を表すもの、応答・承諾を表すものや、談話標識となるものなどがある。いくつかの例を挙げる。

- (18.) *aba*「驚き」、*ahaa*「理解する瞬間」、*egee*「嫌悪など」、*agai*「感動詞」<sup>7</sup>  
 (19.) *oo*「はい（目上に対して）」、*nn(na)*「はい（同等や目下に対して）」、*aai*「いえ」  
 (20.) *nnja*「フィルター」、*nn*「検索中」、*(?)ee*「修正」

### 2.4.3 指示詞

指示詞は3系列（*ku-*：近称1、*u-*：近称2、*ka-*：遠称）である。3系列とも直示的用法を持っているが、前方照応の用法は近称2の系列に限る。指示詞の語根を元に様々な品詞の語が作られる。また、指示詞の語根は、*nagi*「長さ」、*nagai*「永さ」、*daki*「高さ」、*pugi*「大きさ」、*sɪki*・*sɪka*「量」、*daanaa*「遠さ」などの名詞と結合して一種の副詞を作る。この場合、近称1は小、近称2は中、遠称は大の程度を表わす(21.)(22.)(23.)。

<sup>7</sup> 抑揚により、様々な感情を表わす。

表 4 指示詞の体系

形式	品詞	近称 1	近称 2	遠称
(語根)「こ」		ku-	u-	ka-
名詞形「これ」 <sup>8</sup>	名詞	ku(r)i	u(r)i	ka(r)i
場所形「ここ」	名詞	kuma	uma	kama
修飾形「この」	連体詞	kunu	unu	kanu
副詞形「このように」	副詞	kan	an	無し
副詞形「このように」	副詞	kaneii	aneii	無し
感嘆形	感動詞	kuja	uja	kaja
フィラー形	感動詞 (談話標識)	kunu(u)	unu(u)	kanu(u)

(21.) ku-sɿki 「こんなにたくさん (少量)」

(22.) u-sɿki 「そんなにたくさん (中間ぐらいの量)」 (前方照応の用法もある)

(23.) ka-sɿki 「あんなにたくさん (大量)」

以上の形式に加えて、仕草直示的な副詞 eetti 「(仕草をしながら) こうして」もある(24.)。

(24.) fukkin      ui=shii                      eettii                      fuky=uu-taa=ttsa  
 布巾          PROX2=INST                      このように                      拭く=IPF-PST=HS  
 「布巾、それで、こう (動作を示しながら) 拭いていたそうだ」(自然談話)。

#### 2.4.4 疑問詞

表 5 疑問詞

品詞	疑問詞	形式
名詞	誰 (主格・属格専用)	taa
	誰	too
	何	noo
	どれ	ndzi
	どこ	ndza
	いつ	itsɿ
副詞	どう	nooeii
	なぜ	noo, nootii, noosɿti
接頭辞	どれほど、どれぐらい	i-
	幾	ifu-

特定不定詞 (specific indefinite pronoun) は、疑問詞に =garaa を付けて形成する(25.)。不特定不定詞 (non-specific indefinite pronoun) は、疑問詞が主要部となっている句に =mai をつけて表す(26.)。または疑問詞同士を複合語化させて形成することもできる(27.)。

(25.) too=garaa 「誰=INDER (誰か)」

(26.) too=mai 「誰=INC (誰も、誰でも、everybody/nobody)」

<sup>8</sup> r が脱落している形式 kui、ui、kai の方がよく使われる。

(27.) too+doo<sup>9</sup> 「誰+誰 (だれそれ)」

## 2.5 名詞

### 2.5.1 指称辞-gama

指称辞の -gama は、名詞を派生させ、大きさや程度の小さいこと、量の少ないこと、距離の近いことなどを表す。そのほかに軽蔑の意味合いを表すこともできる。さらに、動詞の名詞形にも付き、「少し～する」という意味を表す。なお、この接尾辞は名詞に限らず、派生形容詞や副詞にも附く。

(28.) 大きさの小さいこと : mii-gama 「目-DIM (小さな目)」

(29.) 量の少ないこと : dzin-gama 「金-DIM (少量のお金)」

(30.) 距離の近いこと : jukaara-gama 「横-DIM (すぐ横)」

(31.) 軽蔑 : kateoo-gama 「課長-DIM (課長め)」

(32.) 動詞の名詞形 : juku-u-gama 「休む-NMLZ-DIM (少し休むこと、ちょっと休むこと)」

(33.) 派生形容詞 : mmi-inu-gama 「小さい-ADJZ-DIM (ちっちゃい)」

(34.) 副詞 : mmittea-gama 「少し-DIM (ほんの少し)」

### 2.5.2 複数の派生接辞 -ta、-nukjaa

指称辞の後に位置する2つの複数接辞、-ta と -nukjaa とがある。どの接辞が使われるかは、この言語の名詞の階層性によって決まる。

表 6 複数接辞の分布

-ta	代名詞、指示詞、疑問詞の一部 (誰、どこ、どれ)
-ta / -nukjaa	呼称可能名詞 (固有名詞、目上の親族名詞など)
-nukjaa	その他の名詞

(35.) ban-ta 「私-PL」、ui-gama-ta 「それ-DIM-PL」、too-ta 「誰-PL」

(36.) adza-ta、adza-nukjaa 「兄-PL」、eateoo-ta、eateoo-nukjaa 「社長-PL」

(37.) ututu-nukjaa (\*ututu-ta) 「弟妹-PL」、noo-nukjaa (\*noo-ta) 「何-PL」

一人称においては、排他的複数 banta 「1PL.EXCL」 < \*ban-ta 「私-PL」と包括的複数 duuta 「1PL.INCL」 < \*duu-ta 「REFL-PL」の区別がある<sup>10</sup>。

### 2.5.3 格助詞に先行する助詞

派生接辞の後、格助詞の前に位置する3つの助詞がある。これらは、=tssu 「～め、～のやつ」、場所や方向名詞などに附く =nagi 「～あたり」と数量詞によく附く =bakaaŋ 「～ぐらい」である。

(38.) nuuma=tssu=mai 「馬=EMPH=INC (馬のやつも)」

<sup>9</sup> 連濁が起こっているということが、この形式が重複形ではなく、複合語であることを示す。

<sup>10</sup> いわゆる「原双数」の形式 baafutaa (下地 2017) は得られなかった。「私達二人」に対して、「二人」のところを訳出しないのが普通である。その意味合いを話者に強いて訳してもらおうと、分析的な表現が使われる。なお、この方言の duu 「REFL.SG」は、伊良部や池間方言の duu 「REFL.SG, 1PL.INCL」と違って、単数専用形である。

(39.) uma-ta=nagi 「そこ-PL=APPR (そこらへん)」

(40.) ku-dzi=bakaaɣ=n 「九-時=APPR=D/L (九時ぐらいに)」

### 2.5.4 格助詞

格助詞を以下に示す。格助詞の用法は宮古語の他の方言と大きな差はない。詳しい用法については、先行研究 (Shimoji 2008 p.188 より、Pellard 2009, p.179 より、林 2013 p.104 より)、または、本稿のテキストにある実際の例を参照されたい。

表 7 格助詞

格	略号	日本語	形式
主格	NOMinative	～が	=ga, =nu
属格	GENitive	～の	=ga, =nu
対格	ACCusative	～を	=u
非活格 <sup>11</sup>	STATive	(対応形無し)	=a
与格	Dative/Locative	～に、～で	=n
向格	ALLative	～へ、～に	=nkai
方格	DIRectional	～に向かって	=nkaei
目的	PURPositive	～(し)に	=ga
向格 2	ALLative 2	～に行ってそこで	=iki
奪格 <sup>12</sup>	ABLative	～から	=kara
限定	LIMitative	～まで	=gami
具格	INSTrumental	～で	=eii
供格	COMitative	～と	=tu
引用	QUOTative	～と	=tii
比較	COMParative	～より	=juɣkja, =juɣza
似かより	SIMilative	～のように	=neii

この言語では、主格と属格が形式的に区別されていない。主格・属格を表す形式は2つあるけれども、どの形式が使われるかは、おおよそこの言語の名詞の階層性によって決まる。すなわち、=ga は、代名詞、指示詞の名詞形、疑問詞の「誰」、呼称可能な名詞に附く。そのほかに、複数の接辞-ta を含む名詞、mmna 「皆」や慣用句における時間名詞にも附く。=nu は、それ以外の名詞に附く。

<sup>11</sup> これは、いわゆる「第二対格」(Shimoji 2008, Shimoji 2016) の形式に対応しているが、セリック・林 2017 で示したように、=a は、自動詞文の主語もマークできそれを対格の標識として分析することは適切ではない。その分布からする非活格の標識であると考えられる。

<sup>12</sup> funi=kara ik-a 「船=ABL 行く-HORT (船で行こう)」のように、移動の手段も表わせる。この場合、具格の =eii も可能だが、その違いが未詳である。





表 10 クラス 2 動詞の拡張語幹<sup>13</sup>

語幹	拡張分節	例 (uk-「起きる」)
基本語幹	-i-	uk-i-
u 語幹 (未然形)	-u-	uk-u-
iri 語幹	-iri-	uk-iri-
iru 語幹	-iru-	uk-iru-

(43.) ss-「する」の拡張語幹 : ss-ɣ-, ɕɕ-i-, s-uu-, s-i(i)-, s-iiru-

(44.) kss-「来る」の拡張語幹 : kss-ɣ-, kɕɕ-i-, k-uu-

語根と拡張語幹のうち、どれが用いられるかは後続接辞により決まる。言い換えると、接辞の中には、直接語根に付くものと、特定の拡張分節を経て付くものがあるのである。例えば、接続接辞の -i は直接語根に付くが、継起接辞の -tti は拡張分節 -i- を介する。

(45.) kak-i「書く-CVB」、uk-i「起きる-CVB」

(46.) kak-i-tti「書く-THM-SEQ」、uk-i-tti「起きる-THM-SEQ」

### 2.6.2 動詞述部の構造

動詞述部に関わる様々な文法範疇を表すために様々な方法が用いられている。その主なものが以下のようなものである (47.~51.)。必要に応じて、複数の方法を組み合わせることも可能である。それぞれの方法を詳しく見ていく。

(47.) 形態的操作 : 語根 (－派生接辞) (－拡張語幹母音) －屈折接辞

(48.) 接続形構文 : 語根－接続接辞 補助動詞

(49.) 複合語化 : 複合語語幹＋補助語

(50.) 述語焦点構文 : 名詞形＝焦点助詞＝軽動詞

(51.) 重複 : RED～基本語幹 (補助動詞)

#### 2.6.2.1 形態的操作 : 派生接辞と屈折接辞

この言語に関しては、「派生接辞」と「屈折接辞」とを区別する際に「拡張語幹を作りうるかどうか」という基準を用いることができる。したがって、接辞のうち、拡張語幹を持つものを「派生接辞」、拡張語幹を持たないものを「屈折接辞」とみなす。例えば、意志の接辞が、-di- の語幹のほかに -ttei-「意志.i 語幹」と -dzaa-「意志.a 語幹」の拡張語幹を持っているので、それを派生接辞として分類する<sup>14</sup>。

以下に派生接辞をその付く順番で示す。派生接辞を同時に複数個付けることは可能だが、その付く順番は決まっている。これらの接辞が述部において異なる位

<sup>13</sup> クラス 2 動詞は、拡張語幹の母音交替 (uk-i-tti「起きる-THM-SEQ」uk-u-n「起きる-THM-NEG」など) により、一部の動詞の語根を子音終り (uk-「起きる.ROOT」) として見做さなければならない。そのため、クラス 2 動詞を「母音語根動詞」のように分析することができない。語根が子音終りと母音終りの動詞が両クラスに存在している (例えば、クラス 1 : kak-「書く」、fa-「食べる」、クラス 2 : uk-「起きる」、bui-「吠える」)。

<sup>14</sup> 具体的に ika-di「行く.VOL.BAS」、ika-ttei-ba「行く-VOL.iStem-CSL」、ika-dzaa-n「行く-VOL.aStem-NEG」のように活用する。

置を占めていることは述語焦点構文や継続相構文などから明瞭である。述語焦点構文においては、「使役 1」、「使役 2」、「可能・受身」の接辞が焦点助詞の前に、「尊敬」と「過去」の接辞が焦点助詞の後に附く（「意志」と「否定」の接辞は述語焦点構文では使えない）。また、継続相構文においては、「使役 1」、「使役 2」、「可能・受身」の接辞が本動詞に、「尊敬」、「意志」、「否定」、「過去」の接辞が補助動詞に附く。

表 11 派生接辞

-as-	「使役 1」
-(s)ɣm-	「使役 2」
-(r)a(r)- <sup>15</sup>	「可能・受身」
-(s)ama-	「尊敬」
-di-	「意志」
-n-	「否定」
-tar-	「過去」

(52.) mat- as- ar- i- -sama- t- tar-  
待つ CSTPASS THM HON NEG PST

(53.) mat- as- ar- i =du =s- ama- ɣ- tar-  
待つ CSTPASS CVB FOC する HON THM PST

(54.) mat- as- ar- i (=du) ur- ama- t- tar-  
待つ CSTPASS CVB FOC IPF HON NEG PST

使役 1 は基本的に語根末分節が s 以外の単子音に終わるクラス 1 動詞に附くのに対し、使役 2 はその他の動詞に附く。また、意志と過去の接辞は共起できない。

(55.) kak- 「書く」 kak-as- 「書く -CST1」

(56.) kss- 「切る」 kss-as- 「切る -CST1」

(57.) pus- 「干す」 pus-ɣm- 「干す -CST2」

(58.) uk- 「起きる」 uk-i-sɣm- 「起きる -THM-CST2」

屈折接辞は、文を終わらせる述語形を形成するものと、そうでないものに分けることができる。以下にその 2 種の接辞とそれぞれの付き方を示す。

<sup>15</sup> 交替の時に r が脱落する -(r)a- の形が一般的である。

表 12 屈折接辞 (終止形)

機能	略号	クラス 1	クラス 2
基本	BASic	{root}-ŋ, -u, -ø	{root}-i
勧誘	HORTative	{root}-a	{root}-u
命令	IMPerative	{root}-i	{BAS}-ru
命令 2 <sup>16</sup>	IMPerative 2	{iStem}-ari	{BAS}-ari
禁止	PROHibitive	{BAS}-na	{BAS}-nna
疑問	INTerrogative	{iStem}-aa	{iriStem}-aa
m 語尾	REALis		{BAS}-m
未来	FUTure		{BAS}-gamata
反語	RHETorical	{BAS}-mmaa, {IRRS}-mmaa	
願望	OPTative		{IRRS}-baa

表 13 屈折接辞 (複動詞形)

機能	略号	クラス 1	クラス 2
理由	CauSaL	{iStem}-ba	{iruStem}-ba
確定条件 1	CIRCumstantial	{iStem}-ba	{iruStem}-ba
確定条件 2	CIRCumstantial 2	{iStem}-aa	{iriStem}-aa
譲歩	CONCessive	{iStem}-aamai	{iriStem}-aamai
継起	SEQuential	{iStem}-tti	{BAS}-tti
付帯	BACKground	{iStem}-utii	{BAS}-utii
接続	ConVerB		{root}-i
逆接	CONTRadictive		{BAS}-suga
条件	CONDitional	{BAS}-kkaa, {NEG.CVB}-kaa	
同時	SIMULTaneous		{BAS}-gatsɿna
時間	TEMPoral		{BAS}-kja
確定条件 3	CIRCumstantial 3		{IRRS}-ba
譲歩 <sup>17</sup>	CONCessive		{IRRS}-bam(ai)

基本の接辞は、基本語幹の拡張分節と同じもので、「連体」、「準体」、「名詞化」、「複合語語幹形成」<sup>18</sup>などの機能を果たしている。

(59.) 連体 : kak-ŋ pstu 「書く-ADN 人」

(60.) 準体 : kak-ŋ=nu=du pita 「書く-CNMLZ=NOM=FOC 下手」

(61.) 名詞化 : sɿm+kak-ŋ 「墨+書く-NMLZ (墨書き。勉強・学問の意)」

(62.) 複合語語幹 : kak-ŋ+padzɿm- 「書く-CS+始める」

<sup>16</sup> この形式は宮古で広く見られ (例えば Pellard 2009, p.200)、「～して取らせ」や「～して頂戴」などの意味合いを表す。歴史的には本動詞の連用形に jar- 「やる、与える」の命令形が付いた構文に由来していると思われる。

<sup>17</sup> -aamai と -bam(ai) は自由に交替しており、同じ範疇を表わしている。そのため、どちらの形式に対しても同じグロスを振る。

<sup>18</sup> 「準体」「名詞化」「複合語語幹形成」のいずれの機能も動詞を名詞化させる点で共通する。これら 3つの機能は、この方言では同じ接辞が兼ねるので、ひとつにまとめた分析も可能であろう。

### 2.6.2.2 接続形構文

動作の強調、方向、受益やアスペクトなどを表すために、接続形の本動詞の後に屈折接辞を担う補助動詞を後続させるという分析的な構文が用いられる。後続する補助動詞が本動詞に接語化することがある(母音始まりの補助動詞の場合はグライド化の規則が適応する)(63.)。また、複数の補助動詞を同時に用いることも、それぞれが異なる範疇に属する限り、可能である(63.)(64.)。なお、述語が焦点化される場合、焦点助詞が本動詞に附く(64.)。主な補助動詞を以下に示す(括弧内は本動詞として使われる時の意味)。

表 14 接続構文補助動詞一覧

強調	kair- 「強調 (自動詞)」 (返る) kairas- 「強調 (他動詞)」 (返らせる)
方向	kss- 「方向・進行」 (来る) ik- 「方向」 (行く)
経験	mi- 「経験・試し」 (見る)
受益	fi- 「受益 1」 (くれる) turas- 「受益 2」 (取らせる)
アスペクト	ur- 「継続相」 (おる) ar- 「完了 1」 (ある) njaan 「完了 2」 (ない) uk- 「完了 3・間接的証拠・反事実」 <sup>19</sup> (本動詞としては使われないが、日本語の「置く」と同源) <sup>20</sup>

(63.) bata=nu=du idi kee=uu  
腹=NOM=FOC 出る.CVB GRAD.CVB=IPF  
「お腹が段々出てきている」

(64.) amai=du kairj=uu  
笑う.CVB =FOC INTSF.CVB=IPF  
「爆笑している」

### 2.6.2.3 複合語化

動詞の複合語語幹(基本語幹に同じ)に動詞ないし形容詞を複合させて、様々な意味を加えることができる。この用法は生産的でありながら、後部要素になりうる語に限られている。すなわち、動詞と動詞、又は動詞と形容詞の複合語を自由に形成できるというわけではない(たとえば、動詞と動詞との複合語の代わりに、接続形を使った構文が用いられることもある)。後部要素になりうる主なものを以下に示す(表 15)。なお、後部要素の品詞が複合語の品詞を決定する。

<sup>19</sup> この補助動詞についてはかりまた 2013 が詳しい。

<sup>20</sup> 宮古のどの方言でも「置く」には utsɿk- 系の語が対応する。これは、本来の uk-「置く」に、utsɿ-「強調」という接頭辞が付いた形式に由来していると考えられる(『おもろそうし』にもこの形式がある。『沖縄古語大辞典』p. 100)。この接頭辞が今でも本来の意味で使われる例は utsɿ-fuur-「激しく振る」や utsɿ-tummaar-「慌てて引き返す」などがある。

表 15 複合語化の要素

動詞	padʒɪm-	「～し始める」
	uwar-	「～し終わる」
	pat-	「～しはてる、完全にする」
	pacchak-	「～しそこなう」
	juus-	「～しきれる」
	kan-	「～しかねる」
形容詞	busɪ-	「～したい」
	-ta-	「～したい」
	guri-	「～しにくい」
	jasɪ-	「～しやすい」
	pada-	「～するここちが良い」
	dzɪmi	「～するのが気持ちいい」
	guu(gi)-	「～しそう」
	busɪki-	「～しそう」

(65.) karj=aa mjaaku+fut=tsu=baa aɪ+juusa-n  
 あれ=TOP 宮古+語=ACC=TOP 言う+POT2-NEG  
 「彼は宮古方言が言いきれない」

(66.) niv+pada-anu jaa  
 寝る+心地よい-ADJZ 家  
 「寝心地の良い家」

(67.) sakj=uu num+busɪki+mipana  
 酒=ACC 飲む+SEMBL+顔  
 「酒を飲みそうな顔」

#### 2.6.2.4 述語焦点構文

接続形構文や一部の副動詞形が使われている場合などを除いて、動詞が焦点化されると特別な構文を用いなければならない。この構文は、動詞の名詞形と焦点助詞とそれに接語化した軽動詞 =(s)s- 「する」<sup>21</sup>から出来ている。また、軽動詞がどの接辞も取りうるというわけではなく、この構文は現在のところ、-tar- 「過去」、-ɪ 「定性」、-suga 「逆接」、-ba 「理由」の接辞を伴ってしか確認できていない。

(68.) V-NMLZ=FOC=(s)s-<sup>22</sup>

<sup>21</sup> 著者の観察では、年輩の話者は =ss- を使い、若い話者は =s- を使う傾向がある。他の方言の記述を見ると、=du=s- の方が一般的であるようだが、隣の集落で話されている与那覇方言では、=du=ss- という形式が一般的である。なお、ss- 「する」が意思の接辞 -di や引用助詞の =tii の後でも接語化し、同様の役割を果たしていることを考えると、=du=ss- を -duss- のように一つの派生形態素として分析することは適切ではないと言える。

<sup>22</sup> この方言では、長浜方言など (cf. Shimoji 2008) と異なり承諾疑問文専用の焦点助詞はない。従って、承諾疑問文においても =du が使われる。例えば、uug-ai=du=ssɪ? 「泳

- (69.) kak- ɣ =du =(s)s-  
 書く -NMLZ=FOC=する  
 「書きぞする」

### 2.6.2.5 重複

動作の反復（場合により強調も兼ねる）を表すために、動詞の基本語幹の完全重複形が使われる。この形式は単独でも使われるが、主題の助詞が附いた接続形や継起形の動詞と共に起ることが多い<sup>23</sup>。なお、接続形を用いた構文は、2つの語彙動詞を使うものもあれば、重複形の述語が単に「強調」を表す動詞（kair-「返る・強調」、tiv-「投げる・強調」）であることもある。

- (70.) RED~V<sub>2</sub>.BAS

- (71.) V<sub>1</sub>-CVB(=TOP) RED~V<sub>2</sub>.BAS

- (72.) V<sub>1</sub>-SEQ(=TOP) RED~V<sub>2</sub>.BAS

- (73.) foo~foo

RED~食べる .BAS

「何回も食べる、繰り返して食べる」

- (74.) ni-i=ja

fii~fii

料理する -CVB=TOP RED~あげる .BAS

「何回も、しきりに食事を作って、あげる」

- (75.) nuur-i-ttj=aa

uri~uri

乗る -THM-SEQ=TOP RED~降りる .BAS

「何回も乗ったり降りたりする、乗り降りを繰り返す」

- (76.) namm-j=aa

tiv~tiv

舐める -CVB=TOP RED~INTSF.BAS

「舐めまわす」

重複形は品詞を変える派生形であるが、その品詞が問題となる。まず、一部の副詞と同じ振る舞いを示す（従属節の一種として分析することも可能かもしれない）。すなわち、述語を修飾し、補助動詞 *ur-* を以て述語化することができる(77.)(78.)。他方、軽動詞の対格項になりえ、名詞として振舞うことがある(79.)。そのほかに、=nu を経て名詞を修飾することができる(80.)。

- (77.) ffa=nu abik-j=aa kaɣ~kaɣ kee-i

子=NOM 喘ぐ -CVB=TOP RED~INTSF 来る -CVB

「子供がひどく息を切らした状態で来て」(自然談話)

ぐ -POT.NMLZ=FOC=する (泳げるの?)」。

<sup>23</sup> 一般的に主題の助詞が附くが、義務的ではない。

- (78.) futaaɣ=ɛii nnya tsɪnkɛɛ=aa foo~foo uu-kkaa  
 二人=INST FIL 千切る.CVB=TOP RED~食べる IPF-COND  
 「二人で（蒲鉾を）千切って食べるのを繰り返していたら」（自然談話）
- (79.) iki-ttj=aa kssɪ~kss=su=du ɛiij=uu  
 行く-SEQ=TOP RED~来る=ACC=FOC する.CVB=IPF  
 「行ったり来たりしている」
- (80.) agar-i-ttj=aa sagaɣ~sagaɣ=nu kabu  
 上がる-THM=TOP RED~下がる=GEN 株  
 「絶えず上がったり下がったりする株」

## 2.7 形容詞

形容詞の中で、単純形容詞、派生形容詞とナ形容詞の3つの下位クラスが認められる。単純形容詞は、拘束形態素で、複合語化することにより名詞を修飾する。派生形容詞は、派生形であり、そのまま名詞を修飾することができる。ナ形容詞は-naを経て名詞を修飾する。なお、叙述的な用法の場合、派生形容詞とナ形容詞はそのまま述語として機能できるが、単純形容詞は、語彙的な意味を持たないmunuと複合語を形成しなければならない。ただし、-gi「~ようだ」によって派生された単純形容詞はそのまま叙述的な述語として機能できる。

表 16 形容詞下位クラスの特徴

形容詞クラス	名詞修飾	叙述
単純形容詞	A+N	A+munu
単純形容詞 (-gi 派生)	A+N	A, A+munu
派生形容詞	A N	A
ナ形容詞	A-na N	A

### (81.) 名詞修飾用法

- (81.)a) 単純形容詞 : upu+dzɪma 「大きい+島」  
 (81.)b) 単純形容詞(-gi) : dzɪmi-gi+sɪma 「すばらしい-SEMBL+島」  
 (81.)c) 派生形容詞 : upo-onu sɪma 「大きい-ADJZ 島」  
 (81.)d) ナ形容詞 : dzɪmi-na sɪma 「すばらしい-ATTR 島」

### (82.) 叙述用法

- (82.)a) 単純形容詞 : unu sɪma=a upu+munu 「その 島=TOP 大きい+もの」  
 (82.)b) 派生形容詞 : unu sɪma=a upo-onu 「その 島=TOP 大きい-ADJZ」  
 (82.)c) 派生形容詞 : unu sɪma=a dzɪmi-gi(+munu) 「その 島=TOP すばらしい-SEMBL(+もの)」  
 (82.)d) ナ形容詞 : unu sɪma=a dzɪmi 「その 島=TOP すばらしい」

派生形容詞は、主に単純形容詞を元に作られているが、名詞を元に作られている例もある。対応している派生形容詞がない単純形容詞もある。ナ形容詞は少数で、日本語からの借用語である。

- (83.) upu- 「大きい」 > upo-onu 「大きい-ADJZ」  
 (84.) mii-gama 「目-DIM」 > mii-gama-anu 「目-DIM-ADJZ (目が小さい)」  
 (85.) junu- 「同じ」 \*junu-unu 「同じ-ADJZ」  
 (86.) daidzɿ 「重要、大変」、dami 「だめ」、dzɿmi 「すばらしい」、bukuu 「不器用」

形容詞の大きな特徴として、品詞を変える派生形を多用することがあげられる。例えば、「ひもじい」に対して、6通りの言い方が可能で、そのうち4通りは品詞を変える派生形が使われている(1通り目の「jaasɿ+munu」は複合語であり、派生形として分析しない)(87.)~(92.)。(87.)と(88.)との意味の違いは現在のところ未詳である。(89.)と(90.)は程度の大きいことを表わしていると考えられる。また、(91.)と(92.)については、以下に詳しく述べる。

表 17 形容詞の派生形

派生	品詞	名詞修飾	叙述	焦点助詞との共起	例 taka- 「高い」
-ccha	副詞	=nu	ur-	o	taka(a)-ccha
重複	副詞	=nu	ur-	o	takaa~taka
-fu	副詞	(ar-)?	ar-	o	taka-fu
-kar-	動詞	o	O	x	taka-kar-

o : そのまま可能、x : 不可能

- (87.) jaasɿ+munu 「ひもじい+もの」  
 (88.) jaasɿ-ɿnu 「ひもじい-ADJZ」  
 (89.) jaasɿɿ~jaasɿ(=du) uu 「RED~ひもじい(=FOC) AUX」  
 (90.) jaasɿɿ-ccha(=du) uu 「ひもじい-ADV2(=FOC) AUX」  
 (91.) jaasɿ-fu=du=aa<sup>24</sup> 「ひもじい-ADV=FOC=AUX」  
 (92.) ati=du jaasɿ-kaa 「とても=FOC ひもじい-VRB」

(93.)と(94.)の形式を、同じパラダイムに属しているものとして分析することができる。なぜならば、-fu=ar- と -kar- とは、形態的な条件に基づいた相補分布を成しているからである。すなわち、副助詞や情報構造助詞(=atsum、=mai、=a、=du など)が述部に付与される場合は「-fu=助詞=ar-」が使われており、それ以外の場合は -kar- が使われる。=du の位置を操作すると形式の交替が明瞭と現れる。

- (93.) pjaa-fu=du=aa 「早い-ADV=FOC=AUX (早すぎる)」  
 (94.) ati=du pjaa-kaa 「とても=FOC 早い-VRB (早すぎる)」

## 2.8 副詞

副詞は均質な品詞ではない。しかし、その中で、明確なクラスを成すものがある。すなわち、延長重複形、ga 重複形、擬態語・擬音語、-ttea 派生形、-fu 派生形は、それぞれ、体系的な特徴を示す。それ以外の副詞は様々で、個別の記述が必要である。以下にいくつかの例を挙げる。

- (95.) 副詞一般 : pudzi 「さっさと」、jamakasa 「沢山」、kancii 「このように」  
 (96.) 延長重複形 : iravv~irav 「LRED~伊良部 (伊良部風に)」

<sup>24</sup> 丁寧な発音。通常は [jaaffɯtaa] のように発音される。



- (97.) -ttea 派生形 : jaasɿ(ɿ)-ttea 「ひもじい-ADV2 (ひもじく)」  
 (98.) ga 重複形 : numi~ga~num-i 「RED~LIN~飲む-IMP (しつこく「飲め飲め」と言う風)」  
 (99.) 擬態語・擬音語 : dada 「落ちる様」  
 (100.) -fu 派生形 : jaasɿ-fu 「ひもじい-ADV (ひもじく)」

副詞によっては、そのまま述語を修飾できるものもあれば、=tii「QUOT」を経てしか述語を修飾できないものもある。また、副詞的な表現で名詞を修飾するために、=nu (GEN) が使われる。なお、副詞的な表現を述語化するために ur-「おる」がよく使われる。以上挙げた副詞クラスの特徴を表 15 にまとめる (それ以外の副詞は共通の特徴で捉えられないため、表に掲載しない)。

- (101.) pudzi kuu 「さっさと 来る.IMP (さっさと来い)」  
 (102.) dadaa=tii=du uti-taa 「EXP=QUOT=FOC 落ちる-PST (ダダーと落ちた)」  
 (103.) jamakasa=nu dzin 「たくさん=GEN お金 (たくさんのお金)」  
 (104.) sabɿɿ=tii=nu mipana 「EXP=QUOT=GEN 顔 (けろっとした顔)」  
 (105.) takaa~taka=du uu 「LRED~高い=FOC AUX (とても高い)」  
 (106.) sabɿɿ=tii=du uu 「EXP=QUOT=FOC AUX (けろっとしている)」

表 18 副詞クラスの特徴

詞類	述語修飾	名詞修飾	述語化
延長重複形	o	=nu	ur-
-ttea 派生副詞	o	?	ur-
ga 重複	=tii	=tii=nu	=tii ur-
擬態語・擬音語	=tii	=tii=nu	=tii ur-, -mɿk-
-fu 派生副詞	nar-, nas-に限る	x	ar-

o : そのまま可能、x : 不可能、? : 未確認

擬態語・擬音語は副詞と動詞とに分けられる。擬態・擬音副詞は、1つの語根から、あるいは、語根を元にした延長形ないし重複形からなる。擬態・擬音副詞の語根に派生接辞の-mɿk-<sup>25</sup>をつければ、自動詞を派生させることができる。さらに、その形式に使役派生接辞の-as-を付けると、他動詞を派生させることもできる。全ての派生形を持つ語根を次に紹介するが、すべての語根からすべての派生形が形成できるというわけではない。

- (107.) 語根副詞 : dada 「(一気に) 落ちる様」  
 (108.) 延長形副詞 : dadaa 「EXP.LEN (一気に大量などに落ちる様)」  
 (109.) 重複形副詞 : dada~dada 「RED~EXP (繰り返して落ちる様)」  
 (110.) 派生自動詞 : dada-mɿk- 「EXP-VRB (ダダーと落ちる)」  
 (111.) 派生他動詞 : dada-mɿk-as- 「EXP-VRB-CST (ダダーと落とす)」

数量詞は典型的に副詞として機能している(いわゆる floating が可能である)。

<sup>25</sup> 他の方言の-mik-に対応し、日本語の「~めく」と同源である。この方言では、iの母音がよくɿに転じる。

- (112.) naa=ga      jaa=n    biki+pindza=nu futa-kara ui-ba  
REFL=GEN 家=D/L 雄+山羊=NOM 二-CL    いる-CSL  
「自分の家に雄のヤギが 2 頭いるから」(自然談話)

なお、副詞として機能する名詞や名詞由来の表現もある。そのほかに、動詞の接続形などで作られた副詞的な表現もある。

- (113.) waateaku 「不都合に、不運なことに」 < waateaku 「悪戯」 < 横着  
(114.) iibaa 「好都合に、運よく」 < ii+baa 「良い+場合」  
(115.) itttsaidi 「うんと、思い切って、一生懸命」 < it=tsa idi 「意地=ba 形 出る.CVB」

## 2.9 副助詞と情報構造助詞

格助詞のほかに副助詞と情報構造助詞がある。これらの助詞は、必ずしも名詞句に限るものではないが、名詞句に付いた場合、副助詞は、格助詞の後、情報構造助詞は、そのさらに後に続く。

表 19 副助詞一覧

強調 (～なんか)	EMPHatic	=garaa
強調 (～すら、～でも)	EMPHatic	=atsɿm <sup>26</sup>
強調 (～他と違って...する)	EMPHatic	=dum, =dunga, =dumma <sup>27</sup>
強調 (～だに、～さえ)	EMPHatic	=dzan
先行 (先に...する)	PRECEdative	=kara
制限 (～だけ、～のみ)	RESTRICTive	=teaan, =teaaka
対比 (～は)	CoNTRastive	=gami
習慣 (よく...する)	HABItual	=naa <sup>28</sup>
累加 (～も)	INCLusive	=mai

表 20 情報構造助詞位地論

焦点	FOCUS	=du
疑問詞焦点	INTErrogative Focus	=ga
主題 (非焦点)	TOPic	=a
主題 (非焦点、対格専用)	TOPic2	=ba(a)

- (116.) 助詞連続順番：名詞＝格助詞＝副助詞＝情報構造助詞

<sup>26</sup> この助詞(宮古祖語 \*(j)atsum)は、コピュラの連用形 \*(j)ari に譲歩の接辞 \*-tomo が附いた形式に由来している可能性がある(原田総一郎氏からご指摘をいただいた)。

他の先行研究では、この助詞を =atsɿm と想定し、それが義務的に主題の助詞 =a に続くという分析が提示されている。しかし、主題の助詞が入っている根拠は明白ではない。従って、この助詞の形式を =atsɿm と想定し、主題の助詞と同じ形態音韻的变化を起こすという分析を採用する。なお、この形態素が \*(j)ari-tomo に由来していると思わせる根拠はいくつかあるけれども、詳細な議論は割愛する。

<sup>27</sup> 現在のところ、=dum、=dunga、=dumma の使い分けは不明である。

<sup>28</sup> 分配の助詞 =naa 「～つづ」と同源であると思われる。

(117.) terebj=uu=teaan=du            miij=uu  
 テレビ=ACC=RESTR=FOC 見る .CVB=IPF  
 「テレビばかりを見ている」

(118.) ai=teaan=du=u  
 喧嘩する .CVB=RESTR=FOC=IPF  
 「(あの夫婦は) 喧嘩してばかりいる」

(119.) sentakkj=uu    kai-tti=mai  
 洗濯機=ACC 買う -SEQ=INC  
 「洗濯機を買ったにしても」

助詞連続の共起制限は次の通りである。すなわち、=ba 形式は副助詞とも情報構造助詞とも共起ができない(120.)。主格の =nu/=ga は、=mai とも =a とも共起ができない(121.)(122.)。日本語の「～も」「～は」と同様に、=mai や =a のみの付加となる。また、=mai は、=du と共起できるが、主題の =a とは共起できない(123.)(124.)。対格の名詞句が主題化されると、=a ではなく =ba(a) という形式が使われるが、=a とは意味や機能の違いはない(125.)。=atsɿm は特殊な振舞いを示し、主格や対格の格助詞と共起せず、直接名詞句に附く。=atsɿm は様々な句に付きうるが、典型的には数量詞とともに使われる(125.)(126.)(127.)。なお、=atsɿm は =mai や =naa には先行できるが、情報構造助詞には先行できない。

(120.) terebj=aa(\*=teaan, \*=mai, \*=du)            mii  
 テレビ=ba 形(\*=RESTR, \*=INC, \*=FOC) 見る .CVB  
 「テレビを見て」

(121.) ɛuu(\*=ga)=ja                                    terebj=uu=du            miij=uu  
 祖父(\*=NOM)=TOP                                    テレビ=ACC=FOC 見る =IPF  
 「祖父はテレビを見ている」

(122.) ɛuu(\*=ga)=mai(\*=ja)                            terebj=uu=du            miij=uu  
 祖父(\*=NOM)=INC(\*=TOP)                            テレビ=ACC=FOC 見る =IPF  
 「祖父もテレビを見ている」

(123.) ɛuu=mai=du            terebj=uu            miij=uu  
 祖父=INC=FOC    テレビ=ACC    見る =IPF  
 「祖父までテレビを見ている」

(124.) ɛuu=ga=du                                    terebj=uu=ba(a)                                    miij=uu  
 祖父=INC=FOC                                    テレビ=ACC=TOP2                                    見る =IPF  
 「(誰がテレビを見ているの?) 祖父がテレビを見ている」

(125.) pindza(\*=u)=atsɿm                            fa-ar-u-n  
 ヤギ(\*=ACC)=EMPH                            食べる -POT-NEG  
 「ヤギすら食べれない」

(126.) padzɨka-f-fatsɨm=mai njaa-n  
 恥ずかしい-ADV=EMPH=INC AUX-NEG  
 「恥ずかしくもない」

(127.) bajaa nnja pstu-kara=atsɨm tssa-n-kja  
 私.TOP FIL 一-匹=EMPH 釣る-NEG-TEMP  
 「私は一匹さえも釣らないうちに (友だちがすでに何匹も釣っていた)」 (自然談話)

## 2.10 情報構造の標識体系

林 2017 で詳しく記述されているように、宮古語は、節の情報構造を形態的に標示する言語である。つまり、叙述文<sup>29</sup>において、非焦点助詞の =a/=ba(a)、焦点助詞の =du と「中立形」と呼ばれるゼロ標識の諸標識が情報構造を標示するための一つのシステムを構成しているというわけである。林 2017 は池間西原に関する記述であり、詳細な検討の必要性はあるものの、今の段階では皆愛方言についても同様の分析を採用することができると考えられる。そこで、参考としてその記述の要点を以下に示す。続く例文においては、焦点の範囲を [] で示し、和訳におけるその対応部分を太字で示す。

(128.) =du の記述要点 (林 2017) :

- =du は一節に最大一つ
- =du は (主文において) 焦点範囲の左端 (開始位置) のみをマークする (129.)
- =du 以後の中立形は、焦点範囲に入ることも (Broad Focus)、入らないことも (Narrow Focus) 可能である (129.)(130.)
- =du 以後の要素を、非焦点助詞を以て脱焦点化させることができる (131.)
- =du 以前に中立形が不可能で、非焦点助詞が義務的である (=mai も可能、(132.))

(129.) ɛuu=ja [terebj=uu=du mij=uu]<sub>foc</sub>  
 祖父=TOP テレビ=ACC=FOC 見る=IPF  
 「(祖父はどうした?) 祖父はテレビを見ている」

(130.) ɛuu=ja [terebj=uu=du]<sub>foc</sub> mij=uu  
 祖父=TOP テレビ=ACC=FOC 見る=IPF  
 「(祖父は何を見ているの?) 祖父はテレビを見ている」

(131.) [soopurando=n=du]<sub>foc</sub> kaj=aa [ni-nen-me=kara]<sub>foc</sub> patarakj=uu  
 ソープランド=D/L=FOC あれ=TOP 二-年-目=ABL 働く.CV=IPF  
 「ソープランドに彼女は二年目から働いている」 (談話資料)

(132.) mjaaku=n\*(=na/=mai) [ati=du jooɨ=nu nch=uu]<sub>foc</sub>  
 宮古=D/L\*(=TOP/=INC) とても= FOC 祝い=NOM 多い=IPF  
 「宮古島に (は・も) とてもお祝い事が多い」

<sup>29</sup> 本稿では疑問文を扱わない。

### 3 参考文献

- 伊豆山敦子(2002)「琉球・宮古(平良)方言の基礎文法研究」『消滅に. 瀕した方言語法の緊急調査研究(2)』「環太平洋の言語」日本班 成果報告書 A4-012 35-97
- 沖縄古語大辞典編集委員会(編)(1995)『沖縄古語大辞典』角川書店
- かりまたしげひさ (2013)「琉球宮古島野原方言の間接的エヴィデンシャルティ」『日本東洋文化論集(19)』琉球大学法文学部紀要 15-28
- 下地理則(2017)「琉球諸語の代名詞：これまでの記述にもとづく これまでの記述にもとづく類型化試論」「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」研究発表会発表資料
- 杉村孝夫 (2003)『来間島方言の記述的研究』研究成果報告書
- セリックケナン、林由華 (2017)「宮古諸方言の「第二対格」は「対格」か？—多良間方言を中心に—」日本語学会 2017 年度秋季大会 2017 年 11 月 11 日金沢大学
- 富浜定吉 (2013)『宮古伊良部方言辞典』沖縄タイムス社
- 畑聰一郎 (1983)「宮古島皆愛集落 の成立 と解体 ・再編成—シマ観念 の考察—」『人文地理 第 35 卷 第 1 号』人文地理学会 66-78
- 林由華 (2013)『南琉球宮古語池間方言の文法』京都大学文学研究科博士論文
- 林由華 (2017)「南琉球宮古語池間西原方言における du 焦点構文と述語焦点形」『阪大社会言語学研究ノート』第 15 号大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室 87-99
- 琉球方言クラブ (2017)『琉大方言第 31 号 宮古島市下地の農業関連語彙』琉球方言クラブ
- Pellard, T. (2009) *Ogami: Éléments de description d'un parler du sud des Ryukyus*. École des hautes études en sciences sociales. Paris, France. Thèse doctorale.
- Shimoji, M. (2008) *A Grammar of Irabu, a Southern Ryukyuan Language*. Australian National University. PhD Thesis
- Shimoji, Michinori (2016) Aspect and non-canonical object marking in the Irabu dialect of Ryukyuan. in Taro Kageyama, Wesly M. Jacobsen (eds.) *Transitivity and Valency Alternations* De Gruyter Mouton.

### 4 略号

<b>ABL</b>	Ablative
<b>ACC</b>	Accusative
<b>ADJZ</b>	Adjectivizer
<b>ADN</b>	Adnominal
<b>ADV</b>	Adverbial
<b>ALL</b>	Allative
<b>APPR</b>	Approximative
<b>ASS</b>	Assertive
<b>ATTR</b>	Attributive
<b>AUX</b>	Auxiliary
<b>BAS</b>	Basic Stem
<b>STAT</b>	Stative
<b>CL</b>	Classifier
<b>CMPLZ</b>	Complementizer
<b>CNJ</b>	Conjunctive

<b>CNMLZ</b>	Clause Nominalization
<b>CNTR</b>	Contrastive
<b>COM</b>	Comitative
<b>COMP</b>	Comparative
<b>CONC</b>	Concessive
<b>COND</b>	Conditional
<b>CONTR</b>	Contradictive
<b>COP</b>	Copula
<b>CS</b>	Compound Stem
<b>CSL</b>	Causal
<b>CST</b>	Causative
<b>CVB</b>	Converb
<b>D/L</b>	Dative/Locative
<b>DIM</b>	Diminutive
<b>DIR</b>	Directional
<b>DIS</b>	Distributional
<b>DUB</b>	Dubitative
<b>EMPH</b>	Emphatic
<b>EXCL</b>	Exclusive
<b>EXP</b>	Expressive
<b>FIL</b>	Filler
<b>FOC</b>	Focus
<b>FUT</b>	Future
<b>GEN</b>	Genitive
<b>GRAD</b>	Gradual
<b>HAB</b>	Habitual
<b>HON</b>	Honorific
<b>HORT</b>	Hortative
<b>HS</b>	Hearsay
<b>INC</b>	Inclusive
<b>INCL</b>	Inclusive (plural)
<b>INDER</b>	Indeterminative
<b>INST</b>	Instrumental
<b>INT</b>	Interrogative
<b>INTR</b>	Interjection
<b>INTSF</b>	Intensifier
<b>IPF</b>	Imperfect
<b>IRRS</b>	Irrealis Stem
<b>LIM</b>	Limitative
<b>LIN(ga)</b>	Linker(ga)
<b>LOC</b>	Locative
<b>LRED</b>	Lengthening Reduplication
<b>MIT</b>	Mitigative
<b>N/G</b>	Nominative/Genitive
<b>NEG</b>	Negative
<b>NMLZ</b>	Nominalizer
<b>NOM</b>	Nominative
<b>OPT</b>	Optative
<b>ORDINAL</b>	Ordinal
<b>PFP</b>	Phrase Final Particule
<b>PL</b>	Plural
<b>PREC</b>	Precedative
<b>PROH</b>	Prohibitive

<b>PURP</b>	Purposive
<b>QBIAS</b>	Question Bias
<b>QFOC</b>	Question Focus
<b>QUOT</b>	Quotative
<b>RECOGN</b>	Recognition
<b>RED</b>	Reduplication
<b>RESTR</b>	Restrictive
<b>SEMBL</b>	Semblative
<b>SEQ</b>	Sequential
<b>SFP</b>	Sentence Final Particule
<b>SIM</b>	Similative
<b>SIMULT</b>	Simultative
<b>TEMP</b>	Temporal
<b>TERM</b>	Terminative
<b>THM</b>	Themative
<b>TOP</b>	Topic
<b>VRB</b>	Verbalizer
<b>YNQ</b>	Yes/No Question

5 皆愛方言の談話資料<sup>30</sup>

2014年4月より2018年4月まで収集した談話資料の中で、音声が良いで、発音がはっきりとしているものを選び、合わせて28分38秒の時間に相当する10本の談話資料を収めた。

書き起こし・グロスの方針は次のとおりである。一行目は音声の書き起こし、二行目はグロス、三行目は和訳である。「-」は接辞の境界、「=」は接語の境界、「+」は複合語の境界を表す。「~」は重複を表す。聞き取れない部分を「xxx」で示し、聞き取れるが、意味が分からない部分を「?」で示した。言いよどみ、言いさしなどを「HES」の略号で示し、話者が意図していた語が特定できた場合は「語.HES」のようにグロスを振った。また、接続形に続く補助動詞が接語化する場合、本動詞の形式が自明（接続形以外の可能性はない）なので「動.CVB=補助動詞」と書かず、「動=補助動詞」のようにグロスを施した。動詞の基本形、名詞形、準体形の場合は、その範疇を明記せず、単に「動」のようにグロス付けした。なお、=ga や=nu の機能（主格・属格）を区別せずに、一貫して「N/G」のようにグロスを施した。

## 5.1 桃太郎

- 話者：長間三夫（昭和30年生）
- 収録日・場所：2014年12月13日、東京都八丈島多目的ホール おじゃれ
- 収録時間：1m14s
- 背景・内容：桃太郎の宮古語版。2014年12月に八丈島で開催された「日本の危機言語・方言サミット In 八丈島」で話された。

## (1) maada nkjaan=nu panasɿ

とても昔=N/G 話

「昔々」

## (2) ndza=garaa=n=du euu=tu mma=ga uu-tii

どこ=INDER=D/L=FOC 翁=COM 嫗=N/G いる-BACK

「あるところに、お爺さんとお婆さんが住んでいて」

## (3) euu=ja jama=nkai tamunu=u tuɿ=ga iki

翁=TOP 林=ALL 薪=ACC 取る=PURP 行く.CVB

「お爺さんは山へ芝刈りをしに」

## (4) mma=a nagarii=nu kaa=iki kɿn=nu aroo=ga ikɿ-taa

嫗=TOP 流れる.CVB=N/G 川=LOC2 服=ACC 洗う=PURP 行く-PST

「お婆さんは川へ洗濯をしに行った」

<sup>30</sup> 音声ファイルは共有可能なので、必要な場合は、著者のメールアドレスまでお問い合わせください。



- (5) ans-kkaa=du      mma=ga kɿn=nu arai      uu-kkaa  
 CNJ-COND=FOC 嫗=N/G 服=ACC 洗う .CVB IPF-COND  
 「そうしたら、お婆さんが洗濯していたら」
- (6) kaa=nu mmi=kara upo-onu      mun=nu duffa~ga~duffa=tii  
 川=N/G 丘=ABL 大きい-ADJZ 桃=N/G RED~LIN(ga)~EXP=QUOT  
 nagari      keei-ba  
 流れる .CVB 来る -CSL  
 「川上から大きいな桃がどんぶりこどんぶりこと流れて来たから」
- (7) mma=a urj=aa      pssui      jaa=nkai pii-taa  
 嫗=TOP それ=STAT 拾う .CVB 家=ALL 行く -PST  
 「お婆さんは、それを拾って家へ帰った」
- (8) mma=ga unu mun=nu kssa-t=ti      eiru-ba=du  
 嫗=N/G その 桃=ACC 切る -VOL=QUOT する -CIRC=FOC  
 「お婆さんがその桃を切ろうとしたら」
- (9) futaa-tsɿ=nkai mun=nu bari  
 二-つ=ALL 桃=N/G 割れる .CVB  
 「桃が二つに割れて」
- (10) ui=ga      naka=kara upo-onu      biki+vva=nu mmari  
 それ=N/G 中=ABL 大きい-ADJZ 雄+子=N/G 生まれる .CVB  
 「その中から大きいな男の子が生まれて」
- (11) ɛuu=tu      mma=a unu ffa=n      mumutaroo=tii tsɿki-taa=ttsa  
 翁=COM 嫗=TOP その 子=D/L 桃太郎=QUOT 付ける -PST=HS  
 「お爺さんとお婆さんはその子に「桃太郎」という名前を付けたそうだ」

## 5.2 方言大会ネタ練習

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
  - 収録日・場所：2014 年 07 月 04 日、宮古島川満、話者自宅（外）
  - 収録時間：1m52s
  - 背景・内容：2014 年の方言大会のために漫談のネタを練習している。
- (1) foomunu=mai mjaaku mjaaku=nu foomunu=a maada=du mma-kaa  
 食べる=INC 宮古.HES 宮古=N/G 食べる=TOP とても=FOC 美味しい-VRB  
 「食べ物も、宮古島の食べ物は大変おいしい」
- (2) dzaan pindza+dzuu=nu=du nnja mma+munu=dara  
 最も ヤギ+汁=N/G=FOC FIL 美味しい+もの=ASS  
 「一番、ヤギ汁がおいしいんだ」
- (3) uri=kara udzɿmakipan=nu=du maada mma-kai-ba=du  
 それ=ABL 渦巻きパン=N/G=FOC とても 美味しい-VRB-CSL=FOC  
 「それから、渦巻きパンがあまりにも美味しいから」
- (4) keei-tti futakina=a mii-tsɿ=kara juu-tsɿ=naa faij=uu-tas-suga=du  
 来る-SEQ すぐ=TOP 三-つ=ABL 四-つ=DIS 食べる=IPF-PST-CONTR=FOC  
 「来たころには、三つか四つづつ食べていたが」
- (5) atu=n=na nnja vudai bata=mai idi keei-ba  
 後=D/L=TOP FIL 太る.CVB 腹=INC 出る.CVB GRAD-CSL  
 「その後、太っちゃって、お腹も出たから」
- (6) nnama=a nnja junai  
 今=TOP FIL 夜  
 「今は、夜になると」
- (7) turi painagama=kara nudzakɿ=gami=naa nnja aikj=uu=dara  
 HES パイナガマ=ABL 久松=TERM=DIS FIL 歩く=IPF=ASS  
 「パイナガマから久松まで歩くんだ」
- (8) an-suga=du furansɿ-n=na mii=ja mjuu-n ikɿmusɿ=nu  
 CNJ-CONTR=FOC フランス-D/L=TOP 見る.CVB=TOP 見る-NEG 生物=N/G  
 nnja uu=dara nte=uu=dara=ju  
 FIL いる=ASS 満ちる=IPF=ASS=SFP  
 「しかし、フランスで見たことのない生き物がたくさんいる」

- (9) noo=gara=tii    sabaki-ba=du    ui=ga=d=iraa  
 何=DUB=QUOT 訊く -CIRC=FOC それ=N/G=FOC=AGR  
 kaafunata=ttsa=tii  
 蛙の一種=HS=QUOT  
 「『なんかなあ』と聞いたら、『それがね、ヒキガエル』なんだった」
- (10) furans<sub>1</sub>=n=na    kaafunata=tii=ja    mjuu-n=doo=tii  
 フランス=D/L=TOP 蛙の一種=QUOT=TOP 見る -NEG=SFP=QUOT  
 「フランスにはヒキガエルってのはいないよ」
- (11) jai-ba=du    nn aikj=uu    tukja=n uj=uu    fundarj=aa  
 COP-CSL=FOC FIL 歩く=IPF 時=D/L それ=ACC 踏みつける .CVB=TOP  
 nara-n=tii    umui  
 できる -NEG=QUOT 思う .CVB  
 「だから、歩くときにそれを踏んじゃったらまずいと思って」
- (12) nn tamii~tami    aikj=uu=dara  
 FIL LRED~落ち着く 歩く=IPF=ASS  
 「注意して歩くんだ」
- (13) ui=ga    ts<sub>1</sub>gj=aa noo ja-tarj-aa    nnja  
 それ=N/G 次=TOP 何 COP-PST-INT FIL  
 「その次はなんだったっけ？」
- (14) mjaa    mjaaku+pst=aa nn duu+tavkjaa=eii    munu=u  
 宮古.HES 宮古+人=TOP FIL REFL+ひとり=INST もの=ACC  
 faa-t=ti    suu-dana=du  
 食べる -VOL=QUOT する -NEG.CVB=FOC  
 「宮古島の人自分一人でなんかものを食べるのではなく」
- (15) dus<sub>1</sub>-nukjaa=ju=mai ugunai    nna maats<sub>1</sub>ki  
 友達-PL=ACC=INC 集める .CVB みんな 一緒に  
 「友達を集めて皆一緒に」
- (16) nn munu=u=baa    fai    uu  
 FIL もの=ACC=TOP2 食べる .CVB IPF  
 「食べ物を食べる」

- (17) ukaasɿ-ki dzootoo=nu sɿma=tii=du uma-arj=uu  
 すごい-SEMBL 上等=N/G 島=QUOT=FOC 思う-可能=IPF  
 「大変素晴らしい島だと思う」
- (18) anei-tti nnna noo+gutu=u=mai kjoorjok=aa ɛii ɛiij=uu  
 CNJ-SEQ みんな 何+事=ACC=INC 協力=STAT する.CVB する=IPF  
 tukana=n=du nn igjan ssɿ  
 場所=D/L=FOC FIL 感心 する  
 「そして、皆何事をも協力の元でやるというところに、感心する」
- (19) banu=u=mai banu=u=mai taka-sa=a ɛii fii  
 私=ACC=INC 私=ACC=INC 大事-NMLZ=STAT する.CVB BEN.CVB  
 「私も大切にさせて頂いて」
- (20) e banu=u=mai taka-sa=a ɛii fii-samatei  
 INTR 私=ACC=INC 大事-NMLZ=STAT する.CVB BEN-HON.IMP  
 「私も大切にしてください」
- (21) tandi~gaa~tandi owari  
 RED~LIN(ga) ~ありがとう 終わる  
 「ありがとうございました。終わり」

## 5.3 面白いおばあ

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2014 年 11 月 04 日、宮古島平良、研究者自宅
- 収録時間：2m39s

- (1) ban-ta=ga obaa=dum nnja kum uibi=nu saki<sup>31</sup>=kara  
私-PL=N/G お祖母=なんか FIL ここ.HES 指=N/G 先=ABL  
kunu kata<sup>32</sup>=gami=du nnna iredzɨmj=aa<sup>33</sup> ɛ=uu-taa rjoo+tii  
この肩=TERM=FOC みんな 刺青=STAT する=IPF-PST 両+手  
「うちのお祖母さんは、指の先から肩まで、全部、刺青をしていた、両腕も」
- (2) an-tti ba=ga anna=nkai duuta=ga obaa=ja hai  
CNJ-SEQ 私=N/G 母=ALL 1PL.INCL=N/G お祖母=TOP INTR  
javvi+obaa ja-taa=nuga=tii sabaki-ba=du  
暴力+お祖母 COP-PST=QBIAS=QUOT 訊く-CIRC=FOC  
「そして、私のお母さんに、『うちのお祖母さんは不良だったの？』と聞いたら」
- (3) anna=a ihii~ga~ihii=tii amai  
母=TOP RED~LIN(ga)~EXP=QUOT 笑う.CVB  
「お母さんはニコッと笑って」
- (4) duuta=ga obaa=ncii=nu kɨmu+kagi obaa ura-n=saa=tii  
1PL.INCL=N/G 祖母=SIM=N/G 心+きれい 祖母 いる-NEG=SFP=QUOT  
ui-ba  
いる-CSL  
「『私達のお祖母さんほどの優しいお祖母さんはいない』と言って」
- (5) goo an-kkaa noocaa nnna iredzɨmj=aa ɛ=uurj-aa=tii  
INTR CNJ-COND なぜ みんな 刺青=STAT する=IPF-INT=QUOT  
azzi-ba=du  
言う-CIRC=FOC  
「『だったら、なんで刺青をしているの？』と言ったら」

<sup>31</sup> 標準語。宮古語は sakɨ、又は pana。

<sup>32</sup> 標準語。宮古語は katamusɨ。

<sup>33</sup> 標準語。宮古語は pɨtsɨkɨ（針突き）。

- (6) nitciro+sensoo+dzidai=n=du  
 日露+戦争+時代=D/L=FOC  
 「日露戦争の時代に」
- (7) unu jumi=nkai ikj=uu pst=aa ffa-nukjaa=nu uu pst=aa  
 その嫁=ALL 行く=IPF 人=TOP 子-PL=N/G いる 人=TOP  
 kaneii nnaa iredzɨmj=uu ssɨ-joon naɨ-taa=tiru-ba=du  
 かよう みんな 刺青=ACC する-ように 成る -PST=HS-CIRC=FOC  
 「結婚した人や子供がいた人は皆刺青をするようになったと」
- (8) anɛ=uu-kja=a sensoo=nu nnja mun=aa ɛ=uu-kja=a  
 CNJ=IPF-TEMP=TOP 戦争=N/G FIL もの=STAT する=IPF-TEMP=TOP  
 heetai=nu=nnaa rattei suu-t=ti st-taa=tiru-ba=du  
 兵隊=N/G=HAB 拉致 する -VOL=QUOT する -PST=HS-CIRC=FOC  
 「戦争の最中、兵隊たちが拉致しようとしたそうだ」
- (9) eodzo+anga-taa=mai nnja aneii heetai=n osow-aru-dzaa-n=tii  
 未婚の女性+先輩-PL=INC FIL さよう 兵隊=D/L 襲う-受身-VOL-NEG=QUOT  
 iredzɨmj=uu=nnaa st-taa=ttsa  
 刺青=ACC=HAB する -PST=HS  
 「未婚の女性も兵隊に襲われないように、刺青をしたそうだ」
- (10) aneii=du azz=uu-taa  
 さよう=FOC 言う=IPF-PST  
 「そんなふうには言っていた」
- (11) anei-tti ba=ga nnja ɛoogaku+san-nen=bakaaɨ=jaa  
 CNJ-SEQ 私=N/G FIL 小学+三-年=APPR=PPF  
 「そして、私が小学3年だった頃かね」
- (12) juɨ foo-gatsɨna zzu+bunj=uu nnja ba=ga nubui=n  
 夕食 食べる -SIMULT 魚+骨=ACC FIL 私=N/G 首=D/L  
 kakaraɛi njaat-taa=ju nnja  
 掛からせる .CVB PRF-PST=SFP FIL  
 「夕ご飯を食べながら、魚の骨が自分の喉に刺さってしまったよ」

- (13) mii=nu nada=a dada~dada=tii ui-ba=du nnja  
 目=N/G 涙=TOP RED~EXP=QUOT いる-CSL=FOC FIL  
 「ポロポロと涙を流しているから」
- (14) obaa=ga noo=rj-aa zzu+buni=nu kakarj=uu tii ui-ba  
 祖母=N/G 何=COP-INT 魚+骨=N/G かかる=IPF QUOT いる-CIRC  
 「お祖母さんが『どうした？魚の骨が刺さっている？』と言って」
- (15) ancii nu nnja munu=mai fa-aru-n=tii uu-kkaa  
 そんな 喉.HES FIL もの=INC 食べる-可能-NEG=QUOT いる-COND  
 「『そう。ご飯も食べれない』と言ったら」
- (16) too too ara nnja mate=uuri=jo=tii  
 終わり 終わり それでは FIL 待つ=IPF.IMP=SFP=QUOT  
 「『よし、分かった。待ってよ』と言って」
- (17) zzu=u=baa kanama<sub>1</sub>=tu puni-gama xxx m<sub>1</sub>z=za tui-tti  
 魚=ACC=TOP2 頭=COM 骨-DIM xxx 身=STAT 取る-SEQ  
 「魚の頭と骨に附いていた身を取って」
- (18) kanama<sub>1</sub>=nu waabu=nkai nuuciru-ba=du nnja zzu+bunj=uu  
 頭=N/G 上=ALL のせる-CIRC=FOC FIL 魚+骨=ACC  
 nuuciru-ba=du nnja  
 のせる-CIRC=FOC FIL  
 「『(それを) 頭の上に乗せると」
- (19) nudu=n kakarj=uu zzu+bunj=aa tur-ai=doo ui-ba  
 喉=D/L かかる=IPF 魚+骨=TOP 取る-可能=SFP いる-CSL  
 ancii=nuga=tii  
 そんな=QBIAS=QUOT  
 「喉に刺さっている骨が取れるよ』と言うから、『あ、そうなの？』と言った」
- (20) dziit=ti bzzi  
 EXP=QUOT 坐る.CVB  
 「じっと座って」

- (21) kanama<sub>1</sub>=nu waabu=n nnja zzu+fusaa~fusa urj-aamai waitii  
 頭=N/G 上=D/L FIL 魚+LRED~臭い いる-CONC 一所懸命  
 gaman=na eii  
 我慢=STAT する.CVB  
 「頭の上は魚臭くても我慢して」
- (22) puda san-dzip-pun=ka jon-dzip-pun=bakaa<sub>1</sub> mate-aamai nnja  
 約 三-十-分=INT 四-十-分=APPR 待つ-CONC FIL  
 tur-aru-nni-ba  
 取る-可能-NEG-CSL  
 「約 30 分か 40 分ぐらい待っていても、取れないから」
- (23) obaa its<sub>1</sub>=gami=mai zzu+bunj=aa tur-aru-n=doo=tii  
 祖母 いつ=TERM=INC 魚+骨=TOP 取る-可能-NEG=SFP=QUOT  
 azzi-ba=du  
 言う-CIRC=FOC  
 「『お祖母さん、いつまでも、魚の骨が取れないよ』と言ったら」
- (24) ara mm=mu mipa<sub>1</sub>+fukum=ma ei-tti  
 それでは 芋=ACC 頬張り+銜える=STAT する-SEQ  
 「『じゃ、芋を口に一杯入れて」
- (25) gutta=tii numi=tii ui-ba  
 EXP=QUOT 飲む.IMP=QUOT いる-CSL  
 「一気に呑み込んで』と言うから」
- (26) mm=mu upoo~upu futs<sub>1</sub>=nkai gufu=tii zzi-tti  
 芋=ACC LRED~大きい 口=ALL EXP=QUOT 入れる-SEQ  
 「芋をたくさん口に入れて」
- (27) gutta=tii numi-ba=du un tur-ai-taa  
 EXP=QUOT 飲む-CIRC=FOC 当時 取る-可能-PST  
 「一気に呑み込んだら、その時（骨が）取れた」



- (28) aa jugaina+obaa banta=ga obaa=ja banu=u=tcaan  
INTR 冗談+祖母 1PL.EXCL=N/G 祖母=TOP 私=ACC=RESTR

damagairaci

困らせる.CVB

「私達のお祖母さんは滑稽なお祖母さんだった。私だけを困らせて」

- (29) ancii=naa=du uu-taa=doo too  
そんな=HAB=FOC いる-PST=SFP 終わり

「昔はそんなんだったよ」

#### 5.4 宮古島の不思議なところ

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2014 年 12 月 02 日、宮古島下地、運転中
- 収録時間：4m15s
- 背景・内容：来間島の敬老会のための漫談練習。

- (1) nnja too=ga serif=fu=mai maatsɿki azza-ttei-ba=ju  
 FIL 誰=N/G せりふ=ACC=INC 一緒に 言う -VOL-CSL=SFP  
 「誰のセリフでも一緒に言うからね」
- (2) hai nagama-san mjaaku=n=na pirumasɿ+munu=nu=du  
 INTR 長間-さん 宮古=D/L=TOP 不思議+もの=N/G=FOC  
 ati nte=uu  
 とても 満ちる=IPF  
 「長間さん、宮古には、不思議な物があまりにも多い」
- (3) noo=nu pi pirumasɿ+munu=nu=tii  
 何=N/G HES 不思議+もの=N/G=QUOT  
 「どういう不思議なもの？」
- (4) hai unu dzuuguja=n=du nna nnama=nu dzuuguja=n=du  
 INTR その 十五夜=D/L=FOC 今.HES 今=N/G 十五夜=D/L=FOC  
 「十五夜に、今月の十五夜に」
- (5) kagi+tsɿkinijuu=n ffema+dzɿma=nkai junai appɿ=ga keei-ba=du<sup>34</sup>  
 きれい+月夜=D/L 来間+島=ALL 夜 遊ぶ=PURP 来る -CIRC=FOC  
 nnja  
 FIL  
 「満月の夜に、来間島へ遊びに来たら」
- (6) aba kuruma=n nuuri maarj=uu-kkaa ntsɿ=n nnja  
 SURPR 車=D/L 乗る.CVB 回る=IPF-COND 道=D/L FIL  
 「あれ、車に乗っていたら、道に」
- (7) daiban noo=garaa ikɿmusɿ=nu ui-ba  
 大きい 何=INDER 生物=N/G いる -CSL  
 「でかい動物がいるから」

<sup>34</sup> この漫談は来間島で言う予定だったので、「来る」という動詞が使われる。

- (8) a nnja nagama-san matei matei=tii azzi kuruma=a  
INTR FIL 長間-さん 待つ.IMP 待つ.IMP=QUOT 言う.CVB 車=STAT  
tumi-sɣmi-tti uri iki miiru-ba=du  
止める-CST-SEQ おりる.CVB 行く.CVB 見る-CIRC=FOC  
「長間さん、待って待って、と言って、車を止めさせて、下りて行って見たら」
- (9) aaganja mii=ja mjuu-n daiban+aman=nu nnja  
INTR 見る.CVB=TOP 見る-NEG 大きい+ヤドカリ=N/G FIL  
「見たこともない、でっかいヤドカリが」
- (10) paadurj=uu=dara aneii=mai nnja unu aman=tss=aa nnja  
這う=IPF=ASS そんな=INC FIL その ヤドカリ=EMPH=TOP FIL  
aman=na  
ヤドカリ=TOP  
「這っているんだ。それでも、このヤドカリったら」
- (11) hai noo=mai kssa-dana pssagi nari nnja paadurj=uui-ba  
INTR 何=INC 着る-NEG.CVB 裸 成る.CVB FIL 這う=IPF-CSL  
「何も着ずに、裸で這っているのぞ」
- (12) nagama-san=nu abiri nnja hai hai unu upu+aman=nu  
長間-さん=ACC 呼ぶ.CVB FIL INTR INTR その 大きい+ヤドカリ=ACC  
mii miiru=tii azzi-ba=du  
見る.CVB 見る.IMP=QUOT 言う-CIRC=FOC  
「長間さんと呼んで、『その大きいヤドカリをててみて』とてたら」
- (13) mii ba=ga mii-kkaa noo=nu kui=ga aman  
見る.CVB 私=N/G 見る-COOND 何=N/G これ=N/G ヤドカリ  
「私が見たら、なんでそれがヤドカリなのか」
- (14) hai matsɣkani uj=uu=du nnja makugan=tii aɣ=dara=tii  
INTR 真津金 それ=ACC=FOC FIL ヤシガニ=QUOT 言う=ASS=QUOT  
「マツカニ、それを『まくがん (ヤシガニ)』とてうんだ」
- (15) makugan=tii noo=rj-aa=tii  
ヤシガニ=QUOT 何=COP-INT=QUOT  
「マクガンって何ですか？」

- (16) *agai nnja fai-ba=du nnja xxx nnja mma+munu*  
 INTR FIL 食べる-CIRC=FOC FIL xxx FIL 美味しい+もの  
*jas-suga=du*  
 安い-CONTR=FOC  
 「食べるとすんごく美味しいのだけど」
- (17) *hai ui=ga tsɿmi=n nnja pasam-ai-tarj-aa uibj=uu=mai*  
 INTR それ=N/G 爪=D/L FIL 挟む-受身-PST-CIRC2 指=ACC=INC  
*gasɿ=tii kst=tu+sɿ=too nnja*  
 EXP=QUOT 切る=FOC+する=SFP FIL  
 「あの爪に挟まれたら、指が切れるよ」
- (18) *anei-tti nnja matsɿgai ui=n pasam-ai-kkaa unu*  
 CNJ-SEQ FIL 間違う.CVB それ=D/L 挟む-受身-COND その  
*fuguɿ-gamo=o gudzuvvi-ba=du*  
 陰囊-DIM=ACC 擦る-CIRC=FOC  
 「そうして、間違えて挟まれたら、陰囊をぐすぐったら」
- (19) *pat=tii uj=aa panasɿ=tara*  
 EXP=QUOT それ=TOP 放す=ASS  
 「パッとそいつは（ハサミを）放すんだ」
- (20) *ii mata aneii=na=tii uri=kara mata*  
 RECOGN 又 そんな=YNQ=QUOT それ=ABL 又  
 「ええ、そうなの？それから」
- (21) *hai mjaaku=n=na ati=du hai jooɿ=nu nte=uu*  
 INTR 宮古=D/L=TOP とても=FOC INTR 祝い=N/G 満ちる=IPF  
*nnja udurukɿ=du+ssɿ*  
 FIL 驚く=FOC+する  
 「宮古には、祝い事があまりにも多くて、本当に驚く」
- (22) *hai ffa=nu mmarirj-aamai jooɿ*  
 INTR 子=N/G 生まれる-CONC 祝い  
 「子供が生まれてもお祝い」

- (23) ffa=nu njuugaku ee-aamai jooɿ  
 子=N/G 入学 する-CONC 祝い  
 「子供が入学してもお祝い」
- (24) uri=kara jaa=ju fukj-aamai jooɿ jooɿ=tii  
 それ=ABL 家=ACC 建てて-CONC 祝い 祝い=QUOT  
 「それから、家を建ててもお祝いお祝いと言って」
- (25) a ui=gamj=aa nnja dzoobun=juu ss-ai=du+ssɿ  
 INTR それ=CNTR=TOP FIL 大丈夫=SFP 知る-可能=FOC+する  
 「それは、大丈夫だよ、まだ分かる」
- (26) hai sentakkj=uu kai-tti=mai=du jooz=zu st=too=jaa  
 INTR 洗濯機=ACC 買う-SEQ=INC=FOC 祝い=ACC する=SFP=PPF  
 「洗濯機を買ってても祝いをする」
- (27) nagama-san uj=aa noo=tii=nu baa jarj-aa=tii  
 長間-さん それ=TOP 何=QUOT=N/G 訳 COP-INT=QUOT  
 「長間さん、それはどういう訳ですか？」
- (28) agai matsɿkani  
 INTR 真津金  
 「あれ、マツカニ」
- (29) hai aneii jooɿ=tii=nu mun=aa ffa=nu madzɿ  
 INTR そんな 祝い=QUOT=N/G もの=TOP 子=N/G 先ず  
 mmari-n=doo  
 生まれる-REAL=SFP  
 「祝いと言うものは、先ず子供が生まれるね」
- (30) unu ffa=a mmari sɿgu kenkoo+daiite=aa eii sɿgu  
 その 子=TOP 生まれる.CVB すぐ 健康+第一=STAT する.CVB すぐ  
 「その子が生まれて、健康第一で」
- (31) noo=nu kakaɿ+matsɿv njaa-dana  
 何=N/G かかる+絡む ある-NEG.CV B  
 「何の問題もなく」

- (32) sɿgu sɿku~sɿku=tii ss pudui fiiru=tii=du  
 すぐ RED~EXP=QUOT HES 成長する.CVB BEN.IMP=QUOT=FOC  
 baa=ja eii=du nigoo=tii=nu baa=doo  
 訳=STAT する.CVB=FOC 祈願する=QUOT=N/G 訳=SFP  
 「成長してくれ、と願うと言う訳だよ」
- (33) kkaa vva=ga an-kkaa unu sentakkj=aa noo=tii=nu  
 COND 君=N/G CNJ-COND その洗濯機=TOP 何=QUOT=N/G  
 baa jarj-aa=tii  
 訳 COP-INT=QUOT  
 「それなら、君がそうなら、その洗濯機はどういうことなの？」
- (34) agai sentakki=mai ugukɿ munu jai-ba=du  
 INTR 洗濯機=INC 動くもの COP-CSL=FOC  
 「洗濯機だって動く物だから」
- (35) nnja dzuu-nen=mai ni-dzUU-nen=mai javvu-dana nnja  
 FIL 十-年=INC 二-十-年=INC 壊れる-NEG.CVB FIL  
 「10年も20年も故障することなく」
- (36) tsɿka-ari fiiru=tii=du nigai utuuz=za  
 使う-受身.CVB BEN.IMP=QUOT=FOC 祈願する.CVB 回し飲み=STAT  
 maaraci num=tii=nu baa=dara  
 回す.CVB 飲む=QUOT=N/G 訳=ASS  
 「使えるようにと願って、オトーリ<sup>35</sup>を廻して飲むと言う訳だ」
- (37) kkaa vva=ga uj=aa otoo-ta=ga tada saki+num=nu  
 COND 君=N/G それ=TOP お父-PL=N/G ただ酒+飲む=N/G  
 koodzit=tsa ara-n=naa=tii  
 口実=TOP COP-NEG=YNQ=QUOT  
 「そこで、君が、これはただのお父さんたちが飲む口実じゃないの？」と」
- (38) agai jai-ba=du sakj=uu nun-gatsɿna aneii nigai-ba=du  
 INTR COP-CSL=FOC 酒=ACC 飲む-SIMULT そんな祈願する-CIRC=FOC  
 「だから、酒を飲みながらこうして願っているから」

---

<sup>35</sup> 「オトーリ」とは回し酒の儀式を指す。

- (39) noo=nu kaka<sub>1</sub>+mats<sub>1</sub>v=mai njaa-n=tii=nu                    baa=doo  
 何=N/G かかる+絡む=INC ある-NEG=QUOT=N/G 訳=SFP  
 「何の問題もなくうまく行くと言う訳だ」
- (40) aa    pinna+munu  
 INTR 変+もの  
 「不思議だね」
- (41) furans<sub>1</sub>=n=na                    ancii=nu    kut=aa    mjuu-n=tii                    njaa-n  
 フランス=D/L=TOP そんな=N/G 事=TOP 見る-NEG=QUOT ある-NEG  
 「フランスにはこういうのはない」
- (42) uri=kara    mata noo=rj-aa=tii  
 それ=ABL 又    何=COP-INT=QUOT  
 「それから、『また何?』」
- (43) vva=ga uri=kara=tii                    a<sub>1</sub>-kkaa    aba    noo noo=rj-aa    nnja mata  
 君=N/G それ=ABL=QUOT 言う-COND SURPR 何    何=COP-INT FIL 又  
 kond=aa=tii  
 今度=TOP=QUOT  
 「あなたが『それから』と言ったら、『あれ、今度はまた何?』」
- (44) hai    furans<sub>1</sub>=n=na                    teenen taieoku roku-dzoo=kara  
 INTR フランス=D/L=TOP 定年 退職    六-十=ABL  
 roku-dzoo-go=n s-kkaa                    nnja  
 六-十-五=D/L    する-COND FIL  
 「フランスでは定年退職、60 から 65 になると」
- (45) furans<sub>1</sub>=n                    s<sub>1</sub>gutu=u    suu-n  
 フランス=D/L 仕事=ACC する-NEG  
 「フランスで仕事をしない」
- (46) nna    jaa=n=du                    terebj=aa    mii                    appj=uu  
 みんな 家=D/L=FOC テレビ=STAT 見る.CV 遊ぶ=IPF  
 「皆家でテレビを見て遊んでいる」

- (47) mjaaku=nu nnja odzii obaa-taa=ja ukaasɿ+munu  
宮古=N/G FIL おじい おばあ-PL=TOP すごい+もの  
「宮古島のおじいさんたち、おばあさんたちは本当にすごい」
- (48) hai hatei-dzuu sɿgi-tti=mai pari+sɿgut=aa eii  
INTR 八-十 過ぎる-SEQ=INC 畑+仕事=STAT する.CVB  
icɛokemmee uu=doo ubai~ga~ubai  
一所懸命 いる=SFP RED~LIN(ga)~関心に働する  
「80歳を過ぎても、畑仕事をして一所懸命なんだよ」
- (49) tii aɿ-kkaa a matsɿkani ancii ui-ba=du mjaaku=nu  
QUOT 言う-COND INTR 真津金 そんないる-CSL=FOC 宮古=N/G  
odzii obaa-taa=ja gandzoo~gandzoo uu=tii=nu baa=doo  
おじい おばあ-PL=TOP LRED~健康 いる=QUOT=N/G 訳=SFP  
「と言ったら、マツカニ、そういうわけで、宮古島のおじいさんたちとおばあさんたちはとても元気だってことだよ」
- (50) gaa daidzɿ=dara  
INTR 大変=ASS  
「大変だ」
- (51) kkaa vva=ga aa ancii=du xxx-kkaa furansɿ=nu nn odzii  
COND 君=N/G INTR そんな=FOC xxx-COND フランス=N/G FIL おじい  
obaa-ta f furansɿ=nu teenen taicoku st-taa  
おばあ-PL HES フランス=N/G 定年 退職 する-PST  
「あなたが、そうだったら、フランスのおじいさん、おばあさんたちは、フランスの定年退職した」
- (52) noo=tii=ga xxx odzii obaa ara-dana nnja teenen s-kkaa  
何=QUOT=INT xxx おじい おばあ COP-NEG.CVB FIL 定年 する-COND  
「何て言うか、おじい、おばあ、定年すると」
- (53) maantii futakina mii+mara+paa=n kssɿ=tii=nu mun=aa  
本当 すぐ 目+男性器+歯=D/L 来る=QUOT=N/G もの=TOP  
ancii=nu baa=bee=ii=tii  
そんな=N/G 訳=DUB=SFP=QUOT  
「実にすぐに体が衰えていくのはそういうわけかね？」



(54) uma=dara nnja=tii  
そこ=ASS FIL=QUOT  
「そこだよ」

(55) too too nnja ara nnja duuta=ga  
終わり 終わり FIL それでは FIL 1PL.INCL=N/G  
panas=su usʔki=bakaaʔ=n suu=jaa  
話=ACC そんなにたくさん=APPR=D/L する .HORT=PF  
「私達の話はここまでにしよう」

## 5.5 昔の風呂

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2014 年 10 月 20 日、宮古島川満、話者自宅（外）
- 収録時間：57s

- (1) juufuru=tii=ja nkjaan=na doramu+kan=nu ukki-tti=du  
風呂=QUOT=TOP 昔=TOP ドラム+缶=ACC 置く -SEQ=FOC  
「お風呂というのは、昔はドラム缶を置いて」
- (2) nak attsaci ui=nkai=naa paŋ-taa  
中.HES 温める.CVB それ=ALL=HAB 入る -PST  
「温めてその中に入った」
- (3) uri=ka daiban+mm+nii+nabi ui=n nii-tti jaa  
それ=INT 大きい+芋+煮る+鍋 それ=D/L 煮る -SEQ CORR  
attsaci-tti eetti fumi  
温める -SEQ こうして 汲む.CVB  
「それか、でかい芋用の鍋、それで煮て、え、温めて、こうして水を汲んで」
- (4) unuu taraŋ ui=nkai zzi-tti pŋguru+midzŋ-gama=a bai-tti  
そのお 盥 それ=ALL 注ぐ -SEQ 冷たい+水 -DIM=STAT 薄める -SEQ  
ami-tti mata  
浴びる -SEQ 又  
「ええっと、盥。その中に入れて、冷たい水を加えて浴びて」
- (5) duu=ga amj=uu aida=n mata pŋguru+mit=tsa  
REFL=N/G 浴びる=IPF 間=D/L 又 冷たい+水=STAT  
nabi=nkai zzi tsŋgi=nu pstu=nu mutj=uu attsasŋ=tara  
鍋=ALL 注ぐ.CVB 次=N/G 人=N/G 分=ACC 温める=ASS  
「自分が水を浴びている間にまた冷たい水を鍋に入れて、次の人の分を温めるんだ」
- (6) jai-ba bikidum-nukjaa=gamj=aa araa=iki ami-suga  
COP-CSL 男 - PL=CNTR=TOP 外=LOC2 浴びる -CONTR  
「だから、男性たちは外に行って浴びるけど」

- (7) anga-taa=ja furo=o wakj=uui-ba ee attsac=uui-ba  
 先輩 (女) -PL=TOP 風呂=TOP 沸く=IPF-CSL INTR 温める=IPF-CSL  
 uma=nu jukaara-gama=n=du taraz=za ukki-tti uma=n  
 そこ=N/G 横-DIM=D/L=FOC 盥=STAT 置く-SEQ そこ=D/L  
 amj=uu-taa  
 浴びる=IPF-PST  
 「姉さんたちは風呂を温めているから、そこのすぐ側に盥を置いて浴びて  
 いた」
- (8) ban-taa=ja taraz=zu=baa araa=n kancii ukki-tti ui=nkai  
 私-PL=TOP 盥=ACC=TOP2 外=D/L かよう 置く-SEQ それ=ALL  
 sɔ̃gu juufur=aa fumi keei zzi-tti  
 すぐ 風呂=STAT 汲む.CVB 来る.CVB 注ぐ-SEQ  
 「私達は、盥を外に置いて、その中にお風呂の水を汲んで来て、入れて」
- (9) fuju=n=teaan=ju natsɔ̃=n=na pɔ̃guru+midzɔ̃=dara  
 冬=D/L=RESTR=SFP 夏=D/L=TOP 冷たい+水=ASS  
 「冬の時だけだよ。夏は冷たい水だ」
- (10) natsɔ̃=n=na pɔ̃guru nn natsɔ̃=n=na ju atsɔ̃+munu=u=baa  
 夏=D/L=TOP 冷たい FIL 夏=D/L=TOP 湯.HES 暑い+もの=ACC=TOP2  
 ami-mmaa  
 浴びる-RHET  
 「夏には暖かい水を浴びるわけがない」

## 5.6 昔の正月

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2015 年 01 月 13 日、宮古島平良、研究者自宅
- 収録時間：51s

- (1) nkjaan=nu ban-ta jarabi-kaŋ-kja=nu      ɛoogatsɿ=n=na=jaa  
昔=N/G 私-PL 子供-VRB-TEMP=N/G 正月=D/L=TOP=PPF  
「昔の、私たち子供の時の正月にはね」
- (2) nnja unu nama+dzaaka=naa=du nnja sɿgu tida=nu      agara-n-kja  
FIL FIL MIT+未明=HAB=FOC FIL      すぐ 太陽=N/G 上がる-NEG-TEMP  
nnja uki-tti  
FIL 起きる-SEQ  
「未明に、太陽が上がらないうちに起きて」
- (3) ɛiitu-nukjaa=ja      tunaŋ=iki  
生徒=N/G-PL=TOP 隣=LOC  
「生徒たちが隣に行って」
- (4) omedetoogodzaimasɿ=tii      sɿgu upu+gui=ɛii=naa      iki  
おめでとうございます=QUOT すぐ 大きい+声=INST=HAB 行く.CVB  
『おめでとうございます』と大きな声で、行って」
- (5) ugami-tti tii-gamo=o=teoodai ɛii      idaci-ba=naa=du  
拝む-SEQ 手-DIM=ACC=頂戴 する.CVB 出す-CIRC=HAB=FOC  
「挨拶をして、手で頂戴の合図を出したら」
- (6) enpitsɿ=tu teomin=nu=naa nn tunaŋ=nu kaatean=ga=naa  
鉛筆=COM 帳面=ACC=HAB FIL 隣=N/G 母ちゃん=N/G=HAB  
fii-taa=dara  
くれる-PST=ACC  
「鉛筆と帳面を、隣の母さんがくれた」
- (7) anɛi-tti      ujaki+jaa=nkai ikɿ-kkaa  
CNJ-SEQ 富裕+家=ALL 行く-COND  
「そして、金持ちの家へ行くと」

(8) unu midzɨ+iro eii=nu            koorin+enpitsɨ=tu        daigaku+nooto=o=naa  
FIL 水+色        する.CVB=N/G コーリン+鉛筆=COM 大学+ノート=ACC=HAB  
fii-taa=dara  
くれる-PST=ASS  
「水色のコーリン鉛筆と大学ノートをくれたんだ」

(9) ati=du            ui=ga        nnja pukarasɨ-kai-ba=naa  
とても=FOC それ=N/G FIL 嬉しい-VRB-CSL=DIS  
「これがあまりにも嬉しかったので」

(10) nnja eoogatsɨ=tii aɨ-kkaa        unusɨku        tanoɛimi ja-taa=dara  
FIL 正月=QUOT 言う-COND それまでに 楽しみ COP-PST=ASS  
「正月と言ったら、ものすごく楽しみだったんだ」

## 5.7 味噌作り

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2016 年 08 月 01 日、宮古島川満、話者自宅
- 収録時間：2m14s

(1) ntsɿ+tsuffu

味噌+作る

「味噌作り？」

(2) ntsu=u=baa madzɿ daidzɿ+mami

味噌=ACC=TOP2 まず 大豆+豆

「味噌はまず大豆豆」

(3) urj=uu pari=kara tui keei-tti=du

それ=ACC 畑=ABL 取る.CVB 来る-SEQ=FOC

「それを畑から取って来て」

(4) sɿgu boo=eii kanɿi maaraci tataki

すぐ 棒=INST かよう 回す.CVB 叩く.CVB

「棒でこう廻しながら叩いて」

(5) nna nn tonikaku baɿ=saaira mamj=uu bari-tti

みんな FIL とにかく 割る=CONF 豆=ACC 割る-SEQ

「全部、えっと、とにかく割るね、豆を。割って」

(6) muɿdzooki=eii urj=uu utsɿ+fuuri mamj=aa tui

浅い籠=INST それ=ACC INTSF+振る.CVB 豆=STAT 取る.CVB

「豆用の籠でそれを揺すぶって、豆を取って」

(7) urj=aa juvdi juvdi-tti mm+nii+nabi=n=ju

それ=STAT 茹でる.CVB 茹でる-SEQ 芋+煮る+鍋=D/L=SFP

「それを茹でて、茹でてから、大きな芋用の鍋でね」

(8) juvdi-tti uri=kara unu mugɿ ui=ga koodzi<sup>36</sup>

茹でる-SEQ それ=ABL FIL 麦 それ=N/G 麴

「茹でてから、それから、麦。その麴」

---

<sup>36</sup> 標準語。宮古語は koodzɿ。

- (9) urj=uu koodz=uu nnja hakkoo st-taa munu=u  
 それ=ACC 麴=ACC FIL 醱酵 する -PST もの=ACC  
 「それを、麴を、醱酵したものを」
- (10) ɛi-tti=du mamj=uu unu maarasɿ unu noo=ti=ga aɿ=gari  
 する -SEQ=FOC 豆=ACC そのお 回す そのお 何=QUOT=INT 言う =DUB  
 kaj=uu=baa nnja  
 あれ=ACC=TOP2 FIL  
 「そして、豆を廻す、廻す、何て言うかな、あれは」
- (11) kancii=naa faaɛi mami+faasɿ+kikai=tii=du aɿ-taa=saai  
 かよう=HAB 差し込む.CVB 豆+差し込む+機械=QUOT=FOC 言う -PST=SFP  
 「こうしてつぶす。「豆をつぶす機械」と言っていたね」
- (12) urj=aa faaɛi<sup>37</sup> mamj=uu=ju waagu=kara zzi  
 それ=STAT 差し込む.CVB 豆=ACC=SFP 上=ABL 入れる.CVB  
 faaɛi  
 差し込む.CVB  
 「それをつぶして、上から入れてつぶして」
- (13) tti ui=tu nn unuu maasu  
 SEQ それ=COM FIL FIL 塩  
 「そして、それと、塩」
- (14) uri=kara nnja koodzi=ra urj=uu zzi sɿgu kigjaaɛi  
 それ=ABL FIL 麴=AGR それ=ACC 入れる.CVB すぐ 混ぜる.CVB  
 「それから麴ね、それを入れて、混ぜて」
- (15) sɿgu nna=ɛii tsɿtsɿki kigjaaɛi-tti  
 すぐ みんな=INST 突く.CVB 混ぜる -SEQ  
 「皆で搗いて、混ぜて」

<sup>37</sup> faas- は fa- 「食べる」の使役形で、「食わせる」が元の意味である。「サトウキビを搾り機に差し込む」などという意味もあり、ここでは、「つぶす」と訳した。

- (16) urj=uu nnja kami=nkai zzi ui=ga nan+nitei=gara  
 それ=ACC FIL 甕=ALL 入れる.CVB それ=N/G 何+日=CMPLZ  
 ssa-n=sa ban-taa=ja jarabi jai-ba nnja  
 知る-NEG=SFP 私-PL=TOP 子供 COP-CSL FIL  
 「それを甕に入れて、それが何日間（置くのか）分からない。私たちは子供だったから」
- (17) nn ukki ui=ga nnja ntsu=n nari pii=dara  
 FIL 置く.CVB それ=N/G FIL 味噌=D/L 成る.CVB 行く=ASS  
 「置いて、それが味噌になっていくんだ」
- (18) an-suga=du unu ntsu=u tsuffu mai=nu nnja mami=nu  
 CNJ-CONTR=FOC FIL 味噌=ACC 作る 前=N/G FIL 豆=N/G  
 maasu=u poorj=uukɿ mami=nu unusɿku mma-ka-taa=dara  
 塩=ACC 撒く=PROV 豆=N/G それまでに 美味しい-VRB-PST=ASS  
 「しかし、その味噌を作る前の豆、塩が振ってある豆の方がものすごく美味しかった」
- (19) mamj=aa daidzɿ+mamj=aa  
 豆=TOP 大豆+豆=TOP  
 「豆は、大豆豆は」
- (20) nattoo nattoo=tii=nu munu=gamj=aa nnja fusari sunki=nu  
 納豆 納豆=QUOT=N/G もの=CNTR=TOP FIL 腐れる.CVB 饅える=N/G  
 munu=u nooɕii=ga nnja uj=uu foo faij=uu=ga=tii  
 もの=ACC どうやって=INT FIL それ=ACC 食べる 食べる=IPF=INT=QUOT  
 ati pirumasɿ-kas-suga ui=mai daidzɿ=nu ira ɕurui  
 とても 不思議-VRB-CONTR それ=INC 大豆=N/G AGR 種類  
 「納豆というのは、腐ってだめになった食べ物をどうやって（人々が）食べられるかはあまりにも不思議だけど、これも大豆の一種だね」
- (21) jaa na daidzɿ jai-ba moto~mot=aa  
 PFP HES 大豆 COP-CSL RED~元=TOP  
 「ね、大豆だから、元々は」



- (22) tti anei-tti nts<sup>w</sup>=aa<sup>38</sup> nkjaan=na nnja akaa~aka uu-kkaa jojuu=ja  
SEQ CNJ-SEQ 味噌=TOP 昔=TOP FIL LRED~赤い いる -COND 余裕=TOP  
njaa-n kadzoku kinai  
ある-NEG 家族 家庭  
「そして、味噌は昔は赤いと余裕がない家族」
- (23) tti ffo-onu ntsu=nu kinai=ja nnja ujaki+jaa=tii=nu baa  
SEQ 黒い-ADJZ 味噌=N/G 家庭=TOP FIL 富裕+家=QUOT=N/G 訳  
「そして、真っ黒の味噌の家族はお金持ちというわけだ」
- (24) urj=aa nts<sup>w</sup>=aa tsɿk kami=n tsɿki-tti  
それ=TOP 味噌=STAT HES 甕=D/L つける -SEQ  
「これはどういうことかというに、味噌を甕につけて」
- (25) jojuu=nu aa pst=aa ifu-kami=mai tsɿki uki-ba  
余裕=N/G ある 人=TOP 幾-甕=INC つける .CVB PROV-CSL  
nn ui=ga nnja ifu ifu+tusɿ=mai nari  
FIL それ=N/G FIL 幾.HES 幾+年=INC 経つ .CVB  
「余裕がある人はいくつもの甕をついておくから、何年間経って」
- (26) kancii nagjaafu ukkj- uutii foo  
かよう 永らく 置く -BACK 食べる  
「こうして長く置いておいて食べる」
- (27) jojuu=nu njaa-n pst=aa nnja saa unu kami=n ukkj=uukɿ  
余裕=N/G ある -NEG 人=TOP FIL HES その 甕=D/L 置く =PROV  
munu=u saati mata nnja faa-da-kaa manjaa-n  
もの=ACC さっさと 又 FIL 食べる -NEG-COND 間に合う -NEG  
「余裕がない人は甕においておいたものを早く食べなければ間に合わない」
- (28) ancii=du aka+ntsu=tii akaa ntsu=nu baka+ntsu-gama=saa  
さよう=FOC 赤い+味噌=QUOT 赤い.HES 味噌=N/G 若い+味噌 -DIM=SFP  
「だから、赤い、味噌の、若い味噌だね」

<sup>38</sup> 基本的に ua の母音連続が aa に代わるが、主題の助詞が u に終る語に付くと、u がグライド化することもある。

(29) an-suga      baka+ntsu=nu=du      mma-ka-taa=tii      nna=ɕii  
CNJ-CONTR 若い+味噌=N/G=FOC 美味しい-VRB-PST=QUOT みんな=INST

aɲ=saai

言う=SFP

「しかし、若い味噌の方が美味しかったと皆揃って言っているね」

## 5.8 昔の農業

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2015 年 16 月 09 日、宮古島川満、話者自宅
- 収録時間：4m59s

- (1) nkjaan=na ban-ta=ga nnja mono+gokoro nnja eii=kara  
昔=TOP 私-PL=N/G FIL 物+心 FIL する.CVB=ABL  
「昔は私たちが物心が付いてから」
- (2) mjaaku=nu pari=tii a<sub>1</sub> pari=n=na nna buug<sub>1</sub> ja-taa  
宮古=N/G 畑=QUOT 言う 畑=D/L=TOP みんな サトウキビ COP-PST  
「宮古島の畑という畑には全部サトウキビだった」
- (3) an-tti un=nagj=aa buugz=za ni-eurui=eika  
CNJ-SEQ 当時=APPR2=TOP サトウキビ=TOP 二-種類=しか  
njaa-t-ta-n  
ある-NEG-PST-REAL  
「そしてあの頃は二種類のサトウキビしかなかった」
- (4) en-ee-ei-o=tu ssu+buug<sub>1</sub>=tii=du foo-kkaa nnja  
NA-C-O=COM 白い+サトウキビ=QUOT=FOC 食べる-COND FIL  
japa-anu mma-anu buug<sub>1</sub>=nu aa-taa=dara  
柔らかい-ADJZ 美味しい-ADJZ サトウキビ=N/G ある-PST=ASS  
「『NACO』という種類と、『白サトウキビ』と言って、食べると柔らかくて美味しいサトウキビがあった」
- (5) an-suga eimodzi=n=na urj=uu=baa mankitei+buug<sub>1</sub>=tii=du  
CNJ-CONTR 下地=D/L=TOP それ=ACC=TOP2 万吉+サトウキビ=QUOT=FOC  
azz=uu-taa  
言う=IPF-PST  
「しかし下地ではその種類を『万吉サトウキビ』と呼んでいた」
- (6) nema mankitei nn odzii=ga=du taiwan=ka teuugoku=kara  
根間 万吉 FIL おじい=N/G=FOC taiwan=INT 中国=ABL  
mutei keei hirumi-taa=ts-suga=du  
持つ.CVB 来る.CVB 広める-PST=HS-CONTR=FOC  
「根間万吉おじいさんが台湾か中国から持って来て広めたそうだが」

- (7) nnja mjaaku=n=na ati kadzi=nu fuki-ba sura=nu  
 FIL 宮古=D/L=TOP とても 風=N/G 吹く-CSL 植物の先端=N/G  
 buri-taa=tin=dara unusɔku japaa~japa  
 折れる-PST=HS=ASS それまでに LRED~柔らかい  
 「宮古島には台風が頻繁に来るので、梢がしょっちゅう折れたそうだ、柔らかくて」
- (8) uj=uu nnja dandan nnja uj=uu=baa tsɔkaa nnja  
 それ=ACC FIL 段々 FIL それ=ACC=TOP2 使う.HES FIL  
 ibu-n-fu naɔ-taa=ttsa  
 植える-NEG-ADV 成る-PST=HS  
 「それを段々植えなくなったそうだ」
- (9) anei-tti buugɔ+ibi=n=na ira nnja  
 CNJ-SEQ サトウキビ+植える=D/L=TOP AGR FIL  
 「そして、サトウキビを植える時は」
- (10) un=nagj=aa nnja kikai=tii=du njaa-t-taa kata=n=du  
 当時=APPR2=TOP FIL 機械=QUOT=FOC ある-NEG-PST 故=D/L=FOC  
 「機械がなかったから」
- (11) nuuma=eii sɔki manj=aa agi ui=n kadzɔvvai=ja  
 馬=INST 鋤く.CVB 畝=STAT 上げる.CVB それ=D/L 元肥=STAT  
 poori  
 撒く.CVB  
 「馬で耕して畝をあげて、その中に元肥を撒いて」
- (12) ui=ga waabu=n sani=ga sanj=uu ukki=naa nn  
 それ=N/G 上=D/L 種=N/G.HES 種=ACC 置く.CVB=HAB FIL  
 ibi-taa=saaira  
 植える-PST=CONF  
 「その上に種を置いて植えたよ」
- (13) an-suga=du nnja anna-ta=ga=naa=du atu=kara umi+guna  
 CNJ-CONTR=FOC FIL 母-PL=N/G=HAB=FOC 後=ABL 埋める+係り  
 ja-tai-ba  
 COP-PST-CSL  
 「しかし、おかあちゃんたちが最後に埋める係だったので」

- (14) sani=nu mintama-gamo=o=garaa=du nnja saka=nkai dzɪkɪna=a  
種=N/G 目玉-DIM=ACC=EMPH=FOC FIL 逆=ALL 逆さま=STAT  
e=uu-kkaa  
する=IPF-COND  
「種の芽を逆さまにしたら」
- (15) unusɪku zz-ai-taa=dara  
それまでに 叱る-受身-PST=ASS  
「すんごく叱られた」
- (16) jai-ba=du kaagi uttei=gami=du sɪgutu=mai naɪ=tii  
COP-CSL=FOC 容貌 の割に=CNTR=FOC 仕事=INC できる=QUOT  
zzi=naa uu-tas-suga  
叱る.CV=HAB IPF-PST-CONTR  
「それで、『ぶさいくなほど仕事ができるんだ』と叱っていたけど」
- (17) nootii=ga naa=ga nasɪ-taa ffa ancii azza-da-kaa  
なぜ=INT REFL=N/G 産む-PST 子 そんな 言う-NEG-COND  
nara-n=garaa=tii umuu-taa=saai  
できる-NEG=DUB=QUOT 思う-PST=SFP  
「なんで自分が生んだ子にこんなことを言わなければならないのかなと思ったよ」
- (18) anei-tti mata nnja buugɪ=nu paa+kakɪ  
CNJ-SEQ 又 FIL サトウキビ=N/G 葉+取る  
「そして、またサトウキビの葉っぱ取り」
- (19) un=na agai eoogaku san-nen=kara=du nna nnja buugɪ=nu  
当時=TOP INTR 小学 三-年=ABL=FOC みんな FIL サトウキビ=N/G  
paa=ju kakj=uu-suga ancii japaa=tii-gama tebukuro=mai  
葉=ACC 取る=IPF-CONTR そんな ??=QUOT-DIM 手袋=INC  
hamu-dana  
嵌める-NEG.CV=HAB  
「当時は小学三年から皆サトウキビの葉っぱを取るけれども、手袋もはめないで」

- (20) buugɿ=nu            paa=ju=naa    kaki=naa            uu-tas-suga  
 サトウキビ=N/G 葉=ACC=HAB 取る .CVB=HAB IPF-PST-CONTR  
 「サトウキビの葉っぱを取っていたが」
- (21) un=nagi=nu            buugɿ=n=na            nnja maada=du    mata  
 当時=APPR2=N/G サトウキビ=D/L=TOP FIL とても=FOC 又  
 tsɿɿgɿ=nu arj=uukɿ=dara  
 棘=N/G ある=PROV=ASS  
 「あの頃はサトウキビには棘がたくさんあったんだ」
- (22) ui=ga            mbjaa-t-taa  
 それ=N/G 耐える-NEG-PST  
 「それがたまらなかったんだ」
- (23) tti    buugɿ=nu            paa=ja    kak            ban  
 SEQ サトウキビ=N/G 葉=TOP 取る .HES 私 .HES  
 「そして、サトウキビの葉っぱを取って」
- (24) tɕoonan+adza=tu nnja baja=a    nandzu madzime ara-n  
 長男+兄=COM    FIL 私=TOP あまり まじめ    COP-NEG  
 dzɿnan=na madzimj=aa    ɛ-uutii  
 次男=TOP まじめ=STAT する-BACK  
 「長男と私はそれほどまじめではなかったが、次男はまじめで」
- (25) pstu-mani=naa nnja gakkoo kɕɕi            kaki            kuu=tii  
 一-畝=DIS    FIL 学校    来る .CVB 取る .CVB 来る .IMP=QUOT  
 uu=munu            nnja dzɿnan=na futa-mani=mai mɿɿ-mani kaki  
 IPF=CONTR2 FIL 次男=TOP 二-畝=INC    三-畝    取る .CVB  
 「学校から来ると畝を一本やって来いと言うのに、次男は畝二本も三本もやって」
- (26) unusɿku            anna=n=na    taka-sa            ɕi-rai-suga=du            baja=a  
 それまでに 母=D/L=TOP 大事-NMLZ する-受身-CONTR=FOC 私=TOP  
 pstu-mani xxx sɿnnjatto kaki-tti  
 一-畝            xxx やっと 取る-SEQ  
 「おかあさんにすごく可愛がられたが、私は畝一本やっとの思いで取って」

- (27) tamatama nnja san-bun=nu itei=bakaaꞑ go-dzUU-meeta=nu  
 たまたま FIL 三-分=N/G 一=APPR 五-十-メートル=N/G  
 san-bun=nu itei nukue=uuki-ba  
 三-分=N/G 一 残す=PROV-CSL  
 「たまたま、(次男が) 50 メータの 3 分の 1 を残したから」
- (28) kjuu=ja nnja futa-mani kaki-tti nnja saa nnja  
 今日=TOP FIL 二-畝 取る-SEQ FIL ? FIL  
 「今日は畝を二本やっちゃって」
- (29) soomin+dzꞑru=u f okawari eii faa-tte=aa=tii  
 素麺+しる=ACC 食べる.HES おかわり する.CVB 食べる-VOL=PFP=QUOT  
 umui  
 思う.CVB  
 「素麺汁をおかわりして食べようと思って」
- (30) pstu-mani saati kaki-tti utsꞑ-tummmaari unu  
 一-畝 さっさと 取る-SEQ INTSF-引き返す.CVB FIL  
 manj=uu kaki ui-ba=du  
 畝=ACC 取る.CVB IPF-CIRC=FOC  
 「畝を一本やって引き返して(次の) 畝をやっていたら」
- (31) nna itei-meeta=eii owari=tii=nu tukꞑ=n nnja agai tandi  
 もう 一-メートル=INST 終わる=QUOT=N/G 時=D/L FIL INTR INTR  
 「あと 1 メートルで終わりのところに、しまった」
- (32) gajanda=n ff-ari mii=mai sꞑba=mai kancii fukuri nnja  
 蜂の一種=D/L 刺す-受身.CVB 目=INC 唇=INC こんな 腫れる.CVB FIL  
 「蜂に刺されて、目も唇もこう膨らんで」
- (33) munu+foo+dukur=aa ara-tte-aa nnja  
 もの+食べる+所=TOP COP-VOL-RHET FIL  
 「食事どころではない」
- (34) gakkoo=nkai noeii ika-di=ga=tii uu-kja nnja  
 学校=ALL どうやって 行く-VOL=INT=QUOT いる-TEMP FIL  
 「学校へどうやって行けるのかと思っていたら」

- (35) *anna=ga banu=u=du eiwa ssɿ=bjɿaa<sup>39</sup>=tii umuu-kkaa aaga*  
 母=N/G 私=ACC=FOC 心配する=DUB=QUOT 思う-COND INTR  
 「お母さんが私を心配するかと思ったら」
- (36) *kutus=sa kuja nnja dzootoo=tii noo=tii*  
 今年=TOP こや FIL 上等=QUOT 何=QUOT  
 「『今年はほら上等だ』と『何?』」
- (37) *kadzi+fuks=sa nnja kuu-n=jo*  
 風+吹く=TOP FIL 来る-NEG=SFP  
 「『台風はもう来ないよ』」
- (38) *patsɿ=nu ssɿ=nu arii=kara kadzi=nu fuk kadz=aa kuu-n=tii*  
 蜂=N/G 巣=N/G ある.CVB=ABL 風=N/G ??HES 風=TOP 来る-NEG=QUOT  
 「『蜂の巣ができれば台風は来ない』と」
- (39) *ba=ga eiwo=o=du ssɿ=bjɿaa=tii umuu-kkaa*  
 私=N/G 心配=ACC=FOC する=DUB=QUOT 思う-COND  
 「私のことを心配するかと思ったら」
- (40) *buugɿ=nu eiwa=a e=uu-taa*  
 サトウキビ=N/G 心配=STAT する=IPF-PST  
 「サトウキビのことを心配していた」
- (41) *uri=kara euukaku=n naɿ-kkaa*  
 それ=ABL 収穫=D/L 成る-COND  
 「それから、収穫になると」
- (42) *un=nagj=aa nnja buraku=nu=du buugɿ+buɿ*  
 当時=APPR2=TOP FIL 集落=N/G=FOC サトウキビ+収穫する  
*kumiai=tii arj-uutii*  
 組合=QUOT ある-BACK  
 「あの頃は部落にサトウキビの収穫組合というのがあって」

---

<sup>39</sup> *b* は無声無気子音。sVCV、C = [+voice, +stop]の環境で、Cが無声無気子音になることがある。宮古語の無声子音音素は有気なので、それらとは音声が異なっていることに注意されたい。



- (43) go-ken=bakaaɣ ei-tti unu jaa=nu buugz=zu  
 五-軒=APPR する-SEQ その家=N/G サトウキビ=ACC  
 itei-dai idasɣ-kkaa mata tsɣgi=nu pstu=nu muti aneii fumaari  
 一-台 出す-COND 又 次=N/G 人=N/G 分 そんな順番にする.CVB  
 「五軒ぐらいで、その家のサトウキビを一台出荷すると、また次の人のサ  
 トウキビを（収穫する）、こう順番に」
- (44) buugz=zu nagi=naa uu-taa  
 サトウキビ=ACC 薙ぐ.CVB=HAB IPF-PST  
 「サトウキビを収穫していた」
- (45) tti duu=ga ma maaru=n jaa=nu maaru=n naɣ-kkaa nnja  
 SEQ REFL=N/G 順番.HES 順番=D/L 家=N/G 順番=D/L 成る-COND FIL  
 「そして、自分の家の番になると」
- (46) jusarabi nnja otoo-ta=ga saki=nu usai+koo=ga=tii=naa  
 夕方 FIL お父-PL=N/G 酒=N/G つまみ+買う=PURP=QUOT=HAB  
 「夕方におとうさんたちが酒のつまみを買いに行っていた」
- (47) un=nagj=aa sɣppaa=tii njaa-nni-ba nnja uidzɣ=nu  
 当時=APPR2=TOP スーパー=QUOT ある-NEG-CSL FIL 上地=N/G  
 mattea=iki  
 店=LOC  
 「あの頃はスーパーというのがなくて、上地の店に行って」
- (48) unu reetoo aka-anu zzu=u koo=ga=naa juu ikɣ-taa=dara  
 その冷凍 赤い-ADJZ 魚=ACC 買う=PURP=DIS しばしば行く-PST=ASS  
 「冷凍の赤い魚をよく買いに行った」
- (49) anei-tti nnja tsɣide=n kamabaku=u=mai san-mai kai  
 CNJ-SEQ FIL ついで=D/L カマボコ=ACC=INC 三-枚 買う.CVB  
 kuu=tii ui-ba nn=tii  
 来る.IMP=QUOT いる-CSL はい=QUOT  
 「そして、ついでにカマボコも3枚買って来いと言うので、承知して」

- (50) anga=tu fu-taaŋ nnja dzitenca+nuuŋ koo-kai-ba  
 姉=COM 二-名 FIL 自転車+乗る きつい-VRB-CSL  
 nuuma=kara iki  
 馬=ABL 行く.CVB  
 「お姉さんと二人、自転車に乗るのがきついから、馬で行って」
- (51) koo=ga iki-tti kaeri nnja jaas-sa+bata jai-ba nnja  
 買う=PURP 行く-SEQ 帰る FIL お腹空いた-NMLZ+腹 COP-CSL FIL  
 「買いに行って、帰りは、お腹がすいた状態だから」
- (52) mmi-ttea-gama hai tsŋkɛɛi fai mjuu-di=tii nnja  
 小さい-ADV2-DIM INTR 箸り取る.CVB 食べる.CVB 見る-VOL=QUOT FIL  
 fu-taaŋ=eii nnja tsŋkɛɛ=aa foo~foo uu-kkaa  
 二-名=INST FIL 箸り取る.CVB=TOP RED~食べる いる-COND  
 「はい少し箸り取って食べてみようよと、二人で箸り取って食べていたら」
- (53) atu=n=na nnja itei-mai=ju=baa nna fai-tti jaa iki-ttj=aa  
 後=D/L=TOP FIL 一-枚=ACC=TOP2 みんな 食べる-SEQ 家 行く-SEQ=TOP  
 nnja anna=n zz-ai  
 FIL 母=D/L 叱る-受身.CVB  
 「1枚を全部食べて、家に行ったら、お母さんに叱られて」
- (54) juz=zu=baa faa-dana uu-taa baa=n=aa=dara=tii  
 夕食=ACC=TOP2 食べる-NEG.CVB いる-PST 場合=N/G=ある=ASS=QUOT  
 「晩御飯をたべないでおったことがあるよ」
- (55) ee nnama=nu dzidai=ja nnja noo jononaka=a muŋ-gaari nnja  
 INTR 今=N/G 時代=TOP FIL 何 世の中=TOP INTSF-変わる.CVB FIL  
 「今の時代は世の中がすっかり変わって」
- (56) buugŋ+ibi=mai kikai=eii ibi  
 サトウキビ+植える=INC 機械=INST 植える  
 「サトウキビを植えるのも機械で植える」

- (57) *agai tandi anci-tti kanu torakutaa mmi-inu torakutaa-gama=ei*  
 INTR INTR CNJ-SEQ あのトラクター 小さい-ADJZ トラクター-DIM=INST  
*burutora=ei ibii=nu pstu-nukjaa=ja*  
 ブルトラ=INST 植える.CVB=N/G 人-PL=TOP  
 「そして、小さいトラクターで植える人たちは」
- (58) *otoo=ga=du unten=na ei kaatean teibi xxx isugasɿ-ki*  
 お父=N/G=FOC 運転=STAT する.CVB 母ちゃん 後ろ xxx 忙しい-SEMBL  
*nari kancii uu-suga*  
 成る.CVB かよう いる-CONTR  
 「お父さんが運転して、お母さんが後ろにいて、忙しそうにやっているけど」
- (59) *kaatean=∅ unten=na sɿmi-tti otoo=ga ibi=nu kut=aa*  
 母ちゃん=D/L 運転=STAT させる-SEQ お父=N/G 植える=N/G 事=TOP  
*kaj=aa*  
 あれ=TOP  
 「お母さんに運転してもらって、お父さんが植えることはこれは」
- (60) *maada kɿmu+kagi+mjuutura-nukjaa=pat=teu=tii*  
 とても 心+きれい+夫婦- PL=筈=SFP=QUOT  
 「とても優しい夫婦のはずだよ」
- (61) *tti nnja aba midzɿ+makɿ=mai nekutai fundzi uri-tti jusarabi*  
 SEQ FIL SURPR 水+撒く=INC ネクタイ 縛る.CVB IPF-SEQ 夕方  
*iki*  
 行く.CVB  
 「そして、あれ、水を撒くのもネクタイを締めて、夕方に行って」
- (62) *dzat=ti garan-gamo=o xxx-kkaa ui=mai midzɿ=ei mak-ai*  
 EXP=QUOT ガラン-DIM=ACC xxx-COND それ=INC 水=INST 蒔く-可能  
 「くるっとカランをあけると、水で撒くことができて」
- (63) *noo=nu jununaka=rj-aa ubai~ga~ubai*  
 何=N/G 世の中=COP-INT RED~LIN(ga)~感心に価する  
 「感心する世の中だよ」

- (64) buugɿ+nagɿ            xxx unusɿku        haabesɿtaa=ɕii            gav~gav=tii  
 サトウキビ+難ぐ xxx それまでに ハーベスター=INST RED~EXP=QUOT  
 fai                    piri-tti        nnja  
 食べる.CVB 行く -SEQ FIL  
 「サトウキビの収穫もハーベスターでがばっと取り込んで行って」
- (65) pari+nus=sa noo=mai nangz=zu=baa        ssɿ-mmaa  
 畑+主=TOP 何=INC 難儀=ACC=TOP2 する -RHET  
 「畑の主は全く苦労しない」
- (66) kancii=nu    raku-na    noogjoo=tii=ja    nnja taa=ga  
 かよう=N/G 楽-ATTR 農業=QUOT=TOP FIL 誰=N/G  
 kancii=nu    jununaka idi=tii            umuu-tarj-aa  
 かよう=N/G 世の中 出る=QUOT 思う -PST-INT  
 「こんな楽な農業とは、誰がこんな時代が訪れると思ったか」
- (67) nnaa=kara=mai sɿgu jamakasa buugz=za            tsuffi        sɿburaci  
 今=ABL=INC すぐたくさん サトウキビ=STAT 作る.CVB 搾らせる.CVB  
 「今後もサトウキビをたくさん作って絞ってもらって」
- (68) nookjoo=n jamakasa jokin=nu    ukkɿ-joon    suu=jaa=tii  
 農協=D/L たくさん 預金=ACC 置く-ようにする.HORT=PFP=QUOT  
 「農協にたくさんのお金を置くようにしよう」
- (69) ba=ga    panas=sa too  
 私=N/G 話=TOP 終わり  
 「私の話は終わり」

### 5.9 お弁当の話

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2014 年 12 月 08 日、宮古島平良、研究者自宅
- 収録時間：3m56s

- (1) kurj=aa maantii aa-taa panasʎ  
 これ=TOP 本当 ある -PST 話  
 「これは本当の話だ」
- (2) uja=a gakkoo=nu ɛincii=ja ɛ-uutii  
 父=TOP 学校=N/G 先生=STAT する -BACK  
 「お父さんは学校の先生を務めて」
- (3) futa+mt=tsa aikii=nu uja=a ɛ-uutii=d=ira  
 二+道=STAT 歩く .CVB=N/G 父=STAT する -BACK=FOC=AGR  
 「バツイチのお父さんで」
- (4) ɛoogaku jo-nensee=nu biki+vva=nu uu-tii  
 小学 四-年生=N/G 雄+子=N/G いる -BACK  
 「小学四年生の男の子が居て」
- (5) fu-taaʎ-mi=nu midum=ma tumi mi-tsaʎ=ɛii kurae=uu-taa  
 二-名-目=N/G 女=STAT 探す.CVB 三-名=INST 暮す=IPF-PST  
 「二人目の奥さんを見つけて、三人で暮らしていた」
- (6) nkjaan=na ɛincii=mai eiidu=mai jaa=kara=du pammai=ja mutei  
 昔=TOP 先生=INC 生徒=INC 家=ABL=FOC お弁当=STAT 持つ.CVB  
 ikj=uu-tai-ba=du  
 行く=IPF-PST-CSL=FOC  
 「昔は、先生も生徒も家からお弁当を持って行っていたので」
- (7) ans-kkaa=d=ira uja=ga pammai=ju faa-t=ti  
 CNJ-COND=FOC=AGR 父=N/G お弁当=ACC 食べる -VOL=QUOT  
 ɛɛi-ba=du  
 する -CIRC=FOC  
 「そうすると、お父さんがお弁当を食べようとしたら」

- (8) aganja kuj=aa nnja pstu=n fa-ai-guu-gi pammai=ja  
INTR これ=TOP FIL 人=D/L 食べる-可能-SEMBL2-SEMBL お弁当=TOP  
ara-n=tii uduruki uri-tti  
COP-NEG=QUOT 驚く .CVB IPF-SEQ  
「あれ、これは人が食べられそうな弁当じゃない、と驚いていて」
- (9) urj=aa ancii=mai faa-da-kaa nara-n=tii  
それ=TOP そんな=INC 食べる-NEG-COND できる-NEG=QUOT  
faij=ui-ba=du  
食べる=IPF-CIRC=FOC  
「それは、それでも食べないといけない、と食べていたら」
- (10) ffa=nu nnja abikj=aa kaŋ~kaŋ keei nnja  
子=N/G FIL 息切れする .CVB=TOP RED~INTSF 来る .CVB FIL  
「子供が息を切らして来て」
- (11) otoo nnja daidzŋ otoo=ga pammai=ju=du baja=a nnja kjuu=ja  
お父 FIL 大変 お父=N/G お弁当=ACC=FOC 私=TOP FIL 今日=TOP  
matsŋgai nnja mutsei iki njaan  
間違う .CVB FIL 持つ .CVB 行く .CVB PRF  
「『お父さん、大変だ！お父さんのお弁当を私は今日は間違えて持って行ってしまった！』」
- (12) matsŋgai~ga~matsŋgai=tii nnja tandj=aa ɛ=uu-i-ba=du  
RED~LIN(ga)~ご免=QUOT FIL 詫び=STAT する=IPF-CIRC=FOC  
「『ごめんなさい』と謝罪していたら」
- (13) uja=a nootii=ga vva=ga pammai ba=ga pammai=tii vva=a  
父=TOP なぜ=INT 君=N/G お弁当 私=N/G お弁当=QUOT 君=TOP  
ɛɛ=uu=ga=tii  
知る=IPF=INT=QUOT  
「お父さんは『なんで、それがお前の弁当で、これが私の弁当なのだと分かるのか？』と」
- (14) azzi-ba=du ffa=nu otoo nnama=nu kaatean=ga keeii=kara  
言う-CIRC=FOC 子=N/G お父 今=N/G 母ちゃん=N/G 来る .CVB=ABL  
「言ったら、子供が『お父さん、今のお母ちゃんが来てから』」

- (15) pstu+tsʔki=tɛaan=du junu+pammai=ja ɛ=uu-taa  
 一+月=RESTR=FOC 同じ+お弁当=STAT する=IPF-PST  
 「一ヶ月だけ同じ弁当だった」
- (16) unu at=aa otoo=ga pammai ba=ga pammai=ja  
 その 後=TOP お父=N/G お弁当 私=N/G お弁当=TOP  
 betsʔ~betsʔ=naa=doo  
 RED~別=HAB=SFP  
 「そのあと、お父さんの弁当と私の弁当は別々だったよ』」
- (17) aneii azzī-ba=du uja uja=a nnja uduruki  
 さよう 言う-CIRC=FOC 父.HES 父=TOP FIL 驚く.CV B  
 「そう言ったら、お父さんは驚いて」
- (18) too too ara nnja  
 終わり 終わり それでは FIL  
 「『もういいんだ」
- (19) kjuu=ja jaa=iki-tti jadjum=ma ɛii nnja unu  
 今日=TOP 家=LOC-SEQ 口喧嘩=STAT する.CV B FIL その  
 kaatean=nu=baa nnja uifusasa-tteaa  
 母ちゃん=ACC=TOP2 FIL 追い出す-VOL  
 「今日は、家に帰って、喧嘩してそのお母さんを追い出してやる！」
- (20) anei-tti nnja fu-taaʔ nnja duuta fu-taaʔ kurasa=jaa=tii  
 CNJ-SEQ FIL 二-名 FIL 1PL.INCL 二-名 暮らす=PFP=QUOT  
 azzī-ba=du  
 言う-CIRC=FOC  
 「そうして、私たち二人で暮らそうね』と言ったら」
- (21) ffa=nu otoo nnja jadjum=tii=nu munu=u=baa nnja  
 子=N/G お父 FIL 口喧嘩=QUOT=N/G もの=ACC=TOP2 FIL  
 mai=nu kaatean=ɛii nnja mii+kamari=du ui-ba  
 前=N/G 母ちゃん=INST FIL 見る+飽きる.CV B=FOC IPF-CSL  
 「子供が『お父さん、前のお母さんで喧嘩というのを見るのは懲り懲りだから」

- (22) unu nnama=nu nnja kaatean=nu naraasɿ+dzoot=tsa ɕii  
 その今=N/G FIL 母ちゃん=ACC 教える+上手=STAT する.CVB  
 ikɿ-kkaa nooeii=ga=tii  
 行く-COND どうやって=INT=QUOT  
 「今のお母ちゃんに色々教えてあげたら、どうですか?』と」
- (23) azzɿ-ba=du uja=a agai nnja  
 言う-CIRC=FOC 父=TOP INTR FIL  
 「言ったら、お父さんは」
- (24) ffa=n naraas-ai nnja  
 子=D/L 教える-受身.CVB FIL  
 「子供に教えられて」
- (25) kɿm=aa oteitsɿki  
 心=STAT 落ち着く.CVB  
 「心が落ち着いて」
- (26) jaa=nkai iki-ttj=aa unu midum=kai nnja  
 家=ALL 行く-SEQ=TOP その女=ALL FIL  
 「家へ帰ってから、その嫁さんに」
- (27) aba tama=n=na hai ansii=nu pammai=mai  
 SURPR たま=D/L=TOP INTR さよう=N/G お弁当=INC  
 dzootoo=saika=tii nnja amai-gatsɿna azzɿ-ba=du  
 上等=RECOGN=QUOT FIL 笑う-SIMULT 言う-CIRC=FOC  
 「『あれ、たまには、ああいう弁当もいいじゃないか』と、微笑みながら  
 言ったら」
- (28) midum=ma nnja mii=tu fut=tsu nnja upoo~upu puraki-tti  
 女=TOP FIL 目=COM 口=ACC FIL LRED~大きい 開ける-SEQ  
 「嫁は目と口を大きく開けて」
- (29) vuduruki noo=mai azza-dana nnja uu-taa=ttsa  
 驚く.CVB 何=INC 言う-NEG.CVB FIL いる-PST=HS  
 「驚いて、何も言えずに居た」



- (30) *anci-tti nnja unu atu=kara nnja uja=ga pammai ffa=ga*  
CNJ-SEQ FIL その後=ABL FIL 父=N/G お弁当 子=N/G  
*pammai dzɨtti junu+pammai eii nnja uu-taa=ttsa*  
お弁当 ずっと 同じ+お弁当 する .CVB FIL IPF-PST=HS  
「そうして、それ以後、お父さんの弁当と子供の弁当はずっと同じ弁当だった」
- (31) *uri=kara unu ffo=o=baa nnja unu jumj=aa unusɨku*  
それ=ABL その 子=ACC=TOP2 FIL その 嫁=TOP それまでに  
*taka-sa=a eii*  
大事-NMLZ=STAT する .CVB  
「それから、その子をすごく大事にして」
- (32) *mi-tsaaj nnja dzoo~dzoo kurasɨ-joon naɨ-taa=ttsa*  
三-名 FIL LRED~良い 暮らす-ように 成る -PST=HS  
「三人で家庭円満をして暮らすようになったそうだ」

### 5.10 思い込み

- 話者：長間三夫（昭和 30 年生）
- 収録日・場所：2015 年 02 月 28 日、石垣島、石垣市民会館中ホール
- 収録時間：5m41s
- 公開ビデオ：<https://youtu.be/fDBkjA0XJS8>

(1) aganja uj=uu=baa            duu+umuu=tii=d=aŋ  
 INTR それ=ACC=TOP2 REFL+思 う=QUOT=FOC=言 う  
 「(題名の発音をまちがえた司会に対して) それを『どうーうむー』と発音するんだよ」

(2) hai    konbanwa    nnja wadzawadza nnja mata mjaaku=kara=mai abiri  
 INTR こんばんは FIL 態々            FIL 又    宮古=ABL=INC 呼ぶ.CVB  
 fii            tandi~gaa~tandi  
 BEN.CVB RED~LIN(ga) ~ありがとう  
 「こんばんは。わざわざ宮古島から私達を呼んでくださってありがとうございますございました」

(3) kjuu=ja    duumuu=tii=nu            panas=su suu-tte-aa  
 今日=TOP 思い込み=QUOT=N/G 話=ACC する -VOL-CIRC2  
 kski            fii-samatei  
 聞く .CVB BEN-HON.IMP  
 「今日は、思い込みについてお話をしたいと思いますので、ご清聴をお願いいたします」

(4) duumuu=tii=ja            nnja daidzŋ-na    kutu=doo nnja  
 思い込み=QUOT=TOP FIL 大変-ATTR 事=SFP FIL  
 「思い込みというのは、大変なことだよ」

(5) nnja jarabi-kaŋ-kja=du  
 FIL 子供-VRB-TEMP=FOC  
 「子供のころ」

- (6) nnja ndza=m=mai mata bantaa taraki nnja nnama=a  
 FIL どこ=D/L=INC 又 1PL.EXCL 年代 FIL 今=TOP  
 kanreki rokudzuu idzoo=nu pstu-nukjaa nna ndza=nu buraku=mai  
 還暦 六十 以上=N/G 人-PL みんな どこ=N/G 集落=INC  
 ieeo ja-taa=padzɿ jas-suga  
 一緒 COP-PST=筭 COP-CONTR  
 「どこでも、私達の世代、還暦の人たちや 60 歳以上の人たちは、どこの集落でも一緒だったはずだけど」
- (7) nuuma usɿ=tii ui-ba nnja ui=ga fuso=o=kara  
 馬 牛=QUOT いる-CIRC FIL それ=N/G 草=ACC=PREC  
 kara-da-kaa juz=zu=mai fuu-n  
 刈る-NEG-COND 夕食=ACC=INC くれる-NEG  
 「馬や牛の草を先に刈らなければ、晩ご飯をくれなかった」
- (8) mata appɿ=ga=mai ik-aru-nni-ba=du  
 又 遊ぶ=PURP=INC 行く-可能-NEG-CSL=FOC  
 「また、遊びにも行けなかったから」
- (9) natsɿ+jasɿmi=n nnja buugɿ=nu paa=ju kaki saati kaki  
 夏+休み=D/L FIL サトウキビ=N/G 葉=ACC 取る.CVB さっさと 取る.CVB  
 keei nuuma=n fii-tti nnja appɿ=ga ika-di=tii  
 来る.CVB 馬=D/L くれる-SEQ FIL 遊ぶ=PURP 行く-VOL=QUOT  
 eei-ba=du  
 する-CIRC=FOC  
 「ある夏休みにサトウキビの葉っぱを急いで取って来て馬にやって遊びに行こうとしたら」
- (10) aba pstu+mani kakɿ-kkaa nnja waateaku nnja buugɿ=nu paa=eii  
 SURPR 一+畝 取る-COND FIL 悪戯 FIL サトウキビ=N/G 葉=INST  
 mii=ju tsɿki njaan=dara=jaa  
 目=ACC 突く.CVB PRF=ASS=PPF  
 「一畝が終わったところで、悪いことにサトウキビの葉っぱで目を突いてしまったんだよ」

- (11) sɿnn~sɿn      anɛii=mai    nnja fuso=o=baa    tabari      nnja  
 LRED~浸みる そんな=INC FIL 草=ACC=TOP2 束ねる.CVB FIL  
 iki          fii-tti  
 行く.CVB くれる-SEQ  
 「ヒリヒリしていたけど、それでも草を束にして、行って馬にやったあとに」
- (12) obaa=nkai obaa hai    buugɿ=nu          paa=ɛii=du      nnja  
 祖母=ALL 祖母 INTR サトウキビ=N/G 葉=INST=FOC FIL  
 mii=ju    tsɿki          sɿnn~sɿn          uu=tii          azzɿ-ba=du  
 目=ACC 突く.CVB LRED~浸みる いる=QUOT 言う-CIRC=FOC  
 「おばあさんに『サトウキビの葉っぱで目を突いてしまって、ヒリヒリしているよ』と言った」
- (13) egee vva=a    mata aganjaa=nu anga=ga    oppai=ju  
 INTR 君=TOP 又    東隣=N/G 先輩=N/G おっばい=ACC  
 zzi-gamata=tii    umui=du  
 注ぐ-FUT=QUOT 思う.CVB=FOC  
 「『あなたは、また東隣の家のお姉さんのおっばいを入れてもらおうと思ってる』
- (14) wadzawadza anɛii    ɛii          uks=sa          ara-n=na=tii  
 態々          そんな する.CVB PROV=TOP COP-NEG=YNQ=QUOT  
 「わざわざそうしたんじゃないの?』」
- (15) ara-n      anɛii=nu      baa=ja    ara-n=tii  
 COP-NEG そんな=N/G 訳=TOP COP-NEG=QUOT  
 「『違う、そういう訳じゃないよ』」
- (16) anɛii    nnja mai=du    miitsu=nu      paɿ-kkaa      obaa=ga  
 そんな FIL 前=FOC 目のゴミ=N/G 入る-COND 祖母=N/G  
 pudzi    nnja nnama=du anga ni-kagetsɿ nnja ffa=a      naɛi  
 はやく FIL 今=FOC 先輩 二-ヶ月    FIL 子=STAT 産む.CVB  
 ni-kagetsɿ=nu ai-ba  
 二-ヶ月=N/G ある-CSL  
 「確かに、前に目にゴミが入った時に、おばあさんが『今お姉さんが子供を産んで二ヶ月だから』

- (17) ui=ga tssɿ-gamo=o zɿiru-ba=du futakina nooɿ=tii ui-ba<sup>40</sup>  
 それ=N/G 乳-DIM=ACC 注ぐ-CIRC=FOC すぐ 治る=QUOT いる-CIRC  
 「彼女のおっぱいを入れてもらおうとすぐ治るんだ』と言ったから」
- (18) maantii nooɿ-taa=dara=jaa  
 本当 治る -PST=ASS=PFP  
 「(そうやって) 本当に治ったよね」
- (19) ira kundu=mai mata nnja iibaa=tii agai tandi  
 AGR 今度=INC 又 FIL よかった=QUOT INTR INTR  
 「今度もやったと思って」
- (20) a ffa=nu nnja oppai fai uu anga=ga  
 INTR 子=N/G FIL おっぱい 食べる.CVB IPF 先輩=N/G  
 oppai=tii=nu mun=aa patsɿ~patsɿ=tii=du maantii ui-ba nnja  
 おっぱ=QUOT=N/G もの=TOP RED~EXP=QUOT=FOC 本当 いる -CSL FIL  
 「授乳中の女の人のおっぱいというのは本当にハリがあるんだよね」
- (21) uj=uu mii+busɿ-kaa imi=mai aa-suga=du  
 それ=ACC 見る+欲しい-VRB 意味=INC ある -CONTR=FOC  
 「だから、それを見たい意味もあったけど」
- (22) ikɿ-kkaa nnja waateaku=du ukɿnaa=nkai piri nnja anga=ga  
 行く -COND FIL 悪戯=FOC 沖縄=ALL 行く.CVB FIL 先輩=N/G  
 ura-n=dara  
 いる -NEG=ASS  
 「行って見たら、残念なことに、沖縄本島に行って、居ないんだよ」
- (23) jaa=nkai keci-tti obaa aganjaa=nu anga=a hai  
 家=ALL 来る -SEQ お祖母 東隣=N/G 女性=TOP INTR  
 ukɿnaa=nkai=du pii-taa=ttsa=tii azzi-ba=du  
 沖縄=ALL=FOC 行く -PST=HS=QUOT 言う -CIRC=FOC  
 「家に帰って、おばあさんに『東隣の家のお姉さんは沖縄に行っているっ  
 て』と言ったら」

<sup>40</sup> 薬がなかった時代に授乳中の女性のちちを目薬の代わりにしていた。子どものころ、その光景を実際に目撃した宮古島の人が多い。

- (24) aga nnja=saika ara nnja ara nnja vva=a  
INTR 大変=RECOGN それでは FIL それでは FIL 君=TOP  
pssara=nu mii+ica=nu jaa=nkai iki kuu=tii ui-ba  
平良=N/G 目+医者=N/G 家=ALL 行く .CVB 来る .IMP=QUOT いる -CIRC  
『あれ、ま、大変だ。じゃ、平良の目医者に行っておいで』と言うから』
- (25) obaa anjaa+munu vva=ga oppai zzi-kkaa  
お祖母 しょうがない+もの 君=N/G おっばい 入れる -COND  
noocii jarj-aa=tii  
どうやって COP-INT=QUOT  
『おばあさん、仕方ないから、おばあさんがおっばいを入れたらどう?』
- (26) azzi-ba=du puri+ffa noo obaa=kara oppai=nu idi-gamata  
言う -CIRC=FOC バカ+子 何 お祖母=ABL おっばい=N/G 出る -FUT  
『おバカさんだね、おばあさんからおっばいが出る訳ないでしょう』
- (27) bjooin=kai iki kuu=tii ui-ba an-tti nnja  
病院=ALL 行く .CVB 来る .IMP=QUOT いる -CIRC CNJ-SEQ FIL  
dzin=nu=baa=tii aꞓ-kkaa obaa=ga bata+futsꞓ+dzin-gama=nu  
お金=ACC=TOP2=QUOT 言う -COND お祖母=N/G 腹+口+お金 -DIM=N/G  
ai-ba  
ある -CSL  
『病院に行っておいで』『それじゃ、お金は?』『おばあさんはヘソクリが』
- (28) ni-doru ai-ba uri ui=ɛii iki kuu=tii ui-ba  
二-ドル ある -CSL それ それ=INST 行く .CVB 来る .IMP=QUOT いる -CIRC  
『二ドルあるから、それで行って来て』
- (29) usꞓki=naa=du kakaꞓ=naa=tii azzi-ba=du  
そんなにたくさん=DIS=FOC かかる=YNQ=QUOT 言う -CIRC=FOC  
『そんなにかかるの?!』
- (30) ara-n nnja mii=ja mii-rai-tti  
COP-NEG FIL 目=STAT 見る -可能 -SEQ  
『そうじゃなくて、目を診てもらったあとに』

- (31) suba=a      fai-tti      kuu=tii      ui-ba  
 蕎麦=STAT 食べる-SEQ 来る-IMP=QUOT いる-CSL  
 「ソバを食べておいでね』と言ったから」
- (32) agai tandi pukaras<sub>1</sub>+munu=dara=jaa nnja  
 INTR INTR 嬉しい+もの=ASS=PFIP FIL  
 「すごく嬉しかった」
- (33) pssara=iki nnja subo=o foo=tii=nu nnja mun=aa  
 平良=LOC2 FIL 蕎麦=ACC 食べる=QUOT=N/G FIL もの=TOP  
 nakanaka njaa-nni-ba  
 中々 ある-NEG-CSL  
 「平良に行って蕎麦を食べるということは中々ないからね」
- (34) an-tti nnja un=nagi=n=na hai nootii=ga hai suba=nu  
 CNJ-SEQ FIL 当時=APPR2=D/L=TOP INTR なぜ=INT INTR 蕎麦=N/G  
 suku naka-gama=n=na kaffi  
 底 中-DIM=D/L=TOP 隠れる.CVB  
 「余談だけど、あの時代には、なんで蕎麦の中に隠れて」
- (35) waa=tu kamabak=aa aa-taa=ga=saiga nnja  
 豚=COM カマボコ=TOP ある-PST=INT=RECOGN FIL  
 「豚肉とカマボコがあったのか？」
- (36) urj=uu sabaki-ba=du  
 それ=ACC 訊く-CIRC=FOC  
 「その訳を聞いたら」
- (37) nnna una=ga bun~bun=nu nnja a<sub>1</sub>+kata eei-ba taa=ga  
 みんな 己=N/G RED~分=N/G FIL 言う+かた する-CSL 誰=N/G  
 munu=nu atarj=uu=gara ss-arun  
 もの=N/G 合う=IPF=CMPLZ 知る-可能-NEG  
 「皆それぞれ別の説明をしているから、誰が正しいのか分からない」

- (38) tti nnja mii+iea=nu jaa=ja eimodzi basɿ+teerjuco=kara  
 SEQ FIL 目+医者=N/G 家=TOP 下地 バス+停留所=ABL  
 nisɿ=nkaei ikɿ jumata=nu ɲ=nagi=n=du nnja aa=tii ui-ba  
 北=DIR 行く 辻=N/G 西=APPR2=D/L=FOC FIL ある=QUOT いる-CSL  
 「眼科の医者の家は、下地バス停留所から北に向かって行く交差点の西あたりにあると言ったので」
- (39) iki-ba=du maantii aa=dara=jaa iki-tti nnja  
 行く-CIRC=FOC 本当 ある=ASS=PFP 行く-SEQ FIL  
 「行って見たら、本当にあったね。入って」
- (40) teirjoo=ja eii keei-tti  
 治療=STAT する.CVB 来る-SEQ  
 「治療してきて」
- (41) dzin=na amarj=uui-ba suba=a fai  
 お金=TOP 余る=IPF-CSL 蕎麦=STAT 食べる.CVB  
 「お金が余ったから、蕎麦を食べて」
- (42) obaa=ga dzin jai-ba fukueindzɿkj=aa kai iki  
 お祖母=N/G お金 COP-CSL 福神漬=STAT 買う.CVB 行く.CVB  
 obaa=n fiiru-ba=du  
 お祖母=D/L くれる-CIRC=FOC  
 「また、おばあさんのお金だから、福神漬を買っておばあさんにあげたら」
- (43) agai tandi vva=a maifuka+ffa-gama=jo=tii  
 INTR INTR 君=TOP ありがたい+子-DIM=SFP=QUOT  
 「『なんてお利口さんなんだろうね』」
- (44) an-tti nooeii jarj-aa=tii ui-ba  
 CNJ-SEQ どうやって COP-INT=QUOT いる-CIRC  
 「それで、どうだった？」
- (45) aneii nnja noorj=uu-neii=mai=du uu=saai  
 そんな FIL 治る=IPF-のよう=INC=FOC IPF=SFP  
 「『治っているようにも感じるよ』」



- (46) an-suga obaa mii+ica=nu jaa=jo=tii uu-suga  
 CNJ-CONTR お祖母 雌+医者=N/G 家= SFP=QUOT いる -CONTR  
 「だけど、おばあさん、ミーイシャ<sup>41</sup>の家と言っていたけど」
- (47) uma=n=na biki+eincii=eika ura-t-ta-n=doo  
 そこ=D/L=TOP 雄+先生=しか いる -NEG-PST-REAL=SFP  
 「そこには男の先生しかいなかったよ』」
- (48) maantii mmatsɿmaa+ffa=tii banu=u zz=uu-tas-suga  
 本当 調子者+子=QUOT 私=ACC 叱る=IPF-PST-CONTR  
 「『本当にお調子者だね』と言って私を叱った」
- (49) uri=kara mata urj=aa nnja ni-san-nen  
 それ=ABL 又 それ=TOP FIL 二-三-年  
 san-nen=bakaaɿ=n=du naɿ-suga  
 三-年=APPR=D/L=FOC 成る -CONTR  
 「それから、3年前の話だけど」
- (50) ira nnja dzuurokunitsɿ=tii s-kkaa mjaak=aa nnja  
 AGR FIL 祖先祭=QUOT する -COND 宮古=TOP FIL  
 seedai=n eii ukɿnaa=kara ndza=kara=mai kst=tara=jaa  
 盛大=D/L する .CVB 沖縄=ABL どこ=ABL=INC 来る=ASS=PPF  
 「旧十六日祭（後生の正月）と言ったら、宮古島では盛大で、沖縄本島から、あちこちからも来るんだよね」
- (51) banta=ga adza=ga nnja ffa=tu mmaga=nu keei-tti=du  
 1PL.EXCL =N/G 兄=N/G FIL 子=COM 孫=N/G 来る -SEQ-FOC  
 「うちのお兄さんの子供と孫が来て」
- (52) nnja pako=o=mai maamatu soot=tsa eii sɿgu nnja  
 FIL 墓=ACC=INC たくさん 掃除=STAT する .CVB すぐ FIL  
 「墓を丁寧に掃除して」

<sup>41</sup> mii+ica に対して「目医者」と「女性の医者」の意味をかけている。

- (53) dzuurokunit=tsa ei-tti      nagatsa nnja ukɿnaa=nkai  
祖先祭=STAT する-SEQ 翌日    FIL 沖縄=ALL  
pira-t=ti=nu                    tukja=n=du    nnja  
行く-VOL=QUOT=N/G 時=D/L=FOC FIL  
「旧十六日祭が終わったその翌日に、沖縄本島に帰る時だった」
- (54) urj=aa      eoogaku san-nensee=nu biki+vva=nu nnja  
それ=TOP 小学    三-年生=N/G 雄+子=N/G FIL  
futai=ja nnja akat=tsa bɿɿ~bɿɿ=tii            kst=tara=jaa    nnja  
額=TOP FIL 血=TOP RED~EXP=QUOT 来る=ASS=PPF FIL  
「小学三年生の男の子がおでこから血をだらだらとたらしめて来るんだよ」
- (55) aganja jooi    hai    noo=ga st-tarj-aa=tii                    azzi-ba=du  
INTR INTR INTR 何=INT する-PST-INT=QUOT 言う-CIRC=FOC  
「『なんてことだ！ どうしたの？』と聞いたら」
- (56) in=n=du      ff-ai-taa=tii=nu                    baa=dara  
犬=D/L=FOC 噛み付く-受身-PST=QUOT=N/G 訳=ASS  
「犬に噛まれたという訳だ」
- (57) mun=aa    waateaku nnja banta=ga            jaa=n=du    in=nu    nnja  
もの=TOP 悪戯      FIL 1PL.EXCL =N/G 家=D/L=FOC 犬=N/G FIL  
mmi-inu      in=tu    upo-onu      in=nu    uu=dara=jaa    futa-kara  
小さい-ADJZ 犬=COM 大きい-ADJZ 犬=N/G いる=ASS=PPF 二-匹  
「偶然にもうちの家には犬が小さいのと大きいのが二匹いるよ」
- (58) kkaa    unu mmaga=nkai ookii    inu=ne teiisai inu=tii    aɿ-kkaa  
COND その孫=ALL      大きい 犬=ね 小さい 犬=QUOT 言う-COND  
teiisai inu=tii    ui-ba  
小さい 犬=QUOT いる-CSL  
「孫に『大きい犬？ 小さい犬』と言ったら、『小さい犬』と言うから」
- (59) too      too=tii            nnja ikɿ-kkaa      nnja in=nu  
終わり 終わり=QUOT FIL 行く-COND FIL 犬=N/G  
jaa=nkai ikɿ-kkaa    nnja in=na    nnja dzuu=ja    furi      nnja  
家=ALL 行く-COND FIL 犬=TOP FIL 尻尾=STAT 振る.CVB FIL  
「『よし、分かった』、犬小屋に行ってみると、犬は尻尾を振って」

- (60) nara=n=du      noo=ju=mai    fii-gamata=tii      umui      nnja sɔ̃gu  
 REFL=D/L=FOC 何=ACC=INC くれる -FUT=QUOT 思う .CVB FIL すぐ  
 dzamp=aa      ɛii      kaɣ~kaɣ      uu=dara  
 ジャンプ=STAT する .CVB RED~INTSF いる=ASS  
 「自分に何かをくれるのではないかと期待して、ジャンプを繰り返している」
- (61) mii-kkaa    jukaara=n sɔ̃koppu=nu    burii=nu      ii=nu    ai-ba  
 見る-COND 横=D/L    スコップ=N/G 折れる .CVB=N/G 柄=N/G ある -CSL  
 「見たら、側にスコップの折れた柄があったので」
- (62) ui=ɛii      sɔ̃gu teibi+bunj=uu tataki-ba=du  
 それ=INST すぐ 尻+骨=ACC 叩く -CIRC=FOC  
 「それでお尻を叩いて」
- (63) anɛii=mai    kɔ̃mu=nu osamara-nni-ba      nna    ikkai tataki-ba=du      nnja  
 そんな=INC 心=N/G おさまる -NEG-CSL もう 一回 叩く -CIRC=FOC FIL  
 「それでも気持ちが収まらないから、もう一回叩くと」
- (64) gaigaigai=tii naki      jaa=nu    naka=nkai pazzi-tti    nnja  
 EXP=QUOT 鳴く .CVB 家=N/G 中=ALL 入る -SEQ FIL  
 「キャンキャンと泣いて犬小屋の中に入った」
- (65) ui=ga      nnja mmaga=nu mai=iki    nnja  
 それ=N/G FIL 孫=N/G 前=LOC2 FIL  
 「孫の前に行って」
- (66) hai    odzii=ga=ne      anata=no    kidzɔ̃=jori motto  
 INTR おじい=N/G=ね あなた=の 傷=より もっと  
 itai=hodo    kono inu=wa tataite      ki-ta=tii      azzɔ̃-ba=du  
 痛い=ほど この 犬=は 叩く .CVB 来る -PST=QUOT 言う -CIRC=FOC  
 「『おじいがね、あなたの傷よりもっと痛くこの犬を叩いてきた』と言ったら」

- (67) unu nnja mmaga=nu noo tii=ga a<sub>1</sub>-taa=tii umui  
 その FIL 孫=N/G 何 QUOT=INT 言う -PST=QUOT 思う .CVB  
 uu nnja  
 IPF FIL  
 「孫が何を言うかと思ったら」
- (68) odzii dzibun-tatei=no inu dza-nai=jo  
 おじい 自分-PL=の 犬 だ-NEG=SFP  
 『おじい、自分たちの犬じゃないよ』
- (69) duu=ga in=kai nnja mai nnja unus<sub>1</sub>ku mingi kairaei-tti  
 REFL=N/G 犬=ALL FIL 前 FIL それまでに 殴る .CVB INTSF-SEQ  
 noo=tii=ga ajamara-tte-aa nnja  
 何=QUOT=INT 謝る -VOL-INT FIL  
 「自分の犬をこんなに袋叩きにしたあとに、どうやって謝れるか？」
- (70) un=kara nnja banta=ga in=na banu=u mii-kkaa  
 当時=ABL FIL 1PL.EXCL =N/G 犬=TOP 私=ACC 見る -COND  
 dzuu=ju=baa sagi-tti  
 尻尾=ACC=TOP2 下げる -SEQ  
 「それから、うちの犬は私を見ると、尻尾を下げて」
- (71) its<sub>1</sub> nan+doki pingi taiee=ju eij=uu=dara  
 いつ 何+時 逃げる 体勢=ACC する=IPF=ASS  
 「いつなんどきも逃げる態勢を取っているんだ」
- (72) ubai~ga~ubai duumuu=tii=nu mun=aa  
 RED~LIN(ga)~関心に 悩める 思い込み=QUOT=N/G もの=TOP  
 daidz<sub>1</sub>-na kutu=doo nnja  
 大変-ATTR 事=SFP FIL  
 「思い込みというのは大変だよ」
- (73) nna=mai teuui eii ik<sub>1</sub>-joon eii ika=jaa  
 みんな=INC 注意 する .CVB 行く -ように する .CVB 行く .HORT=PFP  
 「皆も注意していくようにしようね」

- (74) hai ba=ga panas=sa usɪki tandi~gaa~tandi  
INTR 私=N/G 話=TOP そんなにたくさん RED~LIN(ga) ~ありがとう  
「私の話はこれだけだ、ありがとうございました」

## 6 皆愛方言の語彙集

本語彙集は2014年4月より2018年4月まで収集した語彙を収めた。仮名の表記は『伊良部方言辞典』(富浜 2013)の表記によるところが多い。特に、日本語と同じ音をひらがな、日本語にない音をカタカナという表記原理を採用している。動詞ごとに、その活用クラスを示し、「接続形」と「否定形」の活用形も掲載した。活用が不規則的な動詞の場合は命令形を加えたこともある。また、できるかぎり連濁形を掲載することに努めたが、未確認な語彙が残っている。

表 21 品詞略号と項目数 (項目掲載優先順番)

品詞	略	項目数	品詞	略	項目数
接頭辞	接頭	11	副詞	副	108
接尾辞	接尾	6	擬態語・擬音語	擬	47
助数詞	助数	9	感動詞	感	32
数詞	数	10	接続詞	接続	6
文法的要素	文	98	連語	連語	47
終助詞	終	10	慣用句	慣	8
名詞	名	1471	連体詞	連体	3
形容詞	形	224		合計	2893
動詞	動	803			

表 22 仮名表記一覧

	あ段	い段	イ段	う段	お一段	単独
あ行	あ [a]	い [i]	イ [ɪ]	う [u]	おー [o:]	
か行	か [ka]	き [ki]	キ [kɪ]	く [ku]	こー [ko:]	
が行	が [ga]	ぎ [gi]	ギ [gɪ]	ぐ [gu]	ごー [go:]	
さ行	さ [sa]	し [ei]	す [sɪ]	すう [su]	そー [so:]	
ざ行	ざ [dza]	じ [dzi]	ず [dzɪ]	ずう [dzu]	ぞー [dzo:]	
ズあ行	ズあ [za]	ジ [zi]		ズう [zu]	ズおー [zo:]	
しゃ行	しゃ [ea]	し [ei]	す [sɪ]	しゅ [eu]	しょー [eo:]	
じゃ行	じゃ [dza]	じ [dzi]	ず [dzɪ]	じゅ [dzu]	じょー [dzo:]	
た行	た [ta]	てい [ti]	つ [tsɪ]	とう [tu]	とー [to:]	
だ行	だ [da]	でい [di]	ず [dzɪ]	どう [du]	どー [do:]	
ちゃ行	ちゃ [tea]	ち [tei]	つ [tsɪ]	ちゅ [teu]	ちょー [teo:]	
な行	な [na]	に [ni]		ぬ [nu]	のー [no:]	ん [n]
ぱ行	ぱ [pa]	ぴ [pi]	ピ [pɪ]	ぷ [pu]	ぽー [po:]	
ば行	ば [ba]	び [bi]	ビ [bɪ]	ぶ [bu]	ぼー [bo:]	
ふあ行	ふあ [fa]	ふい [fi]		ふ [fu]	ふおー [fo:]	
ま行	ま [ma]	み [mi]	ミ [mɪ]	む [mu]	もー [mo:]	ン [m]
や行	や [ja]			ゆ [yu]	よー [jo:]	
ら行	ら [ra]	り [ri]		る [ru]	ろー [ro:]	
ヴあ行	わ [va]	ヴい [vi]		ヴう [vu]	ヴおー [vo:]	ヴ [v]

## —あ—

- あ [a]【文】～は。主題・非焦点の助詞。例文：うりゃー のーが？（これは何ですか？）。ゆぬっさ しんしーどー（ユヌスは先生ですよ）。
- あ [a]【文】～しよう。勧誘接辞。クラス 1 動詞の語根に付く。例文：いか（行こう）。ゆかー（休もう）。
- あ [a]【文】主に従属節に出現し、他動詞の目的語や一部の自動詞の主語をマークする。例文：ぱっヴあ みーどう ぴんぎたー（蛇を見て逃げた）。あみゃーっふいどう ぱりゃー すとうりゅー（雨が降って畑が湿っている）。
- あー [aa]【文】～ので。確定条件を表す。例文：ぴしかりゃー 暖房ゆ つきる（寒いので、暖房をつけなさい）。
- あー [aa]【文】～か。（疑問詞疑問文において）疑問を表す。例文：んざんが うりゃー（どこにいるの？）。
- あー [aa]【名】粟。
- あー [aa]【動変型：あり、にゃーん】ある。存在する。
- あーい [aai]【感】いいえ。
- あーぐ [aagu]【名】歌。歌謡。例文：あーぐーどう あイ°（歌を歌う）。
- あーさ [aasa]【名】海藻の一種、石蓴（あおさ）。
- あーす [aasɿ]【動 1：あーし、あーさん】喧嘩させる、戦わせる。
- あーまい [aamai]【文】～しても。例文：いすき まちゃーまい くーん（いくら待っても来ない）。いきゃーまい じょーぶん？（行ってもいい？）。
- あい [ai]【動 2：あい、あいゆん】和える。
- あい [aɿ]【動 1：あっジ、あっズあん】言う。
- あいかす [aɿkasɿ]【動 1：あいかし、あいかさん】① 歩かせる。②（車などを）動かせる、進める。
- あいき [aɿkɿ]【動 1：あいき、あいかん】① 歩く。②（車などが）動く、進む。
- あいじゃ [aidza]【感】濡れた時に用いる。
- あいずうー [aidzuu]【名】野菜の和え物。
- あいぼーき [aɿpookɿ]【動 1：あいぼーき、あいぼーかん】（言葉で）ひどく叱る。
- あヴ [av]【動 1：あっヴい、あっヴあん】炙る。
- あヴがあヴ [avgaav]【擬】大きいな声。
- あか [aka]【接頭】語頭に付き、その意味を強調する。
- あか [aka]【形】赤い、赤色の。
- あが [aga]【感】痛っ、痛みを感じたときに発する。
- あがい [agai]【感】抑揚により様々な感情（いらつき、驚きなど）を表す。
- あかい [akaɿ]【名】明り、照明。
- あかい [akaɿ]【動 1：あかり、あからん】① 晴れる。② ともる。
- あがい [agaɿ]【名】東。
- あがい [agaɿ]【動 1：あがり、あがらん】① 上がる。② 緊張する。
- あかいーばー [akaiibaa]【副】とてもよかった。
- あがいつんまー [agaɿtsɿmmaa]【名】高千穂の集落名。
- あかうぷに [akaupuni]【名】人蔘。
- あかさ [akasa]【名】私生児、妾との間にできた子ども。
- あかす [akasɿ]【動 1：あかし、あかさん】① 灯す、明るくする。② 明らかにする、打ち明ける。

- あかずうー [akadzuu] 【名】 魚の一種。  
あがた [agata] 【名】 遠い、遠方の。  
あがたまーい [agatamaaɪ] 【名】 遠回り、迂回。  
あかつ [akatsɪ] 【名】 血。  
あかつヴあ [akavva] 【名】 赤ちゃん。  
あかつく [akatsɪku] 【名】 黄身。  
あかつづあ みゅーん [akazza mjuun] 【慣】 「明りは見ない」。世間知らず。世の中を知らないことの譬え。  
あかつぬんつ [akatsɪnumtsɪ] 【名】 血管。  
あかな [akana] 【名】 魚の一種。  
あかな [akana] 【名】 紫蘇（しそ）。  
あがにや [aganja] 【感】 あれ、驚いたときなどに用いる。  
あがにやー [aganjaa] 【名】 東隣の家。  
あかべーる [akabeeru] 【感】 そんなわけない。そんなの。ありえない。相手が述べたことを信じないときに用いる。  
あかまゐ [akamaɪ] 【名】 赤飯。  
あがみ [agami] 【動 2：あがみ、あがむん】 尊敬する。  
あかみーだか [akamiidaka] 【名】 目の赤いサシバ。  
あかみーちゃぎ [akamiiteagi] 【形】 とても見苦しい。  
あかむいとう [akamuɪtu] 【副】 (否定文において) ちっとも。  
あかゆーすた [akajuusɪta] 【連語】 ざまみろ。  
あからす [akarasɪ] 【動 1：あからし、あからさん】 灯す、明りを付ける。  
あかん [akam] 【動 1：あかみ、あかまん】 赤くなる、赤らむ。  
あかんぞーな [akamdzoona] 【形】 とても可哀そう。  
あかんびやーり [akambjaari] 【動 2：あかんびやーり、あかんびやーるん】 赤らむ。  
あき [aki] 【動 2：あき、あくん】 開ける。  
あき [akɪ] 【動 1：あき、あかん】 開く。  
あぎ [agi] 【動 2：あぎ、あぐん】 (油で) 揚げる。  
あぎ [agi] 【動 2：あぎ、あぐん】 上げる。  
あぎどーふ [agidoofu] 【名】 揚げ豆腐。  
あきない [akɪnai] 【名】 商い、商売。  
あきやーだ [akjaada] 【名】 仲買人。  
あぐ [agu] 【名】 同級生。  
あぐ [agu] 【名】 顎（あご）。  
あぐずき [agudzɪki] 【名】 入れ歯。  
あくずん [akudzɪm] 【形】 残虐。  
あこーぎー [akoogii] 【名】 アコウの木。  
あこーん [akoon] 【名】 雲丹の一種。  
あこーんがらず [akoongaradzɪ] 【名】 雲丹のような髪。  
あさ [asa] 【形】 浅い。  
あざ [adza] 【名】 ① 兄。② (男性の) 年上、先輩。  
あざ [adza] 【名】 黒子（ほくろ）。  
あさってい [asatti] 【名】 明後日。  
あさまら [asamara] 【名】 朝立ち。



- あさむぬ [asamunu] 【名】朝食。  
あざんキ [adzaŋki] 【動1: あざんき、あざんかん】宥める。  
あさんま [asamma] 【名】親、両親、父母。  
あし [aei] 【名】昼食。  
あし [aci] 【名】汗。  
あし [aei] 【感】そう。  
あじばー [adzibaa] 【名】八重歯。  
あしん [aeim] 【名】汗疹(あせも)。  
あす [asɿ] 【文1: あし、あさん】～させる。動詞に付き使役形を形成する。例文:  
ぶどうらす(躍らせる)。ふあーす(食べさせる)。かばす(嗅がせる)。  
あす [asɿ] 【動変型: あしー、あそうーん】する、やる。  
あず [adzɿ] 【名】味。  
あず [adzɿ] 【形】味がある。  
あずき [adzɿki] 【動2: あずき、あずくん】① 預ける。② (動物に) 餌をやる。  
あすたむぶらがにしゅー [asɿtamburaganicuu] 【連語】しまった、失敗した。  
あすのーす [asɿnoosɿ] 【動1: あすのーし、あすのーさん】成功する。  
あすぴやー [asɿpjaa] 【名】早足。  
あずま [adzɿma] 【形】甘い。  
あたイ [ataɿ] 【動1: あたり、あたらん】① 当たる。② 合っている、正しい。  
あだっつあ あがらん [adattsa agaran] 【慣】使用不能。  
あだなす [adanasɿ] 【名】アダンの気根。  
あたばかーイ [atabakaaɿ] 【副】急に、突然。  
あたらか [ataraka] 【副】もったいない。  
あたらす [atarasɿ] 【形】大事。  
あだん [adan] 【名】阿檀(あだん)。  
あだんば [adamba] 【名】アダンの木の葉っぱ。  
あだんぶら [adambura] 【名】アダンの木の枯れた、使いものにならない木材。  
あつ [atsɿ] 【形】暑い、熱い。  
あつあ [atsa] 【名】明日。  
あっヴあ [avva] 【名】① 油。② 脂。③ 燃料。  
あっヴあ [avva] 【形】あぶらっこい。  
あっヴあふあや [avvafaja] 【名】燃費が悪いこと、または燃費の悪い物。  
あっヴあふつ [avvafutsɿ] 【名】言葉が滑らかで味がある。  
あっヴあわー [avvavaa] 【名】脂の多い豚。  
あっヴあんつう [avvamtsu] 【名】油味噌。  
あつこーこー [atsɿkookoo] 【副】(食べ物について)(湯気が立つ程度に)熱い。  
あつさ [atsɿsa] 【名】暑さ。  
あっしゃヴ [aɕɕav] 【動1: あっしゃっヴい、あっしゃっヴあん】しくじる、失敗する。  
あっズあす [azzasɿ] 【動1: あっズあし、あっズあさん】言わせる。  
あつつ [attsɿ] 【動1: あっち、あつつあん】あたたまる、熱くなる。  
あつつあ [attsa] 【名】端、わき、際。  
あつつあ [attsa] 【名】下駄。  
あつつあす [attsasɿ] 【動1: あつつあし、あつつあさん】あたためる。  
あっぱす [appasɿ] 【動1: あっぱし、あっぱさん】遊ばせる。

- あっぴ [appɿ] 【動 1: あっぴ、あっぱん】遊ぶ。
- あつぷんぷん [atsɿpunpun] 【副】(体が) 熱い。
- あつまイ [atsɿmaɿ] 【動 1: あつまり、あつまらん】集まる。
- あつみ [atsɿmi] 【動 2: あつみ、あつむん】集める。
- あつん [atsɿm] 【文】～さえ(も)、～でも。
- あてい [ati] 【動 2: あてい、あとうん】① 当てる。② 言い当てる、予測する。
- あてい [ati] 【副】あまりにも、非常に、とても。
- あてやーだ [atjaada] 【副】あまり(～しない)。
- あとう [atu] 【名】① 後。② 跡。
- あどう [adu] 【名】踵(かかと)。
- あとうどうみ [atudumi] 【名】後添いの妻や夫。
- あな [ana] 【名】穴。
- あなみ [anami] 【動 2: あなみ、あなむん】要求する、請求する。
- あに [ani] 【名】(複合語で) 最年長の。
- あにぎな [anigina] 【副】そのまま。
- あにびきつヴあ [anibikivva] 【名】(他人から見た) 長男。
- あにみどうんつヴあ [animidumvva] 【名】(他人から見た) 長女。
- あにやーむぬ [anjaamunu] 【副】仕方なく、しょうがなく。
- あば [aba] 【感】あれ。驚いたときに使う。
- あば [apa] 【形】味が薄い。
- あはー [ahaa] 【感】なるほど、わかった。
- あばさ [abasa] 【名】① ハリセンボン。② 絶えず余計なものをしゃべる人、口達者。
- あばさごーら [abasagoora] 【名】ニガウリ的一种。
- あばなかす [apanakasɿ] 【動 1: あばなかし、あばなかさん】上向きにする、仰向けにする。
- あばなキ [apanakɿ] 【動 1: あばなき、あばなかん】上を向く、仰向く。
- あばらぎ [aparagi] 【形】美しい、きれい。
- あばらぎむぬ [aparagimunu] 【名】美人。
- あばらす [aparasɿ] 【動 1: あばらし、あばらさん】言いふらす。
- あばり [abari] 【動 2: あばり、あばるん】① 暴れる。例文: あばりぬーま(暴れる馬)。② 荒れる、荒れはてる。例文: あばりやー(荒れ果てた家)。
- あばり [apari] 【動 2: あばり、あばるん】味がうすくなる。味がなくなる。
- あばりやー [abarijaa] 【名】荒れ果てた家。
- あビー [abɿɿ] 【動 1: あびり、あびらん】呼ぶ、誘う、招待する。
- あびキ [abikɿ] 【動 1: あびき、あびかん】息切れする。
- あひやーわー [ahjaavaa] 【名】子供を産めなくなった繁殖用の雌の豚。
- あふ [afu] 【名】ケーキの一種。
- あぶ [abu] 【名】洞窟。
- あふあふ [afuafu] 【擬】フニャフニャ。
- あふキ [afukɿ] 【名】欠伸。
- あぶく [abuku] 【名】泡。
- あふた [afuta] 【名】(サトウキビなどの) 枯れた、乾燥した葉っぱ。
- あふり [afuri] 【動 2: あふり、あふるん】溢れる。
- あま [ama] 【形】① 味が薄い、塩気がない。② 疎ら、密でない。

- あまーす [amaasɿ] 【動 1：あまーし、あまーさん】笑わせる。
- あまい [amai] 【動 2：あまい、あまいゆん】ほほえむ、笑う。
- あまい [amaɿ] 【文 1：あまい、あまん、あまち】お...になる、尊敬語の派生接尾辞。クラス 1 動詞の語根に付く。例文：かかまい（お書きになる）。
- あまい [amaɿ] 【動 1：あまり、あまらん】余る。過ぎる。例文：ぱつじゅーあまりどー（八十歳を越えている）。
- あまいのー [amainoo] 【名】竜巻。
- あますんず [amasɿndzɿ] 【名】鶏の油汁。
- あまみず [amamidzɿ] 【名】塩気のない水。
- あまん [amam] 【名】ヤドカリ。
- あまんっちや [amamttea] 【名】貝の一種。
- あまんぶに [amambuni] 【名】踝骨、距骨（くるぶし）。
- あみ [ami] 【名】雨。
- あみ [ami] 【名】飴。
- あみ [ami] 【動 2：あみ、あむん】浴びる。
- あみかじ [amikadzi] 【名】風雨。
- あみがたか [amigataka] 【名】雨除け。
- あみし [amiei] 【動 2：あみし、あみそうん】浴びせる。
- あみばた [amibata] 【名】雨が降りそうだ、雨がやがて降る。
- あや [aja] 【名】綾、模様。
- あやピだりや [ajapɿdarja] 【名】両手利き。
- あよー かい [ajoo kaɿ] 【連語】綾を借りる、肖る。
- あら [ara] 【形】新しい。
- あら [ara] 【形】荒い、粗い。
- あら [ara] 【副】それでは、じゃ。
- あらー [araa] 【名】外。
- あらがた [aragata] 【名】飛蝗の一種。
- あらがん [aragan] 【名】蟹の一種。
- あらす [arasɿ] 【動 1：あらし、あらさん】誘き寄せる、誘惑する。
- あらす [arasɿ] 【動 1：あらし、あらさん】荒らす。
- あららがま [araragama] 【名】なにくそ、宮古島の独特の精神。
- あらん [aran] 【副】いいえ、いや、ちがう。
- あり [ari] 【動 2：あり、あるん】荒れる。
- ありゃー みゅーん [arjaa mjuun] 【慣】「あったことのない」。前代未聞、とんでもない、非常に。例文：ありゃー みゅーん うやきむぬ（とんでもないお金持ち）。
- あろー [aroo] 【動 1：あらい、あらーん】洗う。
- あわたす [avatasɿ] 【動 1：あわたし、あわたさん】急がせる、せかす。
- あわてい [avati] 【動 2：あわてい、あわとうん】急ぐ、慌てる。
- あん [am] 【名】網。
- あん [am] 【動 1：あみ、あまん】編む。
- あんが [aŋga] 【名】① 姉、お姉さん。② 年上の女性、（女性の）先輩。
- あんしー [ancii] 【副】そのように、さよう。
- あんしってい [ancitti] 【接続】そして、そうして。
- あんしば [anciba] 【接続】だから。

あんすうが [ansuga] 【接続】しかし。  
 あんすっかー [ansɯkkaa] 【接続】そうすると、そうしたら。  
 あんだき [andaki] 【副】それほど。  
 あんでいら [amdira] 【名】編み籠。  
 あんな [anna] 【名】母。  
 あんなうや [annauja] 【名】両親。  
 あんなずみ [annadzɯmi] 【名】母が（下手に）散髪すること、その髪型。  
 あんみゅー [ammjuu] 【名】（凧の）糸。

## —い—

い [i] 【接頭】程度を表す名詞に付き、程度の疑問詞（「どのぐらい高い」等）を作る。例文：いふぎ（どのぐらい大きい）。いだき（どのぐらい高い）。  
 い [i] 【文】～して、～したまま、～した状態で。例文：くるまー むちどう まーりゅー（車で移動している）。ぱギズあ ンびどう ビジゅー（足が伸びて座っている）。  
 い [i] 【文】～ろ、～なさい。命令形。クラス 1 動詞の語根に付く。日本語の～ろほど口調は強くない。例文：ふあい（食べなさい）。かき（書きなさい）。  
 いー [ii] 【終】～かね。例文：じょーぶんべーいー（大丈夫なのかな）。  
 いー [ii] 【名】鱒（えい）。  
 いー [ii] 【名】柄。  
 いー [ii] 【感】そうなのか。そうだったのか。例文：いー、あんしーやたーぬが？（えー、そうだったのか？）。  
 イー [ɪ] 【名】西。  
 イー [ɪ] 【動 1：っジ、っズあん】叱る。  
 イーあがっズあ っさん [ɪagazza ssan] 【慣】「東西は知らない」。イロハも知らない。  
 いーかーぎ [iikaagi] 【名】きれいであること。いい容貌。  
 いーかきや [iikakja] 【名】画家。  
 イーキ [ɪkɪ] 【名】鱗。  
 イーキ [ɪkɪ] 【動 1：イーき、イーかん】炒める。  
 イーさ [ɪsa] 【名】唾（おし）。  
 イーつんまー [ɪtsɯmmaa] 【名】高千穂の集落名。  
 イーでいん [ɪdin] 【名】西の空。  
 イーにやー [ɪnjaa] 【名】西隣の家。  
 いーばー [iibaa] 【副】良かった。文頭に置いて、…してよかった。例文：いーばーどう きしゅーかん（来なくてよかった）。  
 イービ [ɪbɪ] 【名】雲丹の棘による皮膚の傷の一種。  
 イーむく [ɪmuku] 【名】入り婿。  
 イーン [ɪm] 【形】使い度がある。  
 いき [iki] 【文】～に行つてそこで。  
 いき [ikɪ] 【動 1：いき、いかん】行く。  
 イキ [ɪkɪ] 【名】息、呼吸。  
 いきぐん [ikɪgum] 【名】窒息。  
 いきだす [ikɪdasɯ] 【動 1：いきだし、いきださん】生かせる。

- いきでい [ikɯdi] 【動 2 : いきでい、いきどうん】 生きる。  
 いきむす [ikɯmusɯ] 【名】 生き物、動物、獣。  
 いきや [ikja] 【名】 イカ。  
 いきやヴし [ikjavei] 【動 2 : いきやヴし、いきやヴそうん】 水をかける。  
 いきやがら [ikjagara] 【形】 変。  
 いきやら [ikjara] 【形】 少ない。  
 いぎゃん [igjan] 【名】 関心。  
 いきよー [ikjoo] 【動 1 : いきやい、いきやーん】 届く。  
 いざい [idzaɯ] 【名】 夜松明などを以って魚を獲ること。  
 いさく [isaku] 【名】 咳。  
 いしや [iea] 【名】 医者。  
 いす [isɯ] 【名】 石。  
 いず [idzɯ] 【名】 元気。  
 いすうがす [isugasɯ] 【形】 忙しい。  
 いすうがす [isugasɯ] 【動 1 : いそがし、いそがさん】 急がせる。  
 いすうぎ [isugɯ] 【動 1 : いそぎ、いそがん】 急ぐ。  
 いすかき [isɯkakɯ] 【名】 石垣。  
 いすき [isɯki] 【名】 幾ら。どのぐらい。例文：めんせきやー いすきが ありやー？（面積はどのぐらいあるの？）。  
 いすざやふ [isɯdzajafu] 【名】 石大工。  
 いずしゃ [idzɯea] 【名】 テキパキ。  
 いずじゅー [idzɯdzuu] 【形】 勇気のある。  
 いすつん [isɯtsɯm] 【名】 石積み、石垣。  
 いすとうき [isɯtukɯ] 【形】 幸運をもたらす。  
 いすばぎ [isɯpagi] 【名】 漁に不吉であること。  
 いすます [isɯmasɯ] 【名】 (畑などをめぐらす) 石の壁。  
 いだか [idaka] 【名】 どのぐらい高い。  
 いだす [idasɯ] 【動 1 : いだし、いださん】 出す。  
 いたてい [itati] 【動 2 : いたてい、いたとうん】 こぼす。  
 いつ [itsɯ] 【数】 五。  
 いつ [itsɯ] 【名】 いつ。  
 いつーまい [itsɯmai] 【連語】 いつも、常に。  
 いつあ [itsa] 【名】 板。  
 いっヴあす [ivvasɯ] 【動 1 : いっヴあし、いっヴあさん】 怖がらせる。  
 いっヴい [ivvi] 【動 2 : いっヴい、いっヴうん】 怖がる、恐れる。  
 いつうふ [itsufu] 【名】 いとこ。  
 いつつ [itsɯtsɯ] 【名】 五つ。  
 いっつあいでい [ittsaidi] 【副】 一生懸命。  
 いつぬピとう [itsɯnupɯtu] 【名】 五人、五名。  
 いつばん [itsɯban] 【名】 一番、第一。  
 いつばんざー [itsɯbandzaa] 【名】 一番座。  
 いでい [idi] 【動 2 : いでい、いどうん】 出る。  
 いでいばー [idibaa] 【名】 出っ歯。  
 いでいふつ [idifutsɯ] 【名】 出口。  
 いでやーす [idjaasɯ] 【動 1 : いでやーし、いでやーさん】 会わせる。

- いでよー [idjoo] 【動 1 : いでやい、いでやーん】 会う、出会う。
- いなが [inaga] 【名】 どのぐらい長い。
- いのー [inoo] 【名】 内海。
- いばイ [ibaɪ] 【動 1 : いばり、いばらん】 威張る。
- いび [ibi] 【動 2 : いび、いぶん】 植える。
- イビ [ɪbɪ] 【名】 伊勢海老。
- いひーがあはー [ihiigaahaa] 【擬】 笑う様。
- イビがん [ɪbɪgan] 【名】 伊勢海老。
- いびぐー [ibiguu] 【名】 植え替え。
- いふ [ifu] 【接頭】 幾。助数詞と結合し、数量を問う疑問詞を作る。例文：いふん（何回）。いふから（何匹）。
- いふか [ifuka] 【名】 何日（間）。例文：みゃーくんな いふかが うーがまた やりゃー？（宮古島には何日間いる予定なの？）。
- いぶぎ [ipugi] 【名】 どのぐらい大きい。
- いふさ [ifusa] 【名】 争い、戦争。
- いふたーイ [ifutaaɪ] 【名】 何人（なんにん）、何名。
- いふつ [ifutsɪ] 【名】 幾つ。何個。何歳。例文：しゅー、いふつが やらまいやー？（おじいさん、おいくつでしようか？）。
- いふてい [ifuti] 【名】 何年（間）。
- いふん [ifun] 【名】 何度、何回。
- いま [ima] 【接頭】（魚や鳥）獲ってすぐの。
- いまっずう [imazzu] 【名】 新鮮な魚。獲ってすぐの魚。
- いみ [imi] 【名】 夢。
- いみ [imi] 【形】 小さい。
- いみさみー [imisamii] 【連語】 見くびる、軽蔑する、バカにする。
- いみしょーがつ [imicoogatsɪ] 【名】 少正月、冬至の日。
- いみす [imisɪ] 【名】 お箸。
- いら [ira] 【終】 ~ね。
- いら [ira] 【名】 鰓（えら）。
- いら [ira] 【名】 クラゲ。
- いらい [irai] 【形】 偉い。
- いらヴ [irav] 【名】 伊良部島。
- いらばす [irabasɪ] 【動 1 : いらばし、いらばさん】 選ばせる。
- いらビ [irabɪ] 【動 1 : いらび、いらばん】 選ぶ。
- いらふつ [irafutsɪ] 【名】 魚の一種、ベラ。
- いりゆー [irijuu] 【名】 必要な物。
- いる [iru] 【名】 色。
- いん [in] 【名】 犬。
- いん [in] 【名】 戌（いぬ）。
- いん [im] 【名】 海。
- いんーぎー [immgii] 【名】 ぐんばいひるがお。
- いんがなす [inɣanasɪ] 【形】 可愛い。
- いんがまぼーぼー [inɣamabooboo] 【名】 虫の一種。
- いんざにつ [imdzanitsɪ] 【名】 海神祭。
- いんしゃー [imeaa] 【名】 漁師。

いんずうー [indzuu] 【名】 犬汁。  
 いんずま [imdʒɪma] 【名】 海辺の村、漁村。  
 いんなイ [imnaɪ] 【名】 海鳴り。  
 いんぬまらさとう [innumarasatu] 【名】 洲鎌にある集落名。  
 いんばた [imbata] 【名】 海辺。  
 いんぼー [imboo] 【名】 漁師。  
 いんまらだに [immaradani] 【名】 (腿の付け根にある) リンパ腺。

—う—

う [u] 【文】 ～しよう。勧誘を表す接辞。クラス 2 動詞の語根に付く。例文：い  
 どう (出よう)。ぴんぞー んちゃむ (ヤギを捕まえよう)。  
 う [u] 【文】 ～を。例文：うりゅーばー のーていーが あイ° が？ (これは何  
 ていうの?)。くるもーどう こーたー (車を買った)。  
 うー [uu] 【動 1：うい、わーん】 追う。  
 うー [uu] 【動 1：うり、うらん】 ① いる。例文：んざんが うりゃー？ (どこ  
 にいるの?)。② 動詞の中止形に続き、進行形・結果状態を表す。例文：ぶどう  
 りどうー (踊っている)。  
 ヴー [vv] 【名】 卵 (う)。  
 ヴー [vv] 【動 1：っヴい、っヴあん】 売る、売却する。  
 うーかた [uukata] 【形】 ざつ、大ざっぱ。  
 うーギ [uugɪ] 【動 1：うーぎ、うーがん】 泳ぐ。  
 うーす [uusɪ] 【動 1：うーし、うーさん】 負わず、運ぶ。  
 うい [ui] 【名】 それ。  
 うい [ui] 【名】 上。  
 うい [ui] 【動 2：うい、ういゆん】 ① 生える。② 勃起する。  
 うイ [uɪ] 【名】 瓜、ウリ科に属するもの。  
 ういがなす [uiganasɪ] 【名】 身分・地位の高い人を敬って言う。  
 うイがま [uɪgama] 【名】 キュウリ。  
 ういさ [uisa] 【名】 噂。  
 ういず [uidzɪ] 【名】 上地集落。  
 ういた [uita] 【名】 それら。  
 うイたっヴあす [uɪtavvasɪ] 【動 1：うイたっヴあし、うイたっヴあさん】 (激怒し  
 ながら) 追う。  
 ういのーイ [uinooɪ] 【動 1：ういのーり、ういのーらん】 (作物が) 良く出来る。  
 ういび [uibi] 【名】 指。  
 ういびがに [uibigani] 【名】 指輪。  
 ういびさんみん [uibisammin] 【名】 指で計算すること。  
 ういピとう [uipɪtu] 【名】 年寄り、老人。  
 ういふさす [uifusasɪ] 【動 1：ういふさし、ういふささん】 追い出す。  
 ういやヴ [uijav] 【動 1：ういやっヴい、ういやっヴあん】 生え損なう。  
 うか [uka] 【名】 借金。  
 うかーす [ukaasɪ] 【形】 ① 危険、危ない。② 関心に値する、すごい。  
 うかがイ [ukagaɪ] 【動 1：うかがり、うかがらん】 浮く、浮かぶ。  
 うかぎ [ukagi] 【名】 おかげ。

- うかま [ukama] 【名】 釜。
- うかまがン [ukamagam] 【名】 火の神。
- うがン [ugam] 【名】 大神、宮古の離島の一つ。
- うがン [ugam] 【動 1：うがみ、うがまん】 拝む、礼拝する。
- うき [uki] 【動 2：うき、うくん】 起きる。
- うき [uki] 【動 2：うき、うくん】 受ける。
- うキ [ukɨ] 【動 1：うき、うかん】 ① 動詞の中止形に続き「～しておく」。例文：びーるー ピぐらしゅーき（ビールを冷やしておく）。② 動詞の中止形に続き、間接的な証拠を表す。例文：あみぬどう ふりゅーキ（[地面が濡れているのを見て] 雨が降ったのだろう）。③ 動詞の中止形に続き、反事実的なことがらを表す。
- うキなー [ukɨnaa] 【名】 沖縄、沖縄本島。
- うくい [ukuɨ] 【動 1：うくり、うくらん】 送る。
- うぐかす [ugukasɨ] 【動 1：うぐかし、うぐかさん】 動かす。
- うぐキ [ugukɨ] 【動 1：うぐき、うぐかん】 動く。
- うくし [ukuei] 【名】 紙凧の糸目。凧の釣り合いを調製するため表面に付ける数本の糸。
- うくす [ukusɨ] 【動 1：うくし、うくさん】 起こす。
- うぐなーイ [ugunaaɨ] 【動 1：うぐなーり、うぐなーらん】 集まる。
- うぐなーイざー [ugunaaɨdzaa] 【名】 集会場。
- うぐない [ugunai] 【動 2：うぐない、うぐないゆん】 集める。
- うくらす [ukurasɨ] 【動 1：うくらし、うくらさん】 送らせる。
- うくり [ukuri] 【動 2：うくり、うくるん】 遅れる。
- うぐり [uguri] 【動 2：うぐり、うぐるん】 怒る。
- うさい [usai] 【名】 肴、お酒のつまみ。
- うさい [usai] 【動 2：うさい、うさいゆん】 いじめる。
- うざがま [udzagama] 【名】 鶉（うずら）。
- うさぎ [usagi] 【動 2：うさぎ、うさぐん】 捧げる、供える、献上する、差し上げる。
- うさまイ [usamaɨ] 【動 1：うさまり、うさまらん】 納まる。
- うさみ [usami] 【動 2：うさみ、うさむん】 納める、納税する。
- うす [usɨ] 【名】 牛。
- うす [usɨ] 【名】 臼。
- うす [usɨ] 【名】 丑（うし）。
- うす [usɨ] 【形】 薄い。
- うす [usɨ] 【動 1：うし、うさん】 押す。
- うず [udzɨ] 【名】 ウツボ。
- うすうー [usuu] 【動 1：うそうい、うさーん】 覆う。
- うすうン [usum] 【動 1：うそうみ、うそうまん】 下を向く、俯く。
- うずうン [udzum] 【動 1：うぞうみ、うぞうまん】 夜中に目が覚める。
- うすか [usɨka] 【副】 そのぐらい。例文：うすかしー じょーぶん（これで結構）。
- うすき [usɨki] 【副】 そのぐらい。例文：うすきしー じょーぶん（これで結構）。
- うざン [udzɨm] 【動 1：うずみ、うずまん】 埋める。
- うざンばらやー [udzɨmbarajaa] 【名】 柱を土中に埋めて建てた家。
- うだ [uda] 【形】 ① 太っている、肥満。② 太い、厚い。



- うだーなー [udaanaa] 【名】 そんなに遠く。  
うだい [udai] 【動 2：うだい、うだいやん】 太る。  
うたき [utaki] 【名】 御嶽。  
うだき [udaki] 【副】 そんなに高く。  
うだぐー [udaguu] 【名】 デブ、太った人。  
うたす [utasɿ] 【動 1：うたし、うたさん】 落とす。  
うたす [utasɿ] 【動 1：うたし、うたさん】 落とす。  
うだわー [udavaa] 【名】 (比喩的に) デブ。  
うちやみ [uteami] 【名】 打ち雨。建物の中に進入する雨。  
うちやん [uteam] 【名】 投網 (とあみ)。  
うつ [utsɿ] 【形】 親しい、親睦。  
うつ [utsɿ] 【動 1：うち、うたん】 打つ。  
うつー [utsɿ] 【名】 青あざ。  
うつうざ [utsudza] 【名】 親戚。  
うっき [ukkɿ] 【動 1：うっき、うっかん】 置く。  
うっすう [ussu] 【名】 後頭部。  
うったい [uttai] 【動 2：うったい、うったいやん】 訴える。  
うつつ [uttsɿ] 【動 1：うっち、うつつあん】 ① 移る。② 写る、映る。  
うつつあす [uttsasɿ] 【動 1：うつつあし、うつつあさん】 ① 移す。② 写す、映す。  
うつとーんまーい [utsɿtummaaɿ] 【動 1：うつとーんまーり、うつとーんまーらん】 (慌てて) 引き返す。  
うつふーい [utsɿfuuɿ] 【動 1：うつふーり、うつふーらん】 (激しく) 振るう、揺す振る。  
うてい [uti] 【動 2：うてい、うとーん】 落ちる。  
うでい [udi] 【名】 腕。  
うていー [utii] 【文】 ～しておいて。～したまま。付帯を表す。例文：おんがくー ながしゅーていーどう ぶどうイ° たー (音楽を流しながら踊った)。  
うでいだい [udidaɿ] 【名】 怠慢、怠けものである。  
うていつき [utitsɿkɿ] 【動 1：うていつき、うていつかん】 落ち着く。  
うとー [utu] 【名】 音。  
うとーい [utuɿ] 【名】 お通り、宮古島で流行している酒飲みの儀式の一つ。  
うとーがい [utugaɿ] 【名】 顎 (あご)。  
うどうき [uduki] 【動 2：うどうき、うどうくん】 損する。  
うとーす [utusɿ] 【動 1：うとーし、うとーさん】 落とす。  
うどうす [udusɿ] 【動 1：うどうし、うどうさん】 脅す。  
うとーとー [ututu] 【名】 ① 弟、妹。② 年下 (の人)。  
うとーむ [utumɿ] 【名】 同伴。  
うどうるかす [udurukasɿ] 【動 1：うどうるかし、うどうるかさん】 驚かせる、びっくりさせる。  
うどうるき [udurukɿ] 【動 1：うどうるき、うどうるかん】 驚く、びっくりする。  
うとーるす [uturusɿ] 【形】 恐ろしい。  
うな [una] 【名】 己、自分。  
うながい [unagai] 【副】 そんなに永らく。  
うなが ぶんぶん [unaga bunbun] 【連語】 それぞれ、おのおの。

- うなぎ [unagi] 【副】 そんなに長く。  
うなぎ [unagi] 【名】 鰻 (ウナギ)。  
うぬ [unu] 【連体】 その。  
うぬすく [unusʔku] 【副】 そんなに、それほど。  
うぱーざ [upaadza] 【名】 長男。  
うぱーんが [upaanga] 【名】 長女。  
うばいがうばい [ubaigaubai] 【副】 ① 大変。② すごい、関心に値する。  
うぷ [upu] 【形】 大きい。  
うぷあがた [upuagata] 【形】 とても遠い。  
うぶい [ubui] 【動 2: うぶい、うぶいゆん】 覚える。  
うふイ [ufuʔ] 【動 1: うふり、うふらん】 (神や先祖の魂を) 見送る。  
うふうふ [ufuufu] 【擬】 大事、大切な様。  
うぷがなまりや [upuganamarja] 【名】 ① 頭が大きい人。② 馬鹿者、頭が悪い人。  
うぷぎ [upugi] 【名】 そんなに大きい。  
うぷじん [upudzin] 【名】 大善。お膳の一種。  
うぷずー [upudzʔ] 【名】 巨乳。  
うぷすう [upusu] 【名】 海水。  
うぷでい [upudi] 【副】 大半。  
うぷなー [upunaa] 【名】 洲鎌にある集落名。  
うぷに [upuni] 【名】 大根。  
うぷばーきー [upubaakii] 【名】 大きい葉っぱの木。  
うぷみー [upumii] 【名】 大きな目を持つ (こと、人)。  
うぷやー [upujaa] 【名】 母屋。  
うぷやまかさ [upujamakasa] 【副】 たくさん。  
うぷゆっばる [upujupparu] 【名】 大きくなった人がおしっこをもらすこと。  
うぶり [uburi] 【動 2: うぶり、うぶるん】 溺れる。  
うぷんとう [upuntu] 【名】 体が大きい。  
うぼーさ [upoosa] 【副】 たくさん。  
うま [uma] 【名】 そこ。  
うまーす [umaasʔ] 【動 1: うまーし、うまーさん】 思わせる。  
うまかま [umakama] 【副】 あちこち。  
うまた [umata] 【名】 そこら。  
うまつ [umatsʔ] 【名】 火。  
うみ [umi] 【動 2: うみ、うむん】 埋める。  
うむー [umuu] 【動 1: うむい、うまーん】 思う。  
うむーが にやーん [umuuga njaan] 【連語】 自由に、思う存分、思うがままに。  
例文: うむーがにやーんどう いらばい (自由に選べる)。  
うむぐい [umugui] 【名】 ハミ (馬具)。  
うむくとう [umukutu] 【名】 知恵。  
うむっし [umueei] 【形】 面白い。  
うむやす [umujasʔ] 【形】 安心した。  
うむやっさ [umujassa] 【名】 安心。  
うや [uja] 【名】 父。  
うや [uja] 【感】 ほら。  
うやーい [ujaai] 【感】 ほら。

うやき [ujaki] 【形】 富裕。  
 うやきむぬ [ujakimunu] 【名】 富裕な人、お金持ち。  
 ヴゃつヴゃつ [vjatsʲvjatsʲ] 【擬】 落ち着きがない。  
 うやっふぁ [ujaffa] 【名】 親子。  
 うやんま [ujamma] 【名】 両親。  
 うらかいイ [urakaiʲ] 【動 1: うらかいり、うらかいらん】 ひっくり返る。  
 うらかいす [urakaisʲ] 【動 1: うらかいし、うらかいさん】 ひっくり返す。  
 うらかいらす [urakairasʲ] 【動 1: うらかいらし、うらかいらさん】 ひっくり返す。  
 うらざー [uradzaa] 【名】 裏座 (伝統的な間取りでは奥の部屋)。  
 うり [uri] 【名】 それ。  
 うり [uri] 【動 2: うり、うるん】 おりる。  
 うりから [urikara] 【接続】 それから。  
 うりかり [urikari] 【副】 かれこれ、あらゆる。  
 うりた [urita] 【名】 それら。  
 うるか [uruka] 【名】 砂川 (うるか、城辺の集落)。  
 うるかじ [urukadzi] 【名】 普段の方向と異なる方向で吹く風。  
 うるす [urusʲ] 【動 1: うるし、うるさん】 おろす。  
 うるばな [urubana] 【名】 珊瑚礁。  
 うわイ [uvaʲ] 【動 1: うわり、うわらん】 終わる。  
 うん [un] 【名】 その時、当時。  
 うんギ [uŋʲ] 【名】 恩、恩義。

## —え—

えーってい [eetti] 【副】 (仕草で示しながら) こう、こうして。  
 えげー [egee] 【感】 感動詞。抑揚により様々な感情を表す。

## —お—

おー [oo] 【形】 青い、青色の、緑色の。  
 おー [oo] 【動 1: あい、あーん】 喧嘩する、戦う。  
 おー [oo] 【感】 はい、かしこまりました。目上に対して用いる。  
 おーぎ [oogi] 【動 2: おーぎ、おーぐん】 空く。  
 おーギ [oogʲ] 【名】 扇。  
 おーギ [oogʲ] 【動 1: おーぎ、おーがん】 扇ぐ。  
 おーく [ooku] 【名】 杓 (おうご)、天秤棒。  
 おーだ [ooda] 【名】 (草などを入れる) 容器の一種。  
 おーたヴたヴ [ootavtav] 【擬】 生い茂っている様。  
 おーなずばヴ [oonadzʲbav] 【名】 蛇の一種 (青大将)。  
 おーなば [oonaba] 【名】 苔。  
 おーばイ [oobaʲ] 【名】 金蠅。  
 おーふさ [oofusa] 【形】 生臭い。  
 おーみ [oomi] 【形】 臆病。  
 おーやー [oojaa] 【名】 喧嘩。  
 おーん [oom] 【動 1: おーみ、おーまん】 青くなる、青ばむ。

おーんびゃーイ [oombjaaɪ] 【動 1：おーんびゃーり、おーんびゃーらん】青ざめる。

—か—

か [ka] 【助数】～日、～日間。日数を数える助数詞。例文：ふつか（二日）。ミ  
ーか（三日）。ゆーか（四日）。

が [ga] 【文】動詞に付き「～しに」を表す。例文：ふさかイ° が いか（草を刈  
りに行こう）。

が [ga] 【文】～が、～の。例文：っヴあが むぬ（君のもの）。っヴあが っし  
ゆーイ°（君が分かる）。

かー [kaa] 【文】形容詞の語幹に付き、様々な活用形を作る。古典日本語の「～  
かる」の活用に通じる。例文：くいがどう ンまかー（これの方がおいしい）。  
たかかいは かーるん（高いので買えない）。たかかりゃーまい かーでい（高  
くても買うよ）。

かー [kaa] 【名】① 井戸。② 川、河川。連濁形：がー。

かー [kaa] 【名】皮、肌。

がー [gaa] 【名】我、自己主張の強いこと。

かーイ [kaaɪ] 【動 1：かーり、かーらん】① 変わる、変化する。② 違う、異な  
る。③ 変である。連濁形：がーイ°。

がーイ [gaaɪ] 【動 1：がーり、がーらん】自慢する。

かーき [kaaki] 【動 2：かーき、かーくん】①（喉が）渴く。例文：ぬどうぬど  
う かーきゆー（のどが渴いている）。②（ひどく）欲しがる。③ 形容詞の名  
詞形に続いて、強調構文を作る。例文：ふからっさん かーき（たいへん喜んで）。

かーぎ [kaagi] 【名】容貌。

かーきずん [kaakidzɪn] 【名】餓死、飢え死に。

かーさどう やどうゆン [kaasadu jadujum] 【慣】貧しさこそ喧嘩の元。

がーずうー [gaadzuu] 【形】強情、自己主張が激しい。

かーずうく [kaadzuku] 【名】池、沼。

かーすぷぎ [kaasɪpugɪ] 【名】革のベルト。

がーな [gaana] 【名】蟬。

がーな [gaana] 【名】アヒル。

がーなす [gaanasɪ] 【名】肩車。

かーぱイ [kaapaɪ] 【動 1：かーぱり、かーぱらん】動きが鈍い。

がーぱイ [gaapaɪ] 【動 1：がーぱり、がーぱらん】我を張る、言い張る。

かーふなた [kaafunata] 【名】蛙の一種、ヒキガエル。

かーま [kaama] 【名】拳骨。

かーみ [kaami] 【名】カーミ。宮古の伝統的な名前。連濁形：がーみ。

かーら [kaara] 【名】瓦。連濁形：がーら。

がーら [gaara] 【名】魚の一種。

かーらかす [kaarakasɪ] 【動 1：かーらかし、かーらかさん】乾かす。

かーらキ [kaarakɪ] 【動 1：かーらき、かーらかん】乾く。

がーらす [gaarasɪ] 【動 1：がーらし、がーらさん】（～を）自慢する。

かーらやー [kaarajaa] 【名】瓦葺の家。

がーんぐ [gaangɪ] 【名】蛍。

- かい [kai] 【名】 あれ。
- かい [kai] 【動 2：かい、かいゆん】 変える。
- かイ [kaɪ] 【形】 軽い。
- かイ [kaɪ] 【動 1：かり、からん】 刈る。
- かイ [kaɪ] 【動 1：かり、からん】 借りる。
- かいイ [kaiɪ] 【動 1：かいら、かいらん】 ① ひっくり返る。倒れる。例文：ばいくぬどう かいら にゃーん (バイクが倒れてしまった)。② 自動詞の中止形に付き、その意味を強調する。例文：あまいどう かいらゆー (爆笑している)。連濁形：がいイ°。
- かいた [kaita] 【名】 あれら。
- がいちん [gaitein] 【名】 ヒバリ。
- かイまた [kaɪmata] 【名】 狩俣 (宮古島北部の集落)。
- がいミキ [gaɪmɪkɪ] 【動 1：がいみき、がいみかん】 話がうるさい、小言をいう。
- かいらす [kairasɪ] 【動 1：かいらし、かいらさん】 ① ひっくり返す、倒す。② 他動詞の中止形に付き、その意味を強調する。例文：っジ かいらす (ひどく叱る)。連濁形：がいらす。
- かヴ [kav] 【動 1：かっヴい、かっヴあん】 被る。
- かヴす [kavsɪ] 【動 1：かヴし、かヴさん】 被せる、覆う。
- かかイ [kakaɪ] 【動 1：かかり、かからん】 かかる。
- かかっつ [kakattsɪ] 【動 1：かかっち、かかっつあん】 引っ掻く。
- かがみ [kagami] 【動 2：かがみ、かがむん】 怒る。
- かかミキ [kakamɪkɪ] 【動 1：かかみき、かかみかん】 落ち着かない、せっかちである。
- かからす [kakarasɪ] 【動 1：かからし、かからさん】 かからせる。
- ががり [gagari] 【動 2：ががり、ががるん】 痩せこける。
- かがン [kagam] 【名】 鏡。
- かき [kaki] 【動 2：かき、かくん】 かける。
- かキ [kakɪ] 【名】 塀、垣。
- かキ [kakɪ] 【動 1：かき、かかん】 掻く。
- かキ [kakɪ] 【動 1：かき、かかん】 書く。
- かキ [kakɪ] 【動 1：かき、かかん】 (サトウキビの葉っぱを) 取る。
- がキ [gakɪ] 【名】 ① 食いしん坊。② 人を罵る言葉、このやろう。
- かぎ [kagi] 【名】 影。
- かぎ [kagi] 【形】 きれい、めでたい。
- がギ [gagɪ] 【名】 ① 鉤。② ケチな人。
- かきざ [kakidza] 【名】 雲丹。
- がギな [gagɪna] 【名】 草の一種、メヒシバ。
- かぎピかず [kagipɪkadzɪ] 【名】 吉日、めでたい日。
- かきょー [kakjoo] 【動 1：かきゃい、かきゃーん】 間に合う。
- かぎわ一つキ [kagivaatsɪkɪ] 【名】 よい天気。
- がぐ [gagu] 【擬】 くるまっている様、ちぢれ。
- がぐからず [gagukaradzɪ] 【名】 縮れ毛。
- かくみ [kakumi] 【動 2：かくみ、かくむん】 引っかける。
- かざ [kadza] 【名】 匂い、香り。
- かざイ [kadzaɪ] 【動 1：かざり、かざらん】 飾る。

- かさび [kasabi] 【動 2：かさび、かさぶん】重ねる。  
 がざん [gadzam] 【名】蚊。  
 がざんみ [kadzammi] 【名】高千穂の集落名。  
 かじ [kadzi] 【名】風。  
 かじ [kadzi] 【動 2：かじ、かずうん】(土を)掘る。(芋を)掘り起こす。例文：  
 ーかじが (芋を掘りに)。  
 かしー [kaɕii] 【名】手伝い。  
 かじがたか [kadzigataka] 【名】風除け。  
 かじずー [kadzidzuu] 【形】風が強い。  
 かじふキ [kadzifukɿ] 【名】台風、嵐。  
 がじゃがじゃ [gadzagadza] 【擬】複雑な様子。  
 がじゃっヴい [gadzavvi] 【動 2：がじゃっヴい、がじゃっヴうん】込み合う。  
 かず [kadzɿ] 【名】① 数。② 名詞や動詞に付き「～ごと」「～するたんびに」を  
 表す。例文：すとうむていぬかず (毎朝)。ぬンがかず (飲むたんびに)。  
 かすき [kasɿki] 【名】あのぐらい。  
 かずっヴあい [kadzɿvvai] 【名】元肥。  
 かぞー [kadzoo] 【形】風が吹く、風が強い。  
 かた [kata] 【接頭】片、片方の。例文：かたばギ (片足)。  
 かた [kata] 【名】(動詞に付き)～し方、方法。  
 かた [kata] 【名】方向、方角。  
 かた [kata] 【名】故。例文：んざーぬ やーんまい いキむすぬ うーたーかた  
 んどう、ふそー からだかー ゆっズうまい ふーったー (どこに家にも家畜が  
 いたので、草を刈らなければ晩ご飯もくれなかった)。  
 かた [kata] 【名】飛蝗 (ばった)。  
 かた [kata] 【形】(お茶が)濃い。  
 がた [gata] 【文】(動詞に付き)～しかけ、～しそうだ。例文：うていがた (落ち  
 る寸前)。にーがたぬ さた (煮おわる寸前の砂糖)。  
 かたーき [kataaki] 【名】責任。  
 かたか [kataka] 【名】(雨や風の)よけ。連濁形：がたか。  
 かたかす [katakasɿ] 【名】おじさん (魚)。  
 かだき [kadaki] 【副】あんなに高く。  
 かたずき [katadzɿki] 【動 2：かたずき、かたずくん】片付ける。  
 かたっふ [kataffu] 【名】すき櫛 (虱取り用など、歯の細かい櫛)。  
 かたな [katana] 【名】包丁。  
 かたながに [katanagani] 【名】体の片方。  
 かたば [katapa] 【名】障害、障害者であること。  
 かたばギ [katapagɿ] 【名】片足。  
 かたばむぬ [katapamunu] 【名】障害者。  
 かたふイ [katafuɿ] 【名】一様ではなく、あちこち降る雨。  
 かたふかす [katafukasɿ] 【動 1：かたふかし、かたふかさん】傾ける。  
 かたふキ [katafukɿ] 【動 1：かたふき、かたふかん】傾く。  
 かたぶつ [katabutsɿ] 【名】きまじめま、几帳面な人。  
 かたみ [katami] 【動 2：かたみ、かたむん】担ぐ、肩に載せて運ぶ。  
 かたむす [katamusɿ] 【名】肩。  
 かたむた [katamuta] 【名】傍ら、側。

- かつゆー [kateuu] 【名】鰹 (カツオ)。  
 かつ [katsɿ] 【動 1: かつ、かたん】勝つ、勝利する。  
 かつヴあす [kavvasɿ] 【動 1: かつヴあし、かつヴあさん】被せる。  
 がつな [gatsɿna] 【文】① ~しながら。例文: むぬー ふおーがつなどう てれびゆー みーゆー (食事をしながら、テレビを見ている)。② ~するついでに。例文: ばが やーんかい キかつな さしみゆー かい ふいーる (私の家に来るついでに刺身を買ってください)。  
 かつふあす [kaffasɿ] 【動 1: かつふあし、かつふあさん】隠す。  
 かつふい [kaffi] 【動 2: かつふい、かつふん】隠れる、隠す。  
 かつふいみゃー [kaffimjaa] 【名】隠れん坊。  
 がつん [gatsɿn] 【名】魚の一種 (アジの仲間)。  
 かどう [kadu] 【名】角、隅。  
 かな [kana] 【名】① 鉋。② おろし器。  
 かなーらず [kanaaradzɿ] 【副】必ず。  
 がなか [ganaka] 【文】~すればするほど。例文: なるーがなかどう どうまっヴいだら (習えば習うほどこんがらがる)。  
 かながい [kanagai] 【名】先日、前。  
 かなぐる [kanaguru] 【名】金くず。  
 かなぐるぼーし [kanaguruboosi] 【名】麦わら帽子。  
 かなす [kanasɿ] 【形】愛おしい、好き。連濁形: がなす。  
 がなす [ganasɿ] 【接尾】~様。尊敬や愛称を表す接辞。例文: かんがなす (神様)。つきがなす (お月様)。  
 かなっさ つす [kanassa ssɿ] 【連語】大切にする、可愛がる。  
 かなまい [kanamaɿ] 【名】頭。連濁形: がなまい。  
 かなまりゃ [kanamarja] 【名】① 頭。② (複合語で) 頭に関連する何らかの性質を備えた人を指す。例文: うぷがなまりゃ (頭の大きい人)。連濁形: がなまりゃ。  
 かなむぬ [kanamunu] 【名】金属製品。  
 かならず [kanaradzɿ] 【副】必ず。  
 かに [kani] 【名】鉄、金属。連濁形: がに。  
 かに [kani] 【動 2: かに、かぬん】動詞に付き「~しかねる」を表す。例文: かぬ ういピたー あイ° キかにどうー (あの年寄りはずきかねている)。  
 かに [kani] 【動 2: かに、かぬん】囲う。  
 かにつつあ [kanittsa] 【名】洲鎌にある集落名。  
 かにふぎ [kanifugɿ] 【名】(金属でできている) 釘。  
 かぬ [kanu] 【連体】あの。  
 かのー [kanoo] 【動 1: かない、かなーん】かなう。  
 がば [gaba] 【形】年を取っている、老けている、年寄りの。  
 がばイ [gabaɿ] 【動 1: がばり、がばらん】年を取る、老ける。  
 がばかざ [gabakadza] 【名】加齢臭。  
 かばす [kabasɿ] 【形】芳しい。  
 がばぬすとう [gabanusɿtu] 【名】窃盗癖のある人。  
 かび [kabɿ] 【名】紙。  
 かび [kabɿ] 【動 1: かび、かばん】嗅ぐ。  
 かびじん [kabɿdzin] 【名】後世のお金。

- かびとうイ [kabɪtuɪ] 【名】 凧。
- がびょー [gabjoo] 【形】 痩せている。
- がびょーまんだ [gabjoomanda] 【名】 痩せている人。
- がふ [gafu] 【副】 ① みっしりと。② ちょうど、ぴったり。
- かぷぎ [kapugi] 【名】 あんなに大きい、巨大。
- かぶちゃ [kabutea] 【名】 南瓜 (かぼちゃ)。
- かふつ [kafutsɪ] 【名】 (屋敷内の) 菜園。
- かま [kama] 【名】 あそこ。
- がま [gama] 【接尾】 小辞詞。例文：いみピとうがま (ちっちゃい人)。
- かまー [kamaa] 【名】 遠く、遠い所。
- がまーす [gamaasɪ] 【接尾】 ～中、時間名詞に付き「その間にずっと」を表す。  
例文：ゆーがまーす (一夜中、夜ずっと)。ピとうイがまーす (一日中)。
- かまイ [kamaɪ] 【動 1：かまり、かまらん】 飽きる。例文：うぬ えーごーばー  
かまイ° きゃどう みーたー (この映画は飽きるほど見た)。うずまきぱんぬー  
ばー ふおーかまりどうー (渦巻きパンは食べ飽きている)。
- かまぎ [kamagi] 【動 2：かまぎ、かまぐん】 突き破る。
- かまた [kamata] 【名】 あそこら。
- がまた [gamata] 【文】 未来形を作る接辞。未来において予定のあることや、確実に起こると思われる出来事を表す。例文：あつあー なんじんが つきがまた  
やりゃー? (明日は何時に着く予定なの?)。
- かまつ [kamatsɪ] 【名】 頬。連濁形：がまつ。
- かまばく [kamabaku] 【名】 カマボコ。
- がまらす [gamarasɪ] 【形】 めんどくさい。
- かみ [kami] 【名】 甕 (かめ)。連濁形：がみ。
- かみ [kami] 【名】 亀。
- かみ [kami] 【動 2：かみ、かむん】 頭に載せる。
- かみ [kami] 【動 2：かみ、かむん】 合掌する、手を合わせる。
- がみ [gami] 【文】 ～まで。例文：あつあがみ かかイ° ンどー (明日までかかるよ)。
- がみ [gami] 【文】 (格助詞に続き) ～は、対比を表す。例文：ぴんざずうーがみ  
ゃー まーだどう ンまかー (ヤギ汁はたいへん美味しい)。
- がみキ [gamiki] 【動 1：がみき、がみかん】 音を立ててぶつける。
- かや [kaja] 【名】 茅。
- かや [kaja] 【感】 ほら。
- かやーい [kajaai] 【感】 ほら。
- かややー [kajajaa] 【名】 茅葺きの家。
- がやんだ [gajanda] 【名】 ① 蜂の一種。② 口数の減らない、うるさい人。
- から [kara] 【助数】 ～頭、～匹。生き物を数える助数詞。
- から [kara] 【文】 (格助詞に続き) 先に...する。例文：あしゅーから ふあー (先に昼ご飯を食べよう)。
- から [kara] 【文】 ～から。例文：くまから かまがみ (ここからあそこまで)。
- から [kara] 【形】 辛い。
- がら [gara] 【文】 ～のか (分からない)。疑問文を埋め込む働きをする助詞。例  
文：んなまー とうないんどう たーが うーがら つさるん (今は隣に誰が  
いるのか分からない)。



- がらー [garaa]【文】疑問詞に付き、不定語（誰か、何か）を形成する。例文：たーがらーがどう キったー（誰かが来た）。
- がらー [garaa]【文】～なんか。例文：携帯ゆがらーどう うたし にゃーん（携帯なんかを落としてしまった）。
- からぎ [karagi]【動2：からぎ、からぐん】めくる。
- がらさ [garasa]【名】鳥。
- がらさばヴ [garasabav]【名】カラスヘビ、蛇の一種。
- からす [karas]【動1：からし、からさん】貸す。
- からず [karadzɨ]【名】髪。
- からすう [karasu]【名】麦が入っている味噌。
- かり [kari]【名】あれ。
- かり [kari]【動2：かり、かるん】枯れる。連濁形：がり。
- かりー [karii]【名】嘉例、幸運をもたらすもの。
- がりー [garii]【文】～かな。主に疑問詞疑問文に用いられる。例文：とーがりー（誰かな、誰だっけ）。
- かりた [karita]【名】あれら。
- かん [kan]【名】蟹。連濁形：がん。
- かん [kam]【名】神。連濁形：がン。
- かん [kam]【動1：かみ、かまん】噛む。
- かんがい [kaŋgai]【動2：かんがい、かんがいゆん】考える。
- かんかかりや [kamkakarja]【名】神役。
- かんがなす [kamganasɨ]【名】神様。神の敬称。
- かんぎ [kaŋgi]【名】鬘（たてがみ）。
- かんしー [kaŋeii]【副】このように、こうして、かよう。
- かんずうー [kandzuu]【形】勘が鋭い。
- がんずうー [gandzuu]【形】健康、健在。
- がんずうーさ [gandzuusa]【名】健康。
- がんずうー うやき [gandzuu ujaki]【慣】「健康富」。健康に勝るものはない。
- かんだい [kamdaɨ]【動1：かんだり、かんだらん】噛み砕く。
- かんだか [kamdaka]【形】神秘的な物に対して敏感である。
- かんだな [kamdana]【名】仏壇。
- かんつき [kantsɨkɨ]【動1：かんつき、かんつかん】気づく。
- かんでいっちや [kamtittea]【名】占い師。
- かんでいゆん [kantijun]【名】雷。
- かんない [kamnaɨ]【動1：かんなり、かんならん】死ぬ。
- かんにがい [kamnigaɨ]【名】祈祷、祈願。
- かんにごーんま [kamnigoomma]【名】神役のおばあさん。
- かんぬなー [kamnunaa]【名】神の名、くじによって与えられた名前、(日本語の「学校の名前」と区別して) 宮古語本来の名前。
- かんぼー [kanboo]【名】風邪。
- がんまり [gammari]【名】悪戯。
- がんまりや [gammarja]【名】悪戯をする人。

- ぎ [gi]【文】～そうだ。～ように見える。例文：ンまぎむぬやー (美味しそうね)。  
 ぷからすき なりどうーたー (嬉しそうにしていた)。
- きー [kii]【名】木、木材。連濁形：ぎー。
- きーぬなイ [kiinunaɪ]【名】木の実。
- ギーぱ [giɪpa]【名】簪 (かんざし)。
- キーる [kiɪru]【形】黄色い。
- きイ [kiɪ]【動 1：きり、きらん】蹴る。
- きヴ [kiv]【助数】～軒。建物や世帯を数える助数詞。
- きヴ [kiv]【形】煙い。
- キかす [kiɪkasɪ]【動 1：キかし、キかさん】聞かせる。
- キキ [kiɪki]【動 1：キき、キかん】聞く。
- きぎやーイ [kigjaaɪ]【動 1：きぎやーり、きぎやーらん】混ざる。
- きぎやーす [kigjaasɪ]【動 1：きぎやーし、きぎやーさん】掻き混ぜる。
- キサ [kiɪsa]【副】① さっき。例文：キサどう きしゅーたー (さっき来ていた)。  
 ② とっくに。例文：むやいぬ じんぬばー キさどう ふあいにかーん (頼母子講の金はとっくに費やした)。
- キサバキ [kiɪsabaki]【形】清潔、きれい。
- きざン [kidzam]【動 1：きざみ、きざまん】(野菜、肉を)切る。
- きし [kiei]【名】切れ。
- きし [kiei]【動 2：きし、キそうん】切れる。
- きしイ [kieiɪ]【名】煙管 (きせる)。
- キす [kiɪsɪ]【動 1：きし、キさん】切る。連濁形：ギー。
- キす [kiɪsɪ]【動変型：きし、くーん】来る。
- キす [kiɪsɪ]【動 1：きし、キさん】着る。
- きず [kidzɪ]【名】傷。
- ギすキ [giɪsɪki]【名】薄 (ススキ)。
- きた [kita]【名】桁。
- きたてい [kitati]【動 2：きたてい、きたとうん】異なる。
- きだむぬ [kidamunu]【名】薪。
- きつき [kitsuɪgi]【形】きれい。
- ぎつきよー [gitsuɪgjoo]【形】難しい。
- きつつ [kittsɪ]【動 1：きつつ、きつつあん】① 削る。② 梳く、髪の毛を整える。
- きっふ [kiffu]【名】煙。
- キとうイ [kiɪtuɪ]【動 1：キとうり、キとうらん】味が濃くてきつい。
- キとうん [kiɪtun]【副】必ず。
- きな [kina]【名】玉杓子。
- きない [kinai]【名】家庭、家族。
- キぬ [kiɪnu]【名】昨日。
- キぬ一つき [kiɪnuutsɪki]【連語】じっと見る様。
- キぬぶとうとうイ [kiɪnubututuɪ]【名】最近。
- キばイ [kiɪbaɪ]【動 1：キばり、キばらん】頑張る。
- きばがイ [kibagaɪ]【動 1：きばがり、きばがらん】強く匂う。
- きばん [kiban]【形】親戚、頼る人がいない。
- ギビた [giɪbiɪta]【形】素直でない。
- きまい [kimaɪ]【動 1：きまり、きまらん】決まる。

- きみ [kimi] 【動 2 : きみ、きむん】 決める。  
 きみゃーす [kɪmjɑasɪ] 【形】 気持ちいい。  
 きむ [kɪmu] 【名】 ① 心。② 肝臓。  
 きむいでい [kɪmuidi] 【動 2 : きむいでい、きむいどうん】 怒る。  
 きむかぎ [kɪmukagi] 【形】 優しい。  
 きむがま [kɪmugama] 【名】 心が小さい、短期。  
 きむぐる [kɪmugukuru] 【名】 心。  
 きむたかり [kɪmutakari] 【形】 怒りっぽい。  
 きむだみ [kɪmudami] 【名】 辛抱強い。  
 きむやん [kɪmujam] 【名】 心を痛めること、悩み。  
 きゃ [kja] 【文】 ① (動詞に付き) ~まで。~ほど。例文：ばが きっきゃ まちゅーりよ (私が来るまで、待っていなさい)。② ~間。例文：しんしーや しゅーきゃー じんな なんずう にゃーったん (先生を勤めていた間、あまりお金がなかった)。  
 きゃーす [kjaasɪ] 【動 1 : きゃーし、きゃーさん】 消す。  
 きゃーり [kjaari] 【動 2 : きゃーり、きゃーるん】 消える。  
 きゅー [kjuu] 【名】 今日。  
 きゅーがゅー [kjuugajuu] 【名】 今晚。  
 きん [kin] 【名】 斤。  
 きん [kɪn] 【名】 服、着物。連濁形：ギん。  
 きんあろー [kɪnaroo] 【名】 洗濯。  
 きんずうー [kindzuu] 【形】 重さがある。  
 きんだてい [kindati] 【名】 地鎮祭。

## —く—

- くー [kuu] 【助数】 ~個。貝、スイカ、芋などを数える助数詞。  
 くー [kuu] 【名】 繕い、空いているものを埋めること。連濁形：ぐー。  
 くー [kuu] 【名】 (卵、貝などの空っぽになった) 殻。  
 くー [kuu] 【名】 粉。  
 くー [kuu] 【名】 甲羅。  
 くー [kuu] 【動 1 : くい、かーん】 求婚する。  
 ぐー [guu] 【文】 形容詞や動詞に付き「~しそうだ」を表す。例文：うぬ すまとうりゃー かつぐーつふあにゃーん (この力士は勝ちそうもない)。  
 ぐー [guu] 【名】 ① (海中の) 岩。② 岩盤。  
 ぐー [guu] 【名】 ① 同じであること。例文：ういとう ゆぬぐー (これと同じ)。  
 ② 一緒に。  
 くーい [kuuɪ] 【名】 部屋。  
 くーヴ [kuuv] 【動 1 : くーっヴい、くーっヴあん】 (料理を) 準備する、作る。  
 くーすう [kuusu] 【名】 唐辛子。  
 くーむや [kuumuja] 【名】 ゴキブリ。  
 ぐーりゃ [guurja] 【接尾】 ~辺り。例文：ゆなばぐーりゃ (与那覇辺り)。  
 くーる [kuuru] 【名】 輪、車輪。  
 くーるギー [kuurugi] 【名】 輪切り。  
 くい [kui] 【名】 これ。

- くい [kui] 【名】 ① 声。② 音。例文：くいぬどう キかりゅー（音が聞こえている）。③ 訛り。地名に付き「～訛り」を表す。例文：ピさらぐい（平良訛り）。連濁形：ぐい。
- くい [kui] 【動 2：くい、くいゆん】 こえる。
- くいた [kuita] 【名】 これら。
- くいちゃー [kuiteaa] 【名】 雨乞いの踊り、クイチャー。
- くヴ [kuv] 【名】 昆布。
- くがに [kugani] 【名】 (金属の) 金、宝。
- くき [kuki] 【形】 威張っている。
- くギ [kugi] 【動 1：くぎ、くがん】 漕ぐ。
- くきふや [kukifuja] 【名】 威張っている人。
- くくぬ [kukunu] 【数】 九。
- くくぬつ [kukunutsu] 【名】 九つ。
- くくぬぬピとう [kukununupitu] 【名】 九人、九名。
- くくる [kukuru] 【名】 心。
- くくるやき [kukurujaki] 【名】 胸焼き。
- くさんみ [kusammi] 【名】 背中。
- ぐしゃん [gucan] 【名】 杖。
- ぐしん [gucin] 【名】 女性器。
- くす [kus] 【名】 ① 腰。② 後方、後ろ。
- くす [kus] 【動 1：くし、くさん】 運ぶ。
- くずう [kudzu] 【名】 去年。
- ぐずうヴ [gudzuv] 【動 1：ぐぞうっヴい、ぐぞうっヴあん】 擦（くすぐ）る。
- くすき [kuski] 【名】 このぐらい。
- ぐずぐず [gudzugudz] 【擬】 ごくごく。
- くすぶに [kusubuni] 【名】 背骨、脊椎。
- くだき [kudaki] 【副】 こんなに高く。
- くたんでい [kutandi] 【動 2：くたんでい、くたんどうん】 くたびれる。
- くつヴァ [kuvva] 【名】 ふくらはぎ。
- ぐった [gutta] 【擬】 一気に呑み込む様。
- くっち [kutte] 【動 2：くっち、くつつうん】 苦勞する。
- くつぱぎ [kutsipagi] 【名】 靴擦れ。
- くとう [kutu] 【名】 こと。連濁形：ぐとう。
- くとうす [kutus] 【名】 今年。
- くとうば [kutuba] 【名】 言葉。
- ぐどうん [gudun] 【名】 愚鈍、頭が悪い人、馬鹿。
- ぐな [guna] 【名】 ～する人。係、担当。例文：に一ぐな（煮る係り、料理担当）。
- くなす [kunas] 【動 1：くなし、くなさん】 やせ我慢をする。
- くぬ [kunu] 【連体】 この。
- くぬイ [kunu] 【名】 最近。
- くば [kuba] 【名】 植物の一種、びろう。
- くぱ [kupa] 【形】 硬い。連濁形：ぐぱ。
- くぱイ [kupa] 【形】 言葉が流暢でない、どもる。
- くぱイ [kupa] 【動 1：くぱり、くぱらん】 ① 固くなる、固まる。② 凝る。③ 凍える。

- くばず [kubadzɿ] 【名】 釣瓶。  
くぱりや [kupaɾja] 【名】 言葉がはっきりしない人、どもり。  
くび [kubi] 【名】 (ススキで編まれた) 壁。  
くびん [kupin] 【名】 瓶。連濁形：くびん。  
ぐふ [gufu] 【名】 (竹、サトウキビなどの) 節 (よ)、ふしとふしとの間の部分。  
くぶ [kubu] 【名】 瘤。  
くぶぎ [kupugi] 【副】 こんなに大きい。  
くま [kuma] 【名】 ここ。  
くま [kuma] 【形】 けち。  
ぐま [guma] 【形】 小さい。  
くまイ [kumaɪ] 【動 1：くまり、くまらん】 閉じこもる。  
ぐまじん [gumadzɯn] 【名】 小銭。  
くまた [kumata] 【名】 こころ。  
ぐみ [gumi] 【名】 ゴミ。  
くむ [kumu] 【名】 雲。  
くむ [kumu] 【名】 蜘蛛 (くも)。  
くや [kuja] 【感】 ほら。  
くやーい [kujaai] 【副】 ほら。  
くゆん [kujum] 【名】 暦。  
くらす [kurasɿ] 【動 1：くらし、くらさん】 暮す。  
くらび [kurabi] 【動 2：くらび、くらぶん】 比べる、比較する。  
くり [kuri] 【名】 これ。  
くり [kuri] 【動 2：くり、くるん】 お金を細かくする。  
ぐり [guri] 【名】 沈殿物。  
ぐり [guri] 【形】 動詞に付き「～しにくい」を表す。例文：みーぐりーぬ (見づらい)。  
くりた [kurita] 【名】 これら。  
ぐる [guru] 【形】 ずるい。  
くるま [kuruma] 【名】 車、自動車 (外来語)。連濁形：ぐるま。  
くんキ [kuŋkɿ] 【名】 体力。  
くんぎ [kuŋgi] 【動 2：くんぎ、くんぐん】 背負う、おんぶする。  
くんどう [kundu] 【名】 今度。

## —げ—

げなん [genan] 【名】 下男、しもべ。

## —こ—

- こー [koo] 【名】 お香。  
こー [koo] 【形】 痒い。  
こー [koo] 【形】 ① きつい。苦しい。例文：うぬ すぐたー こーふたー (この仕事はきつい)。② 貧しい。例文：こーやーがま (貧しい家庭)。連濁形：ごー。  
こー [koo] 【動 1：かい、かーん】 買う、購入する。  
こーイ [kooɪ] 【動 1：こーり、こーらん】 ① (作物が) 成熟する、収穫できる大

きさままでに成長する。② ませる、大人びる。  
 こーす [koosɿ] 【名】お菓子。連濁形：ごーす。  
 こーず [koodzɿ] 【名】麴。  
 ごーら [goora] 【名】ゴーヤ。  
 ごーり [goori] 【動2：ごーり、ごーるん】困る。  
 こーんから [koon̄kara] 【副】十分。

## — さ —

さ [sa] 【文】① ～さ。形容詞に付き、名詞を形成する。例文：あつさ（暑さ）。  
 ぴしさ（寒さ）。② 感じた感覚を表現するときに用いる。形容詞の感嘆形。例文：  
 ふささ！（臭っ！）。あつさ！（熱っ！）。  
 さー [saa] 【終】～よ。話し手の気持ちを強調する「本当に…だよ」。例文：うむ  
 っし やっさー（本当に面白い）。  
 ざー [dzaa] 【名】座、会場、人が集まる場所。  
 ざー [dzaa] 【名】片思いで狂って男を追い回す女。  
 さーい [saai] 【終】～よ。問いの答えによく使われる。例文：さんじん くーで  
 いさーい（三時に来るよ）。  
 さーい [saaɿ] 【動1：さーり、さーらん】連れる。  
 さーい [saaɿ] 【動1：さーり、さーらん】子守りをする。  
 さーいら [saaira] 【終】～よね。～でしょう。例文：みゃーくずまー ンみーぬ  
 さーいら（宮古島は小さいでしょ）。  
 さーていー [saatii] 【副】① うんと、急いで。② さっさと。  
 さーる [saaru] 【名】カマキリ。  
 さい [saɿ] 【名】申（さる）。  
 さい [saɿ] 【名】海老（えび）。  
 さいか [saika] 【終】～じゃないか。例文：とーまい うらんさいか（誰もいない  
 じゃないか）。  
 さいぬば [saɿnupa] 【名】西方。  
 ざインみ [dzaɿm̄mi] 【動2：ざインみ、ざインむん】ずぶ濡れる。  
 さヴ [sav] 【動1：さっヴい、さっヴあん】① 刺す。② 根こそぎ取る。  
 ざヴかに [dzavkani] 【名】茱萸（グミ）。  
 さか [saka] 【名】坂。  
 さがイ [sagaɿ] 【動1：さがり、さがらん】① 下がる。② 掛け買いする。  
 さがイビー [sagaɿbɿɿ] 【名】足を垂らした座りがた。  
 ざかがま [dzakagama] 【名】① モグラ。② 人を罵って言う。  
 さかなやー [sakanajaa] 【名】料亭、お茶屋。  
 さかま [sakama] 【名】坂。  
 さき [saki] 【名】酒。連濁形：ざき。  
 さキ [sakɿ] 【名】先。  
 さキ [sakɿ] 【動1：さき、さかん】裂く。  
 さキ [sakɿ] 【動1：さき、さかん】咲く。  
 さぎ [sagi] 【動2：さぎ、さぐん】下げる。  
 さきぐびん [sakigupin] 【名】酒の瓶。  
 さきずうー [sakidzuu] 【形】酒に強い。

- さきたりやー [sakitarijaa] 【名】酒を酒造する家、酒造所、酒蔵。  
 さきちゅーぶ [sakiteuubu] 【名】アルコール中毒。  
 さきどうみ [sakidumi] 【名】先妻や先夫。  
 さきぬみや [sakinumja] 【名】酒をたくさん飲む人。  
 さきぬン [sakinum] 【名】飲み会。  
 さきふあや [sakifaja] 【名】毎日酒を飲む人、アルコール依存者。  
 ささぎ [sasagi] 【名】結婚、結婚式。  
 ささび [sasabi] 【名】しゃっくり。  
 さず [sadzɪ] 【名】タオル。  
 さすんキ [sasɯŋki] 【動1: さすんき、さすんかん】急に向う、急降下する。  
 さた [sata] 【名】砂糖。連濁形: ざた。  
 さだ伊 [sadaɪ] 【動1: さだり、さだらん】先立つ。  
 さたぱンびん [satapambin] 【名】砂糖天ぷら、球状の揚げドーナツ（サーターア  
 ンダギー）。  
 さたまら [satamara] 【名】女性にもてること。  
 さっぼーイ [sappooɪ] 【動1: さっぼーり、さっぼーらん】（板などが）枯れて腐  
 る。  
 さとう [satu] 【名】（村より小さい）行政区の一つ。  
 さどうイ [saduɪ] 【動1: さどうり、さどうらん】手探りする。  
 さな [sana] 【名】傘。  
 さなか [sanaka] 【名】朝十時の休憩。  
 さなぎ [sanagi] 【名】褌。  
 さに [sani] 【名】① 種。② 血統。連濁形: ざに。  
 さにつ [sanitsɪ] 【名】宮古島の祭りの一つ。連濁形: ざにつ。  
 ざにふ [dzanifu] 【形】憎い。  
 さにわー [sanivaa] 【名】種付け用の雄豚。  
 さにン [sanim] 【名】月桃。  
 さば [saba] 【名】鮫。  
 さば [saba] 【名】草履。  
 さばキ [sabaki] 【動1: さばき、さばかん】尋ねる、訊く。  
 さばに [sabani] 【名】くり船。  
 さびー [sabiɪ] 【副】けろっとした。  
 さびす [sabiɯsɪ] 【形】さびしい。  
 さびたり [sabiɯtari] 【名】けろっとしている。  
 さま伊 [samaɪ] 【文1: さまい、さまん、さまち】お...になる、尊敬語の派生接尾  
 辞。クラス2動詞に付く。例文: みーさま伊（ご覧になる）。  
 さま伊 [samaɪ] 【動1: さまり、さまらん】冷める。  
 さま伊 [samaɪ] 【動1: さまい、さまん、さまち】なさる、「する」の尊敬語。  
 さまらす [samarasɪ] 【動1: さまらし、さまらさん】冷ます。  
 さみさみ [samisami] 【擬】ブツブツ。  
 さむい [samui] 【名】遊びの一種。  
 さやふ [sajafu] 【名】大工。連濁形: ざやふ。  
 さら [sara] 【名】皿。連濁形: ざら。  
 ざらーか [dzaraaka] 【名】同士。  
 さらさら [sarasara] 【擬】うそも隠しもない。

さらす [sarasʔ] 【動 1: さらし、さらさん】乾燥させる。  
 さらまた [saramata] 【名】服 (下着) の一種。  
 ざらみキ [dzaramikʔ] 【動 1: ざらみき、ざらみかん】ガタガタする。  
 さらみぐとう [saramigutu] 【副】最高。  
 さり [sari] 【動 2: さり、さるん】乾燥する。  
 さりうぷに [sariupuni] 【名】干し大根。  
 さりっずう [sarizzu] 【名】干魚。  
 さるか [saruka] 【名】サルカケミカン。  
 さんしん [sanein] 【名】三味線。  
 さんみん [sanmin] 【名】① 計算。② 判断、思考。

## —し—

しー [eii] 【文】～で。例文：いちまんえんしーどう　こーたー (一万円で買った)。  
 しー [eii] 【名】海にある岩、珊瑚礁。  
 しーとーやー [eiitoojaa] 【名】製糖屋、製糖を行う場所、家。  
 しーとう [eiitu] 【名】生徒、学生。  
 しーにん [eiinin] 【名】若い男性、青年。  
 しーにん [eiinin] 【名】若い男性、青年。  
 しーにんやー [eiininjaa] 【名】公民館。  
 しーら [eiira] 【名】仕事による痛み。  
 しーらい [eiirai] 【動 2: しーらい、しーろーん】できる。  
 しか [eika] 【文】～しか。  
 しがり [eigari] 【動 2: しがり、しがるん】心配する。  
 しな [eina] 【名】貝の一種。  
 しば [eiba] 【形】狭い。  
 しばな [eibana] 【名】(海辺の) 岩。  
 しびだ [eipida] 【名】ものを聞かない人。  
 しびだ伊 [eipidaʔ] 【動 1: しびだり、しびだらん】締りが無い、だらりと垂れる。  
 しみ [eimi] 【動 2: しみ、しむん】締める、閉める。  
 しみ [eimi] 【動 2: しみ、しむん】攻める。  
 しゃーか [eaaka] 【名】未明。連濁形：じゃーか。  
 じゃーじゃー [dzaadzaa] 【擬】風の吹く様。  
 しゃーぱイ [eaapaʔ] 【動 1: しゃーぱり、しゃーぱらん】喜ぶ。  
 しゃーら [eaara] 【名】畑の石を集めてそれを石積にしたもの。  
 じゃーん [dzaan] 【文】～さえ。例文：つふあがまんじゃーんどう　なイ° (子供にさえできる)。学校からじゃーん　キっかー　ふたきな　ふさかイ° が　いきゅーたー (学校から帰りさえすれば、すぐ草を刈りに行っていた)。  
 じゃーん [dzaan] 【副】もつとも、一番。例文：じゃーん　ぴんざずうーぬどうんまむぬだら (一番ヤギ汁が美味しいんだ)。  
 しゃく [eaku] 【名】① 如く、何々のように。② ほど、程度。  
 じゃじゃっヴあす [dzadzavvasʔ] 【動 1: じゃじゃっヴあし、じゃじゃっヴあさん】邪魔する。  
 じゃっふあじゃっふあ [dzaffadzaffa] 【擬】口で音をたてる様。



しゅー [ɕuu] 【名】 ① 祖父。② 年寄りの男性、翁。  
 じゅーぐや [dzuuguja] 【名】 十五夜（旧暦八月 15 日の夜）。  
 じゅーぐやずき [dzuugujadzɪkɪ] 【名】 十五夜の月。満月。  
 じゅーるくにつ [dzuurukunitsɪ] 【名】 十六日。後生の正月。  
 しゅくぱぎ [ɕukupagi] 【名】 無職。  
 じゅんしゃ [dzunɕa] 【名】 警察、警察官。  
 しょーがつ [ɕoogatsɪ] 【名】 正月。  
 しょーしょー [ɕooɕoo] 【擬】 勢いよく生い茂っている様。  
 じょーず [dzoodzɪ] 【形】 上手。  
 じょーとー [dzootoo] 【形】 上等、素晴らしい。  
 じょーぶん [dzoobun] 【形】 大丈夫。  
 しょじょ [ɕodzo] 【名】 未婚の女性、若い女性。  
 じら [dzira] 【形】 数が多く、予想よりあまっている。  
 しらび [ɕirabi] 【動 2：しらび、しらぶん】 調べる。  
 しわ [ɕiva] 【名】 心配。  
 しん [ɕin] 【名】 線。  
 じん [dzin] 【名】 お金。  
 じん [dzin] 【名】 お膳。  
 しんじ [ɕindzi] 【動 2：しんじ、しんぞうん】 信じる。  
 しんしー [ɕincii] 【名】 先生。  
 じんじん [dzindzin] 【擬】 油が満ち溢れる様。  
 じんふあや [dzinfaja] 【名】 お金をたくさん使う人。  
 じんふくる [dzinfukuru] 【名】 財布。  
 じんぶん [dzinbun] 【名】 分別、才能。  
 じんむちゃ [dzinmutea] 【名】 金持ちな人。  
 じんもーき [dzinmooki] 【名】 金儲け。

## —す—

すー [sɪ] 【名】 お酢。  
 ずー [dzɪ] 【名】 土地。  
 ずー [dzɪ] 【名】 文字。  
 すーす [sɪsɪ] 【名】 (油と対照的に) 肉、赤身。  
 すーすわー [sɪsɪvaa] 【名】 赤身の多い豚。  
 ずーってい [dzɪtti] 【副】 ずっと。  
 ずーどーだみ [dzɪdoodami] 【名】 畑を祈る行事。  
 ずう [dzu] 【感】 さあ。相手を促すときに用いる。  
 すヴ [sɪv] 【名】 冬瓜。  
 すヴ [sɪv] 【形】 酸っぱい。  
 ずヴ [dzɪv] 【名】 芯。  
 すうー [suu] 【名】 潮。  
 すうー [suu] 【名】 野菜。連濁形：ずうー。  
 すうー [suu] 【名】 (複合語で) 料理の一品。例文：ぬーますうー (馬の料理)。  
 連濁形：ずうー。  
 ずうー [dzuu] 【名】 ① 尻尾。② (芋などの) 端っこ。

- ずうーきしむぬ [dzuukieimunu] 【名】しょっちゅう忘れ物をする人。
- すうーざ [suudza] 【名】うらやましい。
- すうーすうー [suusuu] 【擬】風の吹く様。
- すうーぬどう ぬーイ [suunudu nuu] 【連語】「潮があがる」、津波。
- すうーぷすき なり [suupus<sub>1</sub>ki nari] 【連語】もの欲しそうに。
- すうい [sui] 【動2：そらい、そらいゆん】加える、添える、含む。
- すうイ [su<sub>1</sub>] 【動1：そうり、そうらん】①（髪を）剃る。②（植物を）切る、刈る。
- すういすうい [suisui] 【副】一緒に。
- すういやー [suijaa] 【名】物置。
- すうヴ [suv] 【動1：そうっヴい、そうっヴあん】（平たいもので）打つ。
- すうが [suga] 【文】～が、～けれども。逆接を表す。
- すうがイ [suga<sub>1</sub>] 【動1：そうがり、そうがらん】身なりをきれいにする。
- すうから [sukara] 【形】塩辛い。
- すうからみず [sukaramidz<sub>1</sub>] 【名】塩気のある水。
- すうく [suku] 【名】底。連濁形：ずうく。
- すうざ [sudza] 【名】①兄。②年上の人、先輩。
- すうざっすう [sudzassu] 【名】年上。
- すうす [sus<sub>1</sub>] 【動1：そうし、そうさん】攣る（つる）。
- すうだつ [sudats<sub>1</sub>] 【動1：そうだち、そうだたん】育つ。
- すうだてい [sudati] 【動2：そうだてい、そうだとうん】育てる。
- すうっぱイ [suppa<sub>1</sub>] 【動1：そうっぱり、そうっぱらん】痙攣する。
- すうっふ [suffu] 【動1：そうっふい、そうっふあん】掬う。
- すうでい [sudi] 【名】袖。
- すうていつ [sutits<sub>1</sub>] 【名】蘇鉄（ソテツ）。
- すうば [suba] 【名】側。
- すうば [suba] 【名】蕎麦（そば）。
- すうふ [sufu] 【名】スク、アイゴの稚魚。
- すうふっズう [sufuzzu] 【名】スク魚、アイゴの稚魚。
- すうまい [suma<sub>1</sub>] 【動1：そうまり、そうまらん】染まる。
- すうみ [sumi] 【動2：そうみ、そうむん】染める。
- すうむイ [sumu<sub>1</sub>] 【動1：そうむり、そうむらん】①（卵が）孵化する直前に腐る。②（蒸気によって）濁る。
- すうら [sura] 【名】茎や枝の先端、梢。
- すうらーす [suraas<sub>1</sub>] 【動1：そうらーし、そうらーさん】揃える、集める。
- すうり [suri] 【動2：そうり、そうるん】（男性器が）が元気である。
- ずうり [dzuri] 【名】酌婦、女郎。
- すうるー [suruu] 【動1：そうるい、そうらーん】集まる。連濁形：ずるー。
- すうん [sun] 【名】損。
- すうんたつ [suntats<sub>1</sub>] 【動1：そうんたち、そうんたたん】まっすぐに立つ、直立する。
- すうンばす [sumbas<sub>1</sub>] 【動1：そうンばし、そうンばさん】まっすぐに伸ばす、まっすぐにする。
- すうンビ [sumb<sub>1</sub>] 【動1：そうンび、そうンばん】まっすぐである。
- すがイだく [s<sub>1</sub>ga<sub>1</sub>daku] 【名】蛸の一種。

- すかす [sɪkasɪ] 【動 1：すかし、すかさん】 騙す、口説く。
- すかた [sɪkata] 【形】 汚い、不潔。
- すかたイギ [sɪkataɪgi] 【形】 汚くてみすぼらしい。
- すかま [sɪkama] 【名】 仕事。
- すがま [sɪgama] 【名】 洲鎌集落。
- すき [sɪki] 【動 2：すき、すくん】 供える。
- すキ [sɪkɪ] 【名】 鋤（すき）。
- すキ [sɪkɪ] 【動 1：すき、すかん】（鋤を入れて）耕す。
- すキ [sɪkɪ] 【動 1：すき、すかん】 好く。主に「すかん」（好かない、好きでない）の形で用いられる。例文：うぬ ピとうーばー すかん（この人が好きじゃない）。
- すぎ [sɪgi] 【動 2：すぎ、すぐん】 過ぎる。
- すキー [sɪkɪɪ] 【名】 ナマコ。
- ずきな [dzɪkɪna] 【名】 逆様。例文：さかんかい ずきなー しー（逆様に）。
- すきもーき [sɪkimooki] 【動 2：すきもーき、すきもーくん】（神様に）供える。
- すきゃーす [sɪkjaasɪ] 【動 1：すきゃーし、すきゃーさん】 散らかす。
- すきゃーり [sɪkjaari] 【動 2：すきゃーり、すきゃーるん】 散らかる。
- すきゃき [sɪkjaki] 【動 2：すきゃき、すきゃくん】 しかける、始める、とりかかる。
- すぐ [sɪgu] 【副】 すぐ。
- ずぐーる [dzɪguuru] 【名】 独楽。
- すくつな [sɪkutsɪna] 【名】 粗末に扱うこと。
- すぐとう [sɪgutɔ] 【名】 仕事。
- すぐとうばぎ [sɪgutɔpagi] 【名】 無職。
- すぐまい [sɪgumaɪ] 【動 1：すぐまり、すぐまらん】 しぼむ。
- すぐり [sɪguri] 【動 2：すぐり、すぐるん】 優れる、優秀である。
- すぐりむぬ [sɪgurimunu] 【名】 優秀な人、よくできる人。
- すこーい [sɪkooɪ] 【動 1：すこーり、すこーらん】（飯を）準備する。
- すず [sɪdzɪ] 【名】 茎。
- すず [sɪdzɪ] 【名】 粒。
- すずがに [sɪdzɪgani] 【名】 番線。
- すずみ [sɪdzɪmi] 【動 2：すずみ、すずむん】 片付ける。
- すずン [sɪdzɪm] 【動 1：すずみ、すずまん】 沈む。
- すた [sɪta] 【名】 下。
- すだ [sɪda] 【名】 舌。
- すだーす [sɪdaasɪ] 【形】 涼しい。例文：すだーすかじがま（涼しい風）。
- すたーら [sɪtaara] 【名】 下、下の方。
- すたさ [sɪtasa] 【名】 舅（しゅうと）。
- すたず [sɪtadzɪ] 【名】 酔の物。
- すただい [sɪtadaɪ] 【名】 耳朶。
- すたばー [sɪtabaa] 【名】（サトウキビの）下部の葉っぱ。
- すたン [sɪtam] 【動 1：すたみ、すたまん】（液体を）残りなく捨てる。
- すつみ [sɪtsɪmi] 【名】 弁え。
- すてい [sɪti] 【動 2：すてい、すとうん】 捨てる。
- すでい [sɪdi] 【動 2：すでい、すどうん】 ① 孵化する。② 脱皮する。
- すでいがら [sɪdigara] 【名】 抜け殻。

- すでいぐー [sɯdiguu] 【名】 抜け殻。  
 すでいぐる [sɯdiguru] 【名】 抜け殻。  
 すていざん [sɯtidzam] 【名】 放置、放棄。  
 すでいんー [sɯdimm] 【名】 腐った、水っぽい、食べられない芋。  
 すとうがつ [sɯtugatsɯ] 【名】 お盆 (盂蘭盆)。  
 すとうに [sɯtuni] 【動 2: すとうに、すとうぬん】 地面に叩き付ける。  
 すとうま [sɯtuma] 【名】 姑 (しゅうとめ)。  
 すとうむてい [sɯtumuti] 【名】 朝。  
 すとうり [sɯturi] 【動 2: すとうり、すとうるん】 水気がある、湿る。  
 すな [sɯna] 【名】 仕草、品格、気立て。  
 すなーかす [sɯnaakasɯ] 【動 1: すなーかし、すなーかさん】 黙る。  
 すなーす [sɯnaasɯ] 【動 1: すなーし、すなーさん】 合わせる、揃える。  
 すなかぎ [sɯnakagi] 【形】 行儀が良い、上品。  
 すなす [sɯnasɯ] 【動 1: すなし、すなさん】 殺す。  
 ずなん [dzɯnan] 【名】 次男。  
 すなんずぎ [sɯnandzɯgi] 【形】 行儀が悪い、下品。  
 すぬい [sɯnuɯ] 【名】 モズク。  
 すのー [sɯnoo] 【動 1: すない、すなーん】 (しっくり) 合う。  
 すば [sɯba] 【名】 唇。  
 すび [sɯbɯ] 【動 1: すび、すばん】 鼻を取る、鼻をかむ。  
 すびー [sɯbɯɯ] 【動 1: すびり、すびらん】 滑る。  
 すびし [sɯpici] 【動 2: すびし、すびそうん】 耳遠い、耳が聞こえない。  
 すびしや [sɯpiea] 【名】 耳が聞こえない人、耳が遠い人、つんぼ。  
 すびす [sɯpisɯ] 【動 1: すびし、すびさん】 吸う。  
 すぴに [sɯpɯni] 【形】 (肉が) 硬い、噛みにくい。(ネジ、蓋が) 硬直している。  
 すぷ [sɯpu] 【形】 湿っぽい、湿った。  
 すぷい [sɯbuɯ] 【動 1: すぷり、すぷらん】 搾る (しぼる)。  
 すぷぎ [sɯpugɯ] 【名】 帯、ベルト。  
 すぷたい [sɯputaɯ] 【形】 ① 湿っぽい、濡れた。② (格好が) だらしない、不潔。  
 すぷらす [sɯburasɯ] 【動 1: すぷらし、すぷらさん】 搾らせる。  
 すぷん [sɯbum] 【動 1: すぷみ、すぷまん】 しぼむ。  
 すま [sɯma] 【名】 ① 国。② 村、集落。③ 島。連濁形: ずま。  
 すま [sɯma] 【名】 相撲。  
 すまい [sɯmai] 【動 2: すまい、すまいゆん】 終わる、終了する。  
 すまい [sɯmaɯ] 【動 1: すまり、すまらん】 縛る。  
 すまとうりや [sɯmaturja] 【名】 相撲取り、力士。  
 すまふつ [sɯmafutsɯ] 【名】 方言。  
 ずまみ [dzɯmami] 【名】 落花生、ピーナツ。  
 すまんな [sɯmammna] 【連語】 村中、村挙って。  
 すみ [sɯmi] 【文 2: すみ、すむん】 ~させる。動詞に付き使役形を形成する。例文: いたすみ (出させる)。とうみすみ (探させる)。  
 すみ [sɯmi] 【動 2: すみ、すむん】 させる。例文: ういんな うんてんぬばー すみんなよ (彼には運転をさせないでください)。  
 ずみ [dzɯmi] 【形】 素晴らしい。最高。気持ちいい。  
 すみゃー [sɯmjaa] 【名】 (月の) 末。

すん [sɯn] 【形】 浸みる。

すん [sɯn] 【動変型：すに、すなん、すにる】 死ぬ。連濁形：ずん。

すん [sɯm] 【名】 ① 墨。② 勉強、学問。

すん [sɯm] 【名】 炭。

すん [sɯm] 【動 1：すみ、すまん】 済む、終わる。

すんいっヴい [sɯnivvi] 【動 2：すんいっヴい、すんいっヴうん】 死ぬほど怖がる。

すんだーら [sɯmdaara] 【名】 炭俵。

すんな [sɯmna] 【名】 ねぎ。

すんびゅー [sɯmbjuu] 【動 1：すんびゅーい、すんびゅーん】 泥酔する、ひどく酔っ払う。

—そ—

そー [soo] 【名】 竿。

ぞー [dzoo] 【名】 門。

ぞー [dzoo] 【形】 良い。

そーか [sooka] 【名】 生姜（しょうが）

そーき [sooki] 【名】 （野菜や芋などを入れる）籠の一種。連濁形：ぞーき。

ぞーぎ [dzoogi] 【形】 外見がいい、綺麗。

そーきぶに [sookibuni] 【名】 肋骨。

そーず [soodzɿ] 【名】 掃除。

ぞーふつ [dzoofutsɿ] 【名】 （屋敷の）入口。

そーみん [soomin] 【名】 素麺。

そーみんぶっていらー [soominbuttiraa] 【名】 素麺チャンプル。

—た—

た [ta] 【文】 ～たい。動詞に付き、願望を表す。例文：ゆっぱイ° すったーぬ（おしっこしたい）。

たー [taa] 【文】 ～達。複数を表す。例文：っヴあたー（君達）。しんしーたー（先生達）。

たー [taa] 【文】 ～た。過去を表す。例文：キなー インかいどう いきたー（昨日海に行った）。

たー [taa] 【名】 田、田んぼ。

たー [taa] 【名】 誰。主格・属格の助詞「～が」としか用いられない。例文：うりゃー たーが むぬ やりゃー？（これは誰のものなの？）。たーがが キったりゃー？（誰が来たの？）。

たーイ [taaɿ] 【助数】 ～人、～名。人を数える助数詞。

たーら [taara] 【名】 俵。連濁形：だーら。

たーり [taari] 【動 2：たーり、たーるん】 熟睡する。

たーんな [taamna] 【名】 蝸牛の一種。

だい [dai] 【名】 値段。金額。例文：ぶーぎだい（サトウキビの金額）。

たい [taɿ] 【名】 松明（たいまつ）。

たい [taɿ] 【擬】 フニヤっと。

だいず [daidzɿ] 【形】 ① 重要、大事。② 大変。

- だいでい [daɪdaɪ] 【擬】 疲れる。
- たいつき [taitsɯki] 【動 2：たいつき、たいつくん】 叩きつける。
- だいはん [daiban] 【形】 大きい。
- たヴ [tav] 【動 1：たっヴい、たっヴあん】 手繰る。
- だヴ [dav] 【形】 多い。
- たヴきゃー [tavkjaa] 【名】 一人、独り。
- たヴきゃーむぬ [tavkjaamunu] 【名】 独身。
- たヴきゃっヴあ [tavkjavva] 【名】 一人っ子。
- たか [taka] 【名】 鷗（さしば）。連濁形：だか。
- たか [taka] 【形】 高い。連濁形：だか。
- たかさ つす [takasa ssɯ] 【連語 1：たかさっし、たかさっさん】（人を）大切に  
する、可愛がる。
- たかじん [takadzin] 【名】 高善。お膳の一種。
- たかだい [takadai] 【形】（値段が）高い、高価。
- たかばた [takabata] 【名】 高機、機織機。
- たかび [takabi] 【動 2：たかび、たかぶん】 崇拜する。
- たから [takara] 【名】 宝。
- たかんな [takamna] 【名】 高瀬貝。
- たき [taki] 【名】 竹。
- たき [taki] 【名】 ① 丈、身長。② 身分、位。③ 所為（せい）。
- だき [daki] 【文】（名詞と複合語をなし）～のように。現在は生産的ではない。  
例文：なだんき（涙のように）。
- だき [daki] 【文】（動詞に付き）～するほど。例文：ふあーいだき ふあい（食  
べられるほど食べなさい）。
- たき [takɯ] 【動 1：たき、たかん】 ① 焚く。② 炊く。
- だき [dakɯ] 【動 1：だき、だかん】 抱く。
- たきがす [takɯgasɯ] 【名】 豚の油を溶かして保存用に固まらせて蓄えたもの。
- たきぶら [takibura] 【名】 竹の笛。
- たく [taku] 【名】 蛸（たこ）。
- たぐ [tagu] 【名】（液体を入れる）容器の一種。
- だす [dasɯ] 【形】 味がある。
- たすき [tasɯki] 【動 2：たすき、たすくん】 助ける、（神が）加護する。
- だずま [dadzɯma] 【名】 ①（服の）しわ。②（肌の）しわ。
- だだ [dada] 【擬】 落ちる様。
- たたき [tatakɯ] 【動 1：たたき、たたかん】 叩く。
- だだだだ [dadadada] 【擬】（涙が）ポロポロ。
- たたつき [tatatsɯkɯ] 【名】 来月。
- だだみかす [dadamikasɯ] 【動 1：だだみかし、だだみかさん】 落とす。
- たちよー [tateoo] 【名】 仏壇に（お茶を）供えること。
- たつ [tatsɯ] 【名】（家畜の）小屋。
- たつ [tatsɯ] 【名】 辰（たつ）。
- たつ [tatsɯ] 【動 1：たち、たたん】（刃が）鋭い、よく切れる。
- たつ [tatsɯ] 【動 1：たち、たたん】 立つ。
- たつがい [tatsɯgaɪ] 【動 1：たつがり、たつがらん】（火が）熾る。
- たつぎ [tatsɯgi] 【動 2：たつぎ、たつぐん】（火を）熾す。

- たつビー [tatsɯbɯ] 【名】 座る姿勢と立つ姿勢の間の姿勢。  
だっふあだっふあ [daffadaffa] 【擬】 上下に動く様。  
たてい [tati] 【動 2：たてい、たとうん】 まぜる、かきまぜる。  
たてい [tati] 【動 2：たてい、たとうん】 立てる。  
だでいふ [dadifu] 【名】 木の種類。  
たてやーす [tatjaasɯ] 【動 1：たてやーし、たてやーさん】 (液体を) 混ぜる。  
たとうい [tatui] 【動 2：たとうい、たとういゆん】 例える、喩える。  
たなイ [tanaɯ] 【形】 様になっている。上手。例文：たなっズあ にやーん (様になっていない。体裁悪い)。  
たなにー [tananii] 【名】 洲鎌にある集落名。  
たに [tani] 【名】 ① 種、種子。② 睾丸、金玉。連濁形：だに。  
たにく [taniku] 【名】 塊。  
たぬん [tanum] 【動 1：たぬみ、たぬまん】 頼む、依頼する。  
たばイ [tabaɯ] 【動 1：たばり、たばらん】 くっ付く。  
たばイ [tabaɯ] 【動 1：たばり、たばらん】 束ねる。  
たぼくぶん [tabakubun] 【名】 煙管を吸うためのタバコキット。  
たビ [tabɯ] 【名】 ① 旅、旅行。② 島を出ること。  
たぷギ [tapugɯ] 【動 1：たぷぎ、たぷがん】 たたむ。  
たま [tama] 【名】 分。連濁形：だま。  
たま [tama] 【名】 ① 玉。② 弾丸。  
だまがいイ [damagaiɯ] 【動 1：だまがいり、だまがいらん】 困る。  
だまがいらす [damagairasɯ] 【動 1：だまがいらし、だまがいらん】 困らせる。  
たます [tamasɯ] 【名】 魂。  
たまつき [tamatsɯkɯ] 【動 1：たまつき、たまつかん】 癲癇 (てんかん) する。  
たまつきや [tamatsɯkja] 【名】 癲癇者 (てんかんしゃ)。  
たまな [tamana] 【名】 キャベツ。  
たまん [taman] 【名】 魚の種類 (ふえふき)。  
たみ [tami] 【名】 矯め。健康、土地、家などを祈る行事。連濁形：だみ。  
たみ [tami] 【名】 (～の) ため。  
たみ [tami] 【動 2：たみ、たむん】 ① 落ち着く。② (耳を) 澄ます、構える。  
連濁形：だみ。  
だみ [dami] 【形】 だめ。  
たみーたみ [tamiitami] 【副】 慎重に。  
たむぬ [tamunu] 【名】 薪。連濁形：だむぬ。  
たや [taja] 【名】 力。  
たやばーき [tajabaaki] 【連語】 力一杯。  
たやむぬ [tajamunu] 【名】 力持ち。  
だら [dara] 【文】 ① ～のだ、主張を強調する。例文：うりやー ンまむぬだら (これは美味しい) ② (質問の場合は) ～でしょう。例文：うりやー ンまむぬだら (これは美味しいでしょう)。  
たらイ [taraɯ] 【名】 盥。  
だらか [daraka] 【名】 嘘。  
たらき [taraki] 【名】 世代、年齢が近い人。  
だらす [darasɯ] 【動 1：だらし、だらさん】 がっかりさせる。  
だらっさ [darassa] 【終】 ～でしょう。例文：あざがどう すうざっすうだらっさ

(おにいさんの方が年上でしょう)。

だらふ [darafu] 【名】嘘。

たらま [tarama] 【名】多良間、多良間島。

たらまずま [taramadzɪma] 【名】多良間島。

たり [tari] 【動2：たり、たるん】酒を造る、酒造する。

たり [tari] 【動2：たり、たるん】垂れる。

だり [dari] 【動2：だり、だるん】疲れる。

だり [dari] 【動2：だり、だるん】がっかりする。

だりかヴ [darikav] 【動1：だりかっヴい、だりかっヴあん】疲れはてる、困憊する。

だるかげった [darukagetta] 【名】怠け者。

たろー [taroo] 【動1：たらい、たらーん】足りる、十分である。

だんかー [dankaa] 【名】相談。

だんぎだんぎ [danɡɪdanɡɪ] 【擬】凸凹である様。

だんくらビー [danʔkurabɪ] 【名】お尻をべったと地面につけた座り方。

たんでい [tandi] 【名】詫び、謝罪。

たんでいがーたんでい [tandigaatandi] 【副】ありがとう。

たんでい つす [tandi ssɪ] 【連語】謝る。謝罪する。

#### —ち—

ちー [teii] 【感】さあ。相手を促すときに用いる。

ちーがー [teiiɡaa] 【名】聾啞者（ろうあしゃ）。

ちきなー [teikinaa] 【名】野菜の漬物。

ちくちく [teikutsiku] 【感】犬を呼ぶときに用いる。

ちごー [teigoo] 【動1：ちがい、ちがーん】違う。

ちび [teibi] 【名】① 後ろ。② びり、最後。③ 尻。

ちびたい [teibitaɪ] 【名】尻。

ちびるん [teibirum] 【名】肛門。

ちびるんぎやふ [teibirundzajafu] 【名】下手くそな大工。

ちびるんどうす [teibirumdusɪ] 【名】とても親しい友達。

ちゃー [teaa] 【名】お茶。

ちゃー [teaa] 【副】しょっちゅう、ずっと。

ちゃーか [teaaka] 【文】～だけ、～のみ、～しか。例文：ういちゃーかがみやー  
どうーしー すうーでい（これだけは自分でやる）。

ちゃーす [teaasɪ] 【動1：ちゃーし、ちゃーさん】① 合わせる、くっ付ける。②  
交尾させる。

ちゃーん [teaan] 【文】～だけ、～のみ、～しか。例文：あざたがちゃーんどう  
かつ（先輩たちしか勝たない）。

ちゃじゃみ [teadzami] 【動2：ちゃじゃみ、ちゃじゃむん】つかまえる。

ちゃなぎ [teanagi] 【動2：ちゃなぎ、ちゃなぐん】作業を一時的にとめる、仕事を途中で手放す。

ちゃばん [teaban] 【名】茶碗、湯のみ。

ちゃんき [teanʔkɪ] 【動1：ちゃんき、ちゃんかん】① 刺す、突き刺す。② 挿入する。



ちゅーか [teuuka] 【名】 急須。  
 ちよーき [teooki] 【名】 (お茶の) つまみ。  
 ちよーく [teooku] 【副】 よく、しっかりと。  
 ちよーちんがー [teooteingaa] 【名】 袋の一種。麻袋。  
 ちよーみん [teoomin] 【名】 帳面。  
 ちりどーすなび [teiridoosɲabi] 【名】 鍋の一種。

## —つ—

つ [tsɯ] 【助数】 ～つ。～個。～才。例文：つヴぁー いふつが やりゃー？ (君はいくつですか?)。  
 つーキ [tsɯkɯ] 【名】 血炒め、豚の血で出来た料理。  
 つーギ [tsɯgɯ] 【名】 (サトウキビなどの、小さくて柔らかい) 棘。  
 つーばす [tsɯbasɯ] 【動 1：つーばし、つーばさん】 交尾させる。  
 つービ [tsɯbɯ] 【動 1：つーび、つーばん】 交尾する。  
 つうー [tsuu] 【形】 強い。連濁形：ずうー。  
 つうーイ [tsuuɯ] 【動 1：つうーり、つうーらん】 強まる、強くなる。  
 つうーばー [tsuubaa] 【名】 強い人。  
 つヴぁ [vva] 【名】 あなた、君、お前。  
 つヴぁた [vvata] 【名】 あなたたち、君たち。  
 つうっふ [tsuffu] 【動 1：つうっふい、つうっふあん】 作る。  
 つうっふイ [tsuffuɯ] 【名】 形、格好。  
 つか [tsɯka] 【形】 近い。  
 っかー [kkaa] 【文】 ～たら。条件を表す。例文：きまイ° っかー っさしよ (決まったら知らせてね)。  
 つかさ [tsɯkasa] 【名】 司、司祭者。  
 つかのー [tsɯkanoo] 【動 1：つかない、つかなーん】 飼う、(家畜を) 養う。  
 つかふ [tsɯkafu] 【名】 近く。  
 つき [tsɯki] 【動 2：つき、つくん】 付ける。  
 つキ [tsɯkɯ] 【名】 ① (天体の) 月。② (暦の) 月、一ヶ月。連濁形：ずキ。  
 つキ [tsɯkɯ] 【動 1：つき、つかん】 付く。  
 つキ [tsɯkɯ] 【動 1：つき、つかん】 着く、到着する。  
 つキ [tsɯkɯ] 【動 1：つき、つかん】 搗く。  
 つぎ [tsɯgi] 【名】 次。  
 つギ [tsɯgɯ] 【動 1：つぎ、つがん】 継ぐ。  
 つギ [tsɯgɯ] 【副】 劣っている、より悪い。  
 つきがなす [tsɯkɯganasɯ] 【名】 お月様。月の敬称。  
 つきしゅー [tsɯkieuu] 【名】 月。  
 つギナイ [tsɯgɯnaɯ] 【動 1：つギなり、つギならん】 悪くなる。  
 つきにゅー [tsɯkinijuu] 【名】 月夜。月が見える夜。  
 つきビー [tsɯkibɯ] 【名】 ニンニクの漬物。  
 つきむぬ [tsɯkimunu] 【名】 漬物。  
 つぎゃ [tsɯgja] 【名】 サシバを捕獲するための小屋。  
 つきゃーす [tsɯkjaasɯ] 【動 1：つきゃーし、つきゃーさん】 衝突する、ぶつかる。  
 つくき [tsɯkuki] 【動 2：つくき、つくくん】 重ねる。

- つぐす [tsɯgusɯ] 【名】膝。
- つこー [tsɯkoo] 【動 1：つかい、つかーん】① 使う、使用する。② 雇う、雇用する。
- つさい [ssai] 【動 2：つさい、つさいゆん】申し上げる、「言う」の謙讓語。
- つさい [ssaɯ] 【名】白蟻。
- つさす [ssasɯ] 【動 1：つさし、つささん】知らせる。
- つさピキ [ssapɯkɯ] 【動 1：つさピキ、つさピかん】引きずる、引っ張る。
- つさり [ssari] 【名】発情。
- つさりむぬ [ssarimunu] 【名】スケベ、変態。
- つさん [ssam] 【名】虱。
- つジ [zɯzi] 【動 2：つジ、つズうん】① 入れる。② 注ぐ。
- つジ [zɯzi] 【動 2：つジ、つズうん】貰う。
- つジがら [zzigara] 【名】入れ髪、添え髪。
- つジむぬ [zzimunu] 【名】入れ物。容器。
- つしゃーす [ɕɕaasɯ] 【動 1：つしゃーし、つしゃーさん】擦る。
- つしゃな [ɕɕana] 【形】汚い。
- つす [tsɯsɯ] 【名】釣り。
- つす [tsɯsɯ] 【名】① 乳。② ミルク、母乳。連濁形：ずー。
- つす [tsɯsɯ] 【動 1：つし、つさん】釣る。
- つす [ssɯ] 【名】巣。
- つす [ssɯ] 【動 1：つし、つさん】知る。
- つす [ssɯ] 【動 1：つし、つさん】擦る。
- つす [ssɯ] 【動変型：しー、そーん】する。
- つず [tsɯdzɯ] 【名】頂上、てっぺん。
- つズあ [zza] 【名】父。
- つズあい [zzaɯ] 【名】胞衣（えな）。
- つズあく [zzaku] 【名】權（かい）。
- つズあす [zzasɯ] 【動 1：つズあし、つズあさん】貸す。
- つズあら [zzara] 【名】鎌（かま）。
- つすう [tsɯsu] 【文】～なんか。強調を表す助詞。例文：つヴあつすうまい（君であろうものが）。
- つすう [ssu] 【形】白い。
- つズう [zɯzɯ] 【名】魚。
- つズうー くい [zzuu kui] 【連語】ゲップする。
- つすうつく [ssutsɯku] 【名】白身。
- つズうぬみー [zzunumii] 【名】皮膚の傷の一種、いぼ。
- つすうん [ssum] 【動 1：つそうみ、つそうまん】白む、白くなる。
- つズおー [zzoo] 【動 1：つズあい、つズあーん】借りる。
- つずキ [tsɯdzɯkɯ] 【動 1：つずき、つずかん】続く。
- つずばぎ [tsɯdzɯpagi] 【名】（頭の上部の）髪の毛が禿げた。
- つすふつ [tsɯsɯfutsɯ] 【名】乳首。
- つすふつつ [ssɯfuttsɯ] 【動 1：つすふつつち、つすふつつあん】こする、擦る。
- つすまキ [ssɯmakɯ] 【動 1：つすまき、つすまかん】鞭打つ、ピシャリと打つ。
- つそーキ [ssookɯ] 【形】広い、ひろっとした。
- つちゃ [ttea] 【文】形容詞の語幹に付き、副詞を作る。例文：ぶがりつちゃどう

うー? (疲れているの?)。

つつあ [ttsa] 【文】～だそうだ。伝聞の助詞。例文：んざがら一んどう しゅーとう んまが うーたーつつあ (どこかにおじいさんとおばあさんが住んでいたそうだ)。

つつかに [tsɯkkani] 【名】釣り針。

つつふや [tsɯffja] 【名】ボラの子。

つつン [tsɯtsɯm] 【動1：つつみ、つつまん】包む。

つつんキ [tsɯtsɯŋkɯ] 【動1：つつんき、つつんかん】あちこちにぶつかる。

つてい [tti] 【文】～て (から)。～し終わって。継起接辞。例文：ふあいっていからどう やーんかい ぴーたー (食べ終わってから家に帰った)。

つとう [tsɯtu] 【名】お土産。贈り物。プレゼント。

つとうイ [tsɯtuɯ] 【名】理由。わけ。根拠。

つな [tsɯna] 【名】綱。連濁形：ずな。

つなすぶギ [tsɯnasɯpugɯ] 【名】綱のベルト。

つぬ [tsɯnu] 【名】角。

つぬがん [tsɯnugan] 【名】ワタリガニ。

つぶ [ffu] 【名】櫛。

つぶ [ffu] 【形】黒い。

つぶ [ffu] 【動1：つぶい、つぶあん】① 噛みつく。食いつく。口に銜える。② (虫が) 刺す。例文：がざんどう つぶあり にやーん (蚊に刺されてしまった)

③ 挟む。

つぶ [ffu] 【動1：つぶい、つぶあん】閉める。例文：やどうー つぶい ふーじやーん? (ドアを閉めてくれない?)。

つぶ [tsɯbu] 【名】要領、要点。

つぶあ [ffa] 【名】子供。連濁形：つヴあ。

つぶあ [ffa] 【形】暗い。

つぶあい [ffai] 【名】堆肥。連濁形：つヴあい。

つぶあがイ [ffagaɯ] 【動1：つぶあがり、つぶあがらん】塞がる。

つぶあギ [ffagɯ] 【動1：つぶあぎ、つぶあがん】塞ぐ (嚴重に) 閉じる。

つぶあす [ffasɯ] 【動1：つぶあし、つぶあさん】銜えさせる。

つぶあつ [ffatsɯ] 【名】鍬。

つぶあなす [ffanasɯ] 【名】出産。お産。

つぶあよーン [ffajoom] 【名】暗闇。

つぶあんまが [ffammaga] 【名】子供と孫。子孫。

つぶい [ffi] 【名】烏賊や蛸の墨。

つぶいたイツキ [ffitaɯtsɯkɯ] 【名】先月。

つぶい ふあーってい すつきや [ffi faatti sɯkkja] 【連語】「噛んで食おうとするほど」。ひどく叱ることのたとえ。

つぶがー [ffugaa] 【名】黒肌。畑仕事で太陽にさらされてなど黒くなっている肌。

つぶざた [ffudzata] 【名】黒砂糖、黒糖。

つぶすんだーら [ffusɯmdaara] 【名】顔などがまっ黒になること。

つぶつくン [ffutsɯkum] 【名】痣 (あざ)。

つぶていんく [ffutiŋku] 【名】煤。

つぶみキ [ffumikɯ] 【動1：つぶみき、つぶみかん】黒ずむ、黒ばむ。

つぶやま [ffjama] 【名】来間。来間島。

つふやまずま [ffjamadzɿma] 【名】 来間島。  
 つふン [tsɿfum] 【動 1：つふみ、つふまん】 痺（しび）れる。  
 つふン [ffum] 【動 1：つふみ、つふまん】 黒くなる、黒ばむ。  
 つまい [tsɿmaɿ] 【動 1：つまり、つまらん】 詰まる。  
 つみ [tsɿmi] 【名】 爪。  
 つみゃー [tsɿmjaa] 【名】 所為。  
 つるどーすなび [tsɿrudoosɿnabi] 【名】 鍋の一種。  
 つン [tsɿm] 【動 1：つみ、つまん】 積む。  
 つんきす [tsɿŋkɿsɿ] 【動 1：つんきし、つんきさん】 ① 抓る（つねる）。②（むしって）取る。  
 つんだらーす [tsɿndaraasɿ] 【形】 可哀そう、哀れ。  
 つんふぐ [tsɿnfugu] 【名】 高千穂の集落名。

## —て—

てい [ti] 【助数】 ～年。年数を数える助数詞。例文：ふたてい（二年）。  
 でい [di] 【文】 ～つもりだ。意志を表す。例文：いかでい（行くよ）。  
 ていー [tii] 【文】 ～と（引用）。例文：ばが なーゆばー ゆぬすていーどう あい（私の名前はユヌスと言います）。  
 ていー [tii] 【名】 手。連濁形：でいー。  
 ていーざ [tiidza] 【感】 人から聞いたことを第三者に伝えるときに用いる。  
 ていーつン [tiitsɿm] 【名】 拳。  
 ていイ [tiɿ] 【動 1：ていり、ていらん】 照る。  
 ていヴ [tiv] 【動 1：ていっヴい、ていっヴあん】 投げる。  
 ていがーら [tigaara] 【名】 塊。  
 ていかていか [tikatika] 【擬】 落ち着きがない。  
 ていがら [tigara] 【名】 自慢。  
 でいき [diki] 【動 2：でいき、でいくん】（作物が）できる。  
 でいきぶつ [dikibutsɿ] 【名】 優秀な人。  
 ていさず [tisadzɿ] 【名】 タオル。  
 ていだ [tida] 【名】 太陽。  
 ていだい [tidai] 【動 2：ていだい、ていだいゆん】（飯などを）おごる。  
 ていっふイ [tiffuɿ] 【名】 釣り糸。  
 ていびー [tibii] 【名】 指笛。  
 ていびゃー [tibjaa] 【形】 手が早い。  
 ていまー [tima] 【名】 給料。連濁形：でいまー。  
 ていらざ [tiradza] 【名】 巻貝。  
 ていん [tin] 【名】 空。連濁形：でいん。  
 ていんく [tiŋku] 【名】 点。  
 ていんぞー [tindzoo] 【名】 天井。  
 ていんばヴ [timbav] 【名】 虹。  
 ていんビー [tinbiɿ] 【名】 女性の自慰行為。  
 ていんまら [tinmara] 【名】 男性の自慰行為。  
 てゃーす [tjaasɿ] 【形】 簡単、容易。

## —と—

とー [too]【名】誰。どなた。例文：うりゅーばー とーからが キキたりゃー？  
（それを誰から聞いたの？）。とーが やらまい° がらやー？（どなたでいらっ  
しゃいますでしょうか？）。連濁形：どー。

とー [too]【感】終わり。例文：ばが ばなっさ とー（私の話は終り）。

どー [doo]【終】～よ。

どーヴ [doov]【名】① 道具。ツール。② 性器。

とーす [toosɿ]【動1：とーし、とーさん】倒す。

とーた [toota]【名】誰ら。

とーっヴあ [toovva]【名】台所。

とーどー [toodoo]【名】誰それ。例文：とーどーぬ あんごー あびり くー（誰  
それのおねえさんと呼んでこい）。

とーとー あらんにゃ [tootoo arannja]【連語】もういいんだ、分かった。

とーふ [toofu]【名】豆腐。連濁形：どーふ。

とーふがなまりゃ [toofuganamarja]【名】中々反応しない人。

とーり [toori]【動2：とーり、とーるん】倒れる。

どーり [doori]【文】～ようだ。

どーり [doori]【名】道理。

とう [tu]【文】～と（一緒に）。例文：ばんとう まーつき（私と一緒に）。

どう [du]【文】～ぞ。焦点助詞。例文：ゆぬっさ あらん、かまどうがどう つ  
くいゆばー やっヴあすたーどー（ユヌスではなくて、カマドが机を壊したよ）。

とうー [tuu]【数】十。

どうー [duu]【名】自分。自身。

どうー [duu]【名】体。

とうーイ [tuuɿ]【動1：とうーり、とうーらん】通る。

どうーかってい [duukatti]【名】自分勝手。

とうーき [tuuki]【動2：とうーき、とうーくん】貫く、貫通する。

とうーし [tuuci]【副】しょっちゅう。

とうーず [tuudzɿ]【名】（手や顔を）洗うこと。

とうーずがに [tuudzɿgani]【名】洗面器。

どうーた [duuta]【名】（聞き手を含んだ）私たち。一人称包括複数形。例文：ど  
うーたが ふたーい° しー すー（自分たち二人でやろう）。

とうーつき [tuutsɿki]【動2：とうーつき、とうーつくん】言い聞かせる、指示す  
る、命令する。

とうーぬピとう [tuunupɿtu]【名】十人。十名。

とうーふかす [tuufukasɿ]【動1：とうーふかし、とうーふかさん】貫ける。突き  
通す。

とうーふき [tuufuki]【動2：とうーふき、とうーふくん】貫く。突き通る。

どうーぶに [duubuni]【名】体の骨。

どうーむー [duumuu]【名】① 思い込み。② 片思い。

どうーりゃ [duurja]【接尾】ある時間帯に対して不適切、予想外である。例文：  
ゆなかどうーりゃ ぶーぎぬ ばーゆ かキ ピとうまいどうーいー（こんな夜  
中に砂糖黍の葉っぱを取る人もいるのかね）。

どうーんーぎ [duunngi]【形】自分らしい。

- とうい [tui] 【名】 干支。連濁形：どうい。  
 とうい [tuɪ] 【名】 ① 鳥。② 鶏。連濁形：どうい。  
 とうい [tuɪ] 【名】 酉（とり）。連濁形：どうい。  
 とうい [tuɪ] 【動 1：とうり、とうらん】 取る、捕る、獲る、撮る。  
 とういみー [tuɪmii] 【名】 夕方になると目が見えないこと。  
 とうか [tuka] 【文】 ～とか。  
 とうがー [dugaa] 【形】 恥ずかしい。  
 とうかす [tukasɪ] 【動 1：とうかし、とうかさん】 溶かす。  
 とうかな [tukana] 【名】 所、場所。連濁形：どうかな。  
 とうき [tuki] 【動 2：とうき、とうくん】 溶ける。  
 とうキ [tukɪ] 【名】 時。  
 とうキ [tukɪ] 【名】 占い師。  
 とうギ [tugɪ] 【動 1：とうぎ、とうがん】 研ぐ。  
 とうきや [tukja] 【名】 時。連濁形：どうきや。  
 どうきや [dukja] 【名】 肌が非常に白く変化している病気。  
 とうぎや [tugja] 【名】 棘、尖がっているもの。  
 とうぎや [tugja] 【形】 尖っている。  
 とうぎやうっすう [tugjaussu] 【名】 後頭部が尖っている人。  
 とうぎやふつ [tugjafutsɪ] 【名】 (ニッパーみたいに) 尖がっている道具。  
 とうくる [tukuru] 【名】 屋敷内にある、屋敷の神様を祭る所。  
 とうくる [tukuru] 【名】 所。連濁形：どうくる。  
 とうす [tusɪ] 【名】 ① 年。② 年齢。連濁形：どうす。  
 どうす [dusɪ] 【名】 友達、友人。  
 とうず [tudzɪ] 【名】 妻。  
 とうすぬかず [tusɪnukadzɪ] 【副】 年々。  
 とうすびや [tusɪpja] 【名】 宮古島の葡萄。  
 とうずみ [tudzɪmi] 【名】 終了、終わり。  
 とうずみ [tudzɪmi] 【動 2：とうずみ、とうずむん】 終わる、終了する。  
 どうっふあどうっふあ [duffaduffa] 【擬】 重い足で歩く音。  
 とうとうヴ [tutuv] 【動 1：とうとうっヴい、とうとうっヴあん】 (激しく) 揺れる。  
 とうどうキ [tudukɪ] 【動 1：とうどうき、とうどうかん】 届く。  
 とうとうみ [tutumi] 【文】 まで (特定の慣用句に限る)。例文：ばたとうとうみ (端まで)。  
 とうとうみキ [tutumikɪ] 【動 1：とうとうみき、とうとうみかん】 胸がドキドキする様。  
 とうない [tunaɪ] 【名】 隣。連濁形：どうない。  
 とうなか [tunaka] 【名】 卵。  
 とうなら [tunara] 【名】 草の一種、秋の野芥子。  
 とうぬがす [tunugasɪ] 【動 1：とうぬがし、とうぬがさん】 急がせる。  
 とうぬギ [tunugɪ] 【動 1：とうぬぎ、とうぬがん】 急ぐ。  
 とうぬばイ [tunubaɪ] 【動 1：とうぬばり、とうぬばらん】 ぼうっとする、ぼんやりする。  
 とうぬばりや [tunubarja] 【名】 ぼうっとする人。  
 とうばキ [tubakɪ] 【名】 (唾液を) 吐くこと。

- とうばす [tubasɿ]【動 1:とうばし、とうばさん】① 走る。② 飛ばせる。③ (車などを) 飛ばす、早く走らせる。
- とうび [tubɿ]【動 1:とうび、とうばん】① 飛ぶ。② 汗が大量に出る。
- とうびょー [tubjoo]【動 1:とうびゃい、とうびゃーん】出会う、すれ違う。
- どうふき [dufuki]【名】梯梧(でいご)。
- とうまい [tumaɿ]【動 1:とうまり、とうまらん】止まる。
- どうまっヴい [dumavvi]【動 2:どうまっヴい、どうまっヴうん】戸惑う、混乱する。
- とうまらす [tumarasɿ]【動 1:とうまらし、とうまらさん】止まらせる。
- とうみ [tumi]【動 2:とうみ、とうむん】止める。
- とうみ [tumi]【動 2:とうみ、とうむん】探す、見つける。
- どうみ [dumi]【動 2:どうみ、どうむん】① ぶつける。② 殴る。
- とうみあだてい [tumiadati]【副】あちこち回って探す。
- とうむい [tumuɿ]【名】友利集落。
- とうゆます [tujumasɿ]【動 1:とうゆまし、とうゆまさん】響かせる、轟かす(とどろかす)、でかす。
- とうゆん [tujum]【動 1:とうゆみ、とうゆまん】名の知れた、有名。
- とうら [tura]【名】寅(とら)。
- とうらす [turasɿ]【動 1:とうらし、とうらさん】① やる、渡す、与える。② 取らせる、取ってもらう。「とうい」(取る)の使役形。③ 動詞の中止形に続き、第三者の受益を表す。
- とうらぬば [turanupa]【名】東方。
- とうり [turi]【動 2:とうり、とうるん】静まる、凪ぐ。
- とうりピグイ [turipɿguɿ]【名】冬の時期に風がなくて冷たいこと。
- どうる [duru]【名】泥。
- どうるだり [durudari]【連語】泥だらけ、泥まみれ。例文:うぬ しゅーや いっまい どうるだりどう まーりゅー(このおじいさんはいつも泥だらけでまわっている)
- とうるん [turum]【動 1:とうるみ、とうるまん】止まる。
- どうん [dum]【文】～さえ。
- どうんが [dungga]【文】～さえ。
- とうんがら [tuŋgara]【名】(女性の)同級生。
- とうんじ [tundzi]【名】冬至。
- どうんま [dumma]【文】～さえ。
- とうんまーい [tummaaɿ]【動 1:とうんまーり、とうんまーらん】① 引き返す。② 振り向く。

## —な—

- な [na]【文】～するな。禁止を表す。例文:たかかいば うりゅーばー こーな (高いので、それを買うな)。
- な [na]【文】～か。諾否疑問文の終助詞。例文:あんしーな? (そうなの?)。
- なー [naa]【文】～つつ。
- なー [naa]【文】節内の句に付き、節が表しているイベントが、一度ではなく、何度も起こることや、ある期間にとって特徴的であることを示す。

- な一 [naa] 【名】 名前、名称。  
 な一 [naa] 【名】 自分。主に三人称に用いられる。  
 な一 [naa] 【名】 菜 (な)。  
 な一 [naa] 【名】 (物と物を繋ぐための) 紐、縄。  
 な一た [naata] 【名】 自分ら。主に三人称に用いられる。  
 な一ふいーよーい [naafijooɪ] 【名】 新生児に名前をつける祝い。  
 な一ます [naamasɪ] 【名】 縄を張っての境界、仕切り。  
 ない [nai] 【名】 地震。  
 ない [nai] 【動 2: ない、ないゆん】 萎える。  
 ない [naɪ] 【名】 果実。  
 ない [naɪ] 【動 1: なり、ならん】 鳴る。  
 ない [naɪ] 【動 1: なり、ならん】 ① 成る。例文: しんしーんどう なりゆー (先生になっている)。② できる。可能である。例文: ばぬんな ならん (私にはできない)。③ (時間が) 経つ、経過する。例文: ピとうつき ならんきや (一ヶ月経たないうちに)。  
 ないい [naiɪ] 【動 1: ないり、ないらん】 捻挫する。  
 ないぎ [naɪgɪ] 【動 1: ないぎ、ないがん】 びっこを引く。  
 ないぎむぬ [naɪgɪmunu] 【名】 ぶっこを引く人。  
 ないだ [naɪda] 【名】 肉垂れ。  
 ない° だま [naɪdama] 【名】 凧のうなり。紙の凧につけるもので、風を受けると音が鳴るもの。  
 ないらす [nairasɪ] 【動 1: ないらし、ないらさん】 捻挫する。  
 なか [naka] 【名】 中。  
 なが [naga] 【形】 長い。  
 なかーい [nakaai] 【動 1: なかーり、なかーらん】 分配する、配る。  
 ながうっすう [nagaussu] 【名】 後頭部が尖った。  
 なかす [nakasɪ] 【動 1: なかし、なかさん】 泣かせる。  
 ながす [nagasɪ] 【動 1: ながし、ながさん】 流す。  
 なかずヴ [nakadzɪv] 【名】 芯。  
 なかち [nakatei] 【名】 陰核、クリトリス。  
 ながつあ [nagatsa] 【名】 翌日、次の日。  
 なかゆくー [nakajukuu] 【名】 休憩、一休み。  
 なから [nakara] 【形】 半分。  
 ながり [nagari] 【動 2: ながり、ながるん】 流れる。  
 ながりーぬかー [nagariinukaa] 【名】 川、河川。  
 ながんぬつむぬ [nagannutsɪmunu] 【名】 その噂をすればちよūd現れる人。  
 なき [nakɪ] 【動 1: なき、なかん】 ① 泣く。② 鳴く。  
 なぎ [nagi] 【文】 ~辺り。  
 なぎ [nagi] 【名】 長さ。  
 なぎ [nagi] 【動 2: なぎ、なぐん】 投げる。  
 なぎ [nagɪ] 【動 1: なぎ、ながん】 ① 薙 (な) ぐ、横に払って切る。② (サトウキビなどを) 収穫する。  
 なぎな [nagina] 【文】 ~ごと、~のまま。例文: かーなぎな ふあい (皮ごとに食べなさい)。  
 なぎゃーふ [nagjaafu] 【副】 長い間、長く。



- なす [nasɿ] 【動 1：なし、なさん】 ① 産む。② 成す。
- なすあんな [nasɿanna] 【名】 実母、産みの母。
- なずうー [nadzuu] 【形】 頑丈。
- なすうや [nasɿuja] 【名】 実父。
- なすきしゃ [nasɿkica] 【名】 末っ子。
- なすっふあ [nasɿffa] 【名】 実子。
- なすんま [nasɿmma] 【名】 実母、産みの母。
- なだ [nada] 【名】 涙。
- なだんだき [nadandaki] 【副】 涙並み、ごく少量に。
- なつ [natsɿ] 【名】 夏。
- なつき [natsɿki] 【名】 ついで。
- なてい [nati] 【接尾】 ～になって。時の表現に付き、「～前」を表す。ただし、提示されている数字から一を引く。例えば「四カ年になって」は「三年前」のことを指す。例文：ミーていなてい（一昨年）。ゆーていなてい（三年前）。ゆーかなてい（三日前）。
- なでい [nadi] 【動 2：なでい、などうん】 撫でる。
- なな [nana] 【数】 七。
- ななつ [nanatsɿ] 【名】 七つ。
- ななぬピとう [nananupɿtu] 【名】 七人、七名。
- なば [naba] 【名】 垢。
- なばだり [nabadari] 【連語】 垢まみれ。例文：うぬ つふあー いつーまい なばだりどう まーりゆー（この子はいつも垢まみれにまわっている）
- なび [nabi] 【名】 鍋。
- なび [nabɿ] 【形】 滑りやすい。
- なびがーな [nabigaana] 【名】 蟬の一種、クマゼミ。
- なびぱんびん [nabipambin] 【名】（宮古島の）クレープの一種。
- なびゃーら [nabjaara] 【名】 ヘチマ。
- なふさ [nafusa] 【名】 砂利、石粉。
- なふさんつ [nafusamtsɿ] 【名】 砂利道。
- なま [nama] 【接頭】 形容詞に付き、程度の低いことを表す。動詞に付き、動作の不完全なることを表す。例文：なまゆーぬがま（ちょこっと重い）。なまピぐる（中途半端に冷たい）。なまにー（十分に煮ていない煮方）。
- なま [nama] 【名】 生（なま）。
- なまじゃーか [namadzaaka] 【名】 夜明け前、未明、「しゃーか」より早い時間帯を指す。
- なます [namasɿ] 【名】 刺身。
- なまだん [namadan] 【形】 怠け、怠慢。
- なまだんむぬ [namadanmunu] 【名】 怠け者。
- なら [nara] 【名】 自分。主に三人称に用いられる。
- ならーす [naraasɿ] 【動 1：ならーし、ならーさん】 教える。
- ならーすっふあ [naraasɿffa] 【名】 教え子、弟子。
- ならす [narasɿ] 【動 1：ならし、ならさん】 鳴らす。
- ならび [narabɿ] 【動 1：ならび、ならばん】 並ぶ。
- なり [nari] 【動 2：なり、なるん】 慣れる、経験がある。
- なるー [naroo] 【動 1：ならい、ならーん】 習う、勉強する。

なン [nam] 【名】 波。  
 なン [nam] 【動 1: なみ、なまん】 舐める。  
 なんギ [naŋgɪ] 【名】 苦勞。  
 なんくる [naŋkuru] 【副】 所詮。  
 なんこー [naŋkoo] 【名】 かぼちゃ。  
 なんずう [nandzu] 【副】 (否定文において) あまり。  
 なンつき [namtsɪkɪ] 【名】 焦げ、焦げ付くこと。  
 なンます [nammasɪ] 【動 1: なンまし、なンまさん】 舐めさせる。  
 なンミ [nammɪ] 【動 1: なンみ、なンまん】 舐める。

## —に—

にー [nii] 【名】 子 (ね)。  
 にー [nii] 【名】 荷。  
 にー [nii] 【名】 ① 根、根っこ。  
 にー [nii] 【動 2: にー、にゅーん】 煮る、料理する。  
 にーか [niika] 【副】 遅い時間に、遅く。  
 にーとうとうみ [niitutumi] 【連語】 根っこまで、根一杯。  
 にーにヴ [niiniv] 【名】 居眠り。  
 にーばイ [niibaɪ] 【名】 (張っている) 根っこ。  
 にヴ [niv] 【形】 遅い。  
 にヴ [niv] 【動 1: にっヴい、にっヴあん】 寝る。  
 にヴさり [nivsari] 【動 2: にヴさり、にヴさるん】 (食べ物) が腐る。  
 にヴた [nivta] 【形】 眠たい。  
 にヴだる [nivdaru] 【名】 寝てばかりいる人。  
 にヴゆっばイ [nivjuppaɪ] 【名】 寝小便。  
 にがーす [nigaasɪ] 【動 1: にがーし、にがーさん】 祈祷させる、祈願させる。  
 にごー [nigoo] 【名】 妾、愛人。  
 にごー [nigoo] 【名】 シャコガイ。  
 にごー [nigoo] 【動 1: にがい、にがーん】 祈る、祈願する。  
 にじ [nidzi] 【動 2: にじ、にぞうん】 我慢する、堪える。  
 にす [nisɪ] 【名】 北。  
 にすやー [nisɪjaa] 【名】 北隣の家。  
 につ [nitsɪ] 【名】 (病気による) 熱。  
 にっヴあす [nivvasɪ] 【動 1: にっヴあし、にっヴあさん】 寝かせる。  
 にぬば [ninupa] 【名】 北方。  
 にぬばぶす [ninupabusɪ] 【名】 北極星。  
 にばんがーな [nibangaana] 【名】 蟬の一種。  
 にびし [nibiei] 【名】 岩盤。  
 にぶた [nibuta] 【名】 できもの。  
 にぶり [niburi] 【名】 夢遊病。  
 にやーイ [njaaɪ] 【動 1: にやーり、にやーらん】 (手を) 差し出す、差し伸べる。  
 にやーび [njaabi] 【名】 真似。  
 にやーん [njaan] 【動変型: にやーだな、にやーん】 (動詞の中止形に付き) ~してしまった。例文: こーうんきぬどう ぬすうまり にやーんゆー (耕運機が盗

まれてしまったよ)。

にゃーん [njaan] 【動変型：にゃーだな、にゃーん】 ない。「ある」の否定形。例文：ちゃーや にゃーん (お茶がない)。じんな の一まい にゃーん (お金が全くない)。

にゃーん [njaan] 【副】 ～のように。～の通りに。ぼが あい° がにゃーん しーる (私の言うとおりにしなさい)。

によー [njoo] 【形】 ～ようだ。～らしい。「によーかん」の形で使われることが多い。例文：とーがらーがどう キったーによーかん (誰かが来たらしい)。

にん [nin] 【名】 趣味。

にんキ [niŋkɪ] 【名】 年忌。

にんぎん [niŋgin] 【名】 人間、人。

にんずう [nindzu] 【名】 人員、メンバー。

—ぬ—

ぬ [nu] 【文】 ～が、～の。例文：うりゃー うとうとうぬ むぬ (これは弟のものだ)。ういピとうぬどう あい° きゅー (お年寄りが歩いている)。

ぬー [nuu] 【名】 野、野原。

ぬー [nuu] 【動1：ぬい、なーん】 縫う。

ぬーイ [nuuɪ] 【動1：ぬーり、ぬーらん】 ① 上がる、登る。② 乗る、搭乗する、掲載される。

ぬーし [nuuci] 【動2：ぬーし、ぬーそうん】 のせる。

ぬーま [nuuma] 【名】 馬。

ぬーまずうー [nuumadzuu] 【名】 馬の料理、馬肉。

ぬイ [nuɪ] 【動1：ぬり、ぬらん】 塗る。

ぬか [nuka] 【形】 ゆっくり、慌てず。

ぬが [nuga] 【文】 ～か、～のか (諾否疑問文の終助詞)。例文：あんしーぬ ンみずまんど うーぬが? (こんなちっちゃい島にいるの?)。

ぬがす [nugasɪ] 【動1：ぬがし、ぬがさん】 追い越させる。

ぬギ [nugɪ] 【動1：ぬぎ、ぬがん】 追い越す。

ぬきゃー [nukjaa] 【文】 ～達。～など。複数を表す。例文：ピとうぬきゃー (人たち)。さきぬきゃー (酒など)。

ぬくイ [nukuɪ] 【動1：ぬくり、ぬくらん】 残る。

ぬくギ [nukugɪ] 【名】 鋸 (のこぎり)。

ぬくす [nukusɪ] 【名】 残し。

ぬくす [nukusɪ] 【動1：ぬくし、ぬくさん】 残す。

ぬざキ [nudzakɪ] 【名】 久松。

ぬす [nusɪ] 【名】 主、所有者。

ぬずうン [nudzum] 【動1：ぬぞうみ、ぬぞうまん】 ① 愛する。② 好む、好きである、愛と恋の混じった感情を表す。

ぬすとう [nusɪtu] 【名】 泥棒。

ぬすン [nusɪm] 【動1：ぬすみ、ぬすまん】 盗む。

ぬっジゅー [nuzzuu] 【名】 (裁縫用の) 糸。

ぬっふい [nuffi] 【動2：ぬっふい、ぬっふん】 (穴や見えないところに) 入れる、挿入する。

ぬどう [nudu] 【名】 喉。  
 ぬどうぶに [nudubuni] 【名】 喉仏。  
 ぬぬ [nunu] 【名】 布。  
 ぬばり [nubari] 【名】 野原。  
 ぬビー [nubɿɿ] 【名】 野蒜 (のびる)。  
 ぬビー [nubɿɿ] 【副】 ねばねば。  
 ぬふ [nufu] 【形】 暖かい。  
 ぬぶい [nubui] 【名】 首。  
 ぬぶしゃがい [nubueagaɿ] 【動 1: ぬぶしゃがり、ぬぶしゃがらん】 (首筋が前面に渡り) 凝る。  
 ぬぶす [nubusɿ] 【動 1: ぬぶし、ぬぶさん】 (肩や首すじ) 凝る。  
 ぬふん [nufum] 【動 1: ぬふみ、ぬふまん】 温まる。  
 ぬます [numasɿ] 【動 1: ぬまし、ぬまさん】 飲ませる。  
 ぬン [num] 【名】 蚤。  
 ぬン [num] 【動 1: ぬみ、ぬまん】 飲む、呑み込む。  
 ぬンふおー [numfoo] 【名】 飲食。

## —の—

のー [noo] 【名】 何。例文：うりゃー のーりゃー？ (これは何ですか?)。のーゆが こーたりゃー？ (何を買ったの?)。  
 のー [noo] 【形】 ~ようだ。~らしい。「のーかん」の形で使われることが多い。例文：とーがらーがどう キったーのーかん (誰かが来たらしい)。  
 のー [noo] 【動 1: ない、なーん】 縋う。  
 のーイ [nooɿ] 【動 1: のーり、のーらん】 ① 治る。② 直る。③ (作物が) よくできる。④ (世が) 豊穰になる、繁昌する。  
 のーしー [noosii] 【副】 どう。どうやって。例文：のーしーが すうーでい？ (どうしよう?)。のーしー やたりゃー？ (どうだったの?)。かりゃー のーしーぬ ピとう やりゃー？ (彼はどんな人なの?)。  
 のーしゃー [noocaa] 【副】 なぜ。例文：のーしゃー かりゃー くーんにゃー？ (彼は何で来ないの?)。  
 のーしゃーが やっかー [noocaaɿ jakkaa] 【連語】 何でかというに。  
 のーす [noosɿ] 【動 1: のーし、のーさん】 ① 治す、治療する。② 直す、修理する。  
 のーっふあにゃーん [nooffanjaan] 【連語】 大したことではない。  
 のーていー [nootii] 【副】 なぜ。例文：のーていーが くーったりゃー？ (なんで来なかったの?)。  
 のーていーにゃーん [nootiinjaan] 【連語】 とんでもない。相手が述べたことを否定するときを使う。  
 のーどうい [noodui] 【連語】 何干支。  
 のーぬきゃー [noonukjaa] 【名】 何ら、何など。  
 のーばん いきゃばん [noobam ikjabam] 【連語】 いずれにせよ。  
 のーやらばん いきゃやらばん [noojarabam ikजारabam] 【連語】 いずれにせよ。

## —は—

ば [ba] 【文】 ~ので。理由を表す。例文：たかかいば かーるん（高いので、買えない）。

ば [ba] 【文】 ~たら（~起こった）。次に続く文においては主語が変わる。例文：かぎゅー えーってい まーらしばどう どあぬ あきたー（鍵をこう回したらドアが開いた）。

ばー [baa] 【文】 ~は（目的語の助詞の後に限る）。例文：かりゅーばー っしどぅー？（あの人は知っている？）。

ばー [baa] 【文】 ~たいものだなあ。願望を表す。例文：みゃーくぬ ンつつうばー よーんなー あいき ふーばーていーどう うむいゅー（宮古島の道をゆっくり歩いてくれたらなあと思っている）。

ばー [baa] 【名】 訳、理由、意味。

ばー [baa] 【名】 湾。

ばー [baa] 【名】 場合、時。

ぱー [paa] 【名】 葉、葉っぱ。連濁形：ばー。

ぱー [paa] 【名】 刃。

ぱー [paa] 【名】 歯。連濁形：ばー。

ぱーがら [paagara] 【名】 枯葉。

ぱーき [baaki] 【名】 籠の一種。

ぱーす [baasɿ] 【名】 場合、時。

ぱーす [paasɿ] 【動 1：ぱーし、ぱーさん】 生やす。

ぱーすーす [paasɿsɿ] 【名】 歯茎。

ぱーだむぬ [paadamunu] 【名】 火を燃やすための葉っぱ。

ぱーっふ [baaffu] 【動 1：ぱーっふい、ぱーっふあん】 からかう。揶揄（やゆ）する。

ぱーどうい [paaduɿ] 【動 1：ぱーどうり、ぱーどうらん】 這う。

ぱーやー [paajaa] 【名】 歯医者。

ぱーんとう [paantu] 【名】 化け物、人間ではないもの。

ぱーんま [paamma] 【名】 年を取ったおばあさん。

はい [hai] 【感】 呼びかけや次の話を始めるときなどに用いる感動詞。

ばい [bai] 【動 2：ばい、ばいゆん】（水などで）割る。薄める。液体を混ぜる。例文：うぬ さきゃー ばいらいどうー？（この酒は薄めてある？）。

ばい [pai] 【名】 南。

ばい [pai] 【動 2：ばい、ばいゆん】 映える、似合う。

ばい [pai] 【動 2：ばい、ばいゆん】 生える。

ばい [baɿ] 【形】 悪い。

ばい [baɿ] 【動 1：ばり、ばらん】 割る。

ばい [paɿ] 【名】 蠅（ハエ）。連濁形：ばい。

ばい [paɿ] 【動 1：ばり、ばらん】 張る。

ばい [paɿ] 【動 1：ぱっジ、ぱっズあん】 入る。

ばいがさ [paɿgasa] 【名】（白くてネバネバする）虫の一種。

ばいかじ [paikadzi] 【名】 風の種類、南風。

ばいでい [paɿdi] 【名】 ① 出ること、出かけること。② 分家。

ばいでい [paɿdi] 【動 2：ばいでい、ばいどうん】 出る、出かける。

ばいでいっヴあ [paɿdivva] 【名】 分家の子。

- ばいぬやー [painujaa] 【名】南隣の家。
- ばいふつ [paɪfutsɪ] 【名】入口。
- ばヴ [pav] 【名】蛇。連濁形：ばヴ。
- ばか [baka] 【形】若い。
- ばか [paka] 【名】墓。
- ばかーイ [bakaaɪ] 【文】～ぐらい。例文：うすきばかーイ。しー じょーぶん？  
(これぐらいで大丈夫?)。くじばかーイ。ん くーでい(九時ぐらいに来るよ)。
- ばかーらす [bakaarasɪ] 【動1：ばかーらし、ばかーらさん】別れさせる。
- ばかーり [bakaari] 【動2：ばかーり、ばかーるん】別れる、別離する。
- ばかイ [pakaɪ] 【動1：ばかり、ばからん】計る。
- ばかギズあ [bakagɪza] 【名】キシノウエトカゲ。
- ばかす [bakasɪ] 【形】おかしく面白い。
- ばかす [bakasɪ] 【動1：ばかし、ばかさん】発酵させる。
- ばがす [pagasɪ] 【動1：ばがし、ばがさん】剥がす。
- ばかすき [bakasɪki] 【形】変、一風変わった。
- ばがま [pagama] 【名】羽釜。
- ばかむぬ [bakamunu] 【名】若者。
- ばき [baki] 【動2：ばき、ばくん】分ける。
- ばキ [bakɪ] 【動1：ばき、ばかん】木を鋸などで加工する。
- ばキ [bakɪ] 【動1：ばき、ばかん】① 発酵する。② (水が)湧きでる。
- ばぎ [pagi] 【動2：ばぎ、ばぐん】① 禿げる。② 剥げる。③ (籤で)はずれる。
- ばギ [pagɪ] 【名】足。
- ばキだ [bakɪda] 【名】脇。
- ばキだっふギ [bakɪdaffugɪ] 【名】腋毛。
- ばキでい [pakɪdi] 【動2：ばキでい、ばキどうん】吐く。
- ばギビズあ [pagɪbɪza] 【名】くるぶしぼね以下の部分。
- ぱく [paku] 【名】箱。連濁形：ぱく。
- ばこー [bakoo] 【動1：ばかい、ばかーん】奪う。
- ばごー [pagoo] 【形】怖い。
- ばこーみゃー [bakoomjaa] 【名】奪いやっこ、奪い合い。
- ばさなイ [basanaɪ] 【名】芭蕉の実、バナナ。
- ぱさん [pasam] 【名】鋏。
- ぱさん [pasam] 【動1：ぱさみ、ぱさまん】挟む。
- ばし [baɕi] 【名】間。
- ばしや [baɕa] 【名】馬車。
- ばじゃみキ [badzamikɪ] 【動1：ばじゃみき、ばじゃみかん】さわぐ?。
- ぱす [pasɪ] 【名】橋。
- ぱず [padzɪ] 【文】たぶん...であろう、～はず。例文：ういピとう やいば っしゅーがまたぱず(お年寄りなので、たぶん知っているだろう)。
- ぱずかす [padzɪkasɪ] 【形】恥かしい。
- ぱすこー [pasɪkoo] 【形】チクチクと痒い。
- ぱずまい [padzɪmaɪ] 【動1：ぱずまり、ぱずまらん】始まる。
- ぱずみ [padzɪmi] 【名】始め。最初。
- ぱずみ [padzɪmi] 【動2：ぱずみ、ぱずむん】① 始める。② 動詞に付き「～し始める」を表す。例文：んにゃ ふおーぱずみどうー(もう食べ始めている)。

- ばそーばギ [basoopagɿ] 【名】足のむくみ。
- ばた [bata] 【名】① 腹。② 腸、内臓。
- ばた [pata] 【名】(グラス、器などの) 縁、端。
- ばだ [pada] 【名】① 肌、皮膚。② 健康状態、よい状態。
- ばだ [pada] 【名】時、時期。例文：やらびばだ (子供の時)。
- ばだ [pada] 【形】① 元気である、健康的な状態にいる。② 動詞の基本形に付き「～心地がよい」を表す。例文：にヴばだーぬ ほてる (寝心地の良いホテル)。
- ばだー にゃーん [padaa njaan] 【連語】体調が悪い。
- ばたイ [bataɿ] 【動 1：ばたり、ばたらん】渡る。
- ばだか [padaka] 【名】肌が見えている状態。
- ばたかイ [patakaɿ] 【動 1：ばたかり、ばたからん】広げる。
- ばたごー [batagoo] 【形】(たくさん食べて) お腹がきつい。
- ばたつ [patatsɿ] 【名】二十歳。
- ばたとうとうみ [patatutumi] 【連語】端まで。なみなみと、溢れるまでに。
- ばたばイ [batapaɿ] 【動 1：ばたぱり、ばたぱらん】(あまりにも食べたので) お腹が張る。
- ばたふさり [batafusari] 【動 2：ばたふさり、ばたふさるん】腹が立つ、怒る。
- ばたふつじん [batafutsɿdzin] 【名】臍線りがね。
- ばたぶに [batabuni] 【名】お腹の筋肉。
- ばだら [padara] 【名】魚の一種。
- ばたらかす [patarakasɿ] 【動 1：ばたらかし、ばたらかさん】働かせる。
- ばたらキ [patarakɿ] 【形】勤勉である、働き者である。例文：みゃーくピたー あていどう ばたらキかー (宮古島の人はととても勤勉だ)。
- ばたらキ [patarakɿ] 【動 1：ばたらき、ばたらかん】働く。
- ばたらキむぬ [patarakɿmunu] 【名】働き者。
- ばたんつ [batamtsɿ] 【動 1：ばたんち、ばたんたん】お腹がいっぱいになる、満腹になる。
- ばつ [batsɿ] 【名】罰。
- ばつ [patsɿ] 【接頭】初。
- ばつ [patsɿ] 【名】蜂。
- ばつあキない [patsɿakɿnai] 【名】新年になって初めての商売。
- ばつか [patsɿka] 【名】二十日。
- ばつかす [patsɿkasɿ] 【動 1：ばつかし、ばつかさん】爆発させる。
- ばつき [patsɿki] 【動 2：ばつき、ばつくん】① 爆発する、破裂する。② (銃などで) 撃つ。
- ばっし [baeɕi] 【動 2：ばっし、ばっそうん】忘れる。
- ばっズあす [pazzasɿ] 【動 1：ばっズあし、ばっズあさん】入らせる。
- ばっちゃキ [patteakɿ] 【動 1：ばっちゃき、ばっちゃかん】損ねる。動詞に付き「～し損ねる」、「～する機会を逃す」。例文：ぴんぎずうーゆどう ふおーばっちゃき にゃーん (ヤギ汁を食べる機会を逃してしまった)。
- ばつつ [pattsɿ] 【動 1：ばっち、ばつつあん】脱ぐ。
- ばつつおー [battsoo] 【動 1：ばつつあい、ばつつあーん】(魚、ヤギなどを) さばく。
- ばっばい [bappai] 【動 2：ばっばい、ばっばいゆん】① 失敗する、間違える。② 勘違いする。

- ぱつぱつ [patsʃpatsʃ] 【擬】ものが張って裂けそうな様。
- ぱてい [pati] 【名】果て。
- ぱてい [pati] 【動 2：ぱてい、ぱとうん】① 思い切る。命知らずで行動をする。度胸がある。例文：なはんないら、ぱとうだかー うんてんな しーろーん（那覇ではね、度胸を持たなければ運転ができない）。② 動詞に付き「～し果てる」、「完全に…する」。
- ぱていむぬ [patimunu] 【名】度胸がある人、危険を顧みない人。
- ばな [bana] 【名】（サシバの首をひっかける）罨。
- ばな [bana] 【名】頃、時。
- ばな [pana] 【名】花。
- ばな [pana] 【名】鼻。
- ばなじ [panadzi] 【名】① 鼻、「ばな」と同義。② （物の）先。
- ばなす [panasʃ] 【名】話。連濁形：ばなす。
- ばなす [panasʃ] 【動 1：ばなし、ばなさん】放す。
- ばなだイ [panadaɪ] 【名】鼻たらし。
- ばなつす [panatsʃsʃ] 【名】鼻血。
- ばなならす [pananarasʃ] 【動 1：ばなならし、ばなならさん】いびきを立てる。
- ばなピギ [panapigi] 【名】鼻毛。
- ばならす [panarasʃ] 【動 1：ばならし、ばならさん】離す。
- ぱなり [panari] 【動 2：ぱなり、ぱなるん】離れる。
- ぱに [pani] 【名】羽、翼。
- ぱに [pani] 【動 2：ぱに、ぱぬん】跳ねる。
- ぱにがイ [panigaɪ] 【名】鰭（ひれ）。
- ばふ [bafu] 【名】糸巻き、機織の糸を巻く具。
- ばま [pama] 【名】浜、ビーチ。連濁形：ばま。
- ばまい [bamai] 【文】～しても。例文：いかばまい じょーぶんな？（行っても大丈夫なの？）。
- ばまい [pamaɪ] 【動 1：ばまり、ばまらん】頑張る、精を出す。
- ばみかす [bamikasʃ] 【動 1：ばみかし、ばみかさん】大声を出させる。
- ばみキ [bamikʃ] 【動 1：ばみき、ばみかん】大声を出す。
- ばみきや [bamikja] 【名】大声を出す人。
- ぱら [para] 【助数】集落を数える助数詞。
- ぱら [para] 【名】柱。連濁形：ぱら。
- ぱらぱら [barabara] 【擬】ぶくぶく、液体の沸騰している様。
- ぱらます [paramasʃ] 【動 1：ぱらまし、ぱらまさん】妊娠させる。
- ぱらん [baram] 【名】穂。
- ぱらん [param] 【名】卵巣。
- ぱらん [param] 【動 1：ぱらみ、ぱらまん】妊娠する。
- ぱり [bari] 【名】割れ。切り。
- ぱり [bari] 【動 2：ぱり、ぱるん】割れる。
- ぱり [pari] 【名】畑。連濁形：ぱり。
- ぱり [pari] 【動 2：ぱり、ぱるん】晴れる。
- ぱりすぐとう [parisʃgutu] 【名】畑仕事、農業。
- ぱりどうない [paridunaɪ] 【名】畑隣。畑が隣であること。
- ぱりやー [parijaa] 【名】農夫、百姓。



- ぱりんつ [parimtsɿ] 【名】 田舎の道、農道。  
 ばろー [baroo] 【動 1: ばらい、ばらーん】 笑う。  
 ぱろー [paroo] 【動 1: ばらい、ばらーん】 (お金を) 払う。  
 ばん [ban] 【名】 私、一人称の代名詞。  
 ばん [bam] 【文】 ~しても。例文: くーばん ゆぬむぬ? (来ても大丈夫?)。  
 ばん [pam] 【擬】 ① (魚などの) 身が締まっている様。② 皮膚や服が張っている様。  
 ばんず [bandzɿ] 【名】 盛り、最盛期。  
 ばんた [banta] 【名】 (聞き手を除いた) 私たち。一人称除外複数形。  
 ばんた [panta] 【形】 忙しい。  
 ぱんだす [pandasɿ] 【動 1: ぱんだし、ぱんださん】 外す。  
 ばんちら [bantɕira] 【名】 グアバ。  
 ぱんでい [pandi] 【動 2: ぱんでい、ぱんどうん】 外れる。  
 ぱんびん [pambin] 【名】 天ぷら。  
 ぱんぶい [pambuɿ] 【動 1: ぱんぶり、ぱんぶらん】 (硬めのものを) 噛み砕く。  
 ぱんぶら [bambura] 【名】 玩具 (おもちゃ)。  
 ぱんまい [pammai] 【名】 ① 食糧、食べ物。② お弁当。  
 ぱんまがばんま [bammagabamma] 【擬】 パチパチ、火の燃える音。  
 ぱんみかす [pammikɿ] 【動 1: ぱんみかし、ぱんみかさん】 気合を入れてやりでかす。  
 ぱんミキ [pammɿkɿ] 【動 1: ぱんミき、ぱんみかん】 張っている状態にある。

## —ひ—

- ビー [bi] 【名】 亥 (い)。  
 ビー [bi] 【動 1: びじ、ビズあん】 座る。  
 ビー [bi] 【動 1: びり、びらん】 (化粧、おしろいなどを) 塗る。  
 ぴー [pii] 【名】 屁。連濁形: びー。  
 ぴー [pii] 【動 1: びり、びらん】 行く、去る、帰る。  
 ピー [pi] 【名】 ニンニク。連濁形: ビー。  
 ピー [pi] 【名】 針。  
 ピーギ [piŋgi] 【動 1: ピーぎ、ピーがん】 潰す。  
 ピーた一つき [piɿtaatsɿkɿ] 【名】 先月。  
 ピーつき [piɿtsɿkɿ] 【名】 刺青。  
 ピーにー [piɿnii] 【動 1: ピーにり、ピーにらん】 練り潰す。  
 ビービー [biɿbi] 【擬】 すべすべ。  
 ぴーぴしゃ [piɿpɿɕa] 【名】 屁こき屋。  
 ピーみゃー [piɿmjaa] 【名】 駆けっこ。  
 ピカイ [pɿkaɿ] 【名】 光。  
 ピカイ [pɿkaɿ] 【動 1: ピかり、ピからん】 光る、輝く。  
 ピかす [pɿkasɿ] 【動 1: ピかし、ピかさん】 引かせる。  
 ピかず [pɿkadzɿ] 【名】 日、日付。  
 ピかピか [pɿkapɿka] 【擬】 ピカピカ。  
 ピがら [piɿgara] 【名】 陰部の上の部分。  
 ピからす [pɿkarasɿ] 【動 1: ピからし、ピからさん】 光らせる。

- びき [biki] 【名】雄。例文：びきぴんざ (雄ヤギ)。  
 ピキ [pɪki] 【動 2：ピキ、ピくん】空く、穴がある。  
 ビキ [bɪkɪ] 【動 1：ビキ、ピかん】賭け事で勝って賭けられたものを取得する。  
 ピキ [pɪkɪ] 【動 1：ピキ、ピかん】挽く。  
 ピキ [pɪkɪ] 【動 1：ピキ、ピかん】引く。  
 ピキ [pɪkɪ] 【動 1：ピキ、ピかん】穴をあける。  
 ピギ [pɪgi] 【名】① 体毛。② 髭 (ひげ)。  
 ピギ [pɪgi] 【動 1：ピギ、ピがん】削る。  
 ビキー [bɪkiɪ] 【名】(姉妹から見た) 兄弟。  
 びきぐる [bikiguru] 【形】(女性が) 浮気者である。  
 ピキたヴ [pɪkɪtav] 【動 1：ピキたっヴい、ピキたっヴあん】(勢いよく) 引き寄せる。  
 びきだつ [bikidatsɪ] 【名】男性が独身であること。  
 ピギたり [pɪgitari] 【連語】髭垂れ、髭の生やした。  
 びきっヴあ [bikivva] 【名】息子、男の子。  
 びきどうん [bikidum] 【名】① 男の人、男性。② 夫。  
 びきどうんうとうとう [bikidumututu] 【名】弟。  
 びきどうんぐる [bikidumguru] 【形】(女性が) 浮気者である。  
 びきどうんやらび [bikidunjarabi] 【名】男の子、若い男性。  
 ピキにん [pɪkɪnin] 【名】人間と見なされていない人。  
 ピキばー [pɪkibaa] 【名】(穴が開いている) 虫歯。  
 ピキぱイ [pɪkɪpaɪ] 【名】筋 (すじ)。  
 びきぱらん [bikiparam] 【名】しらこ。  
 びきびき [bikibiki] 【副】男っぼい。  
 ビキみゃー [bɪkmjaa] 【名】賭け勝負。  
 ピギむしゃ [pɪgimuea] 【名】毛むくじゃら。  
 びきむぬ [bikimunu] 【名】雄。  
 ピキゃーらす [pɪkjaarasɪ] 【動 1：ピキゃーらし、ピキゃーらさん】まとめる、一緒にする。  
 ピキゃぎ [pɪkjagi] 【動 2：ピキゃぎ、ピキゃぐん】引き上げる。  
 ぴくー [pikuu] 【擬】ふらふら。  
 びぐイ [biguɪ] 【動 1：びぐり、びぐらん】挟 (えぐ) る。  
 ピくピく [pɪkupɪku] 【擬】(肌が) つやつや。  
 ピくみかす [pɪkumikasɪ] 【動 1：ピくみかし、ピくみかさん】つやつやにする。  
 ピくみキ [pɪkumikɪ] 【動 1：ピくみき、ピくみかん】つやつやになる。  
 ピぐらす [pɪgurasɪ] 【動 1：ピぐらし、ピぐらさん】冷たくする、冷やす。  
 ピぐり [pɪguri] 【動 2：ピぐり、ピぐるん】冷たくなる、冷える。  
 ピぐる [pɪguru] 【形】冷たい。  
 びごー [bigoo] 【形】くすぐったい。  
 ピさ [pɪsa] 【名】足の足首以下の部分。連濁形：ビズあ。  
 びざイ [bidzaɪ] 【動 1：びざり、びざらん】重傷する。  
 ピさが [pɪsaga] 【名】裸。例文：ピさがー しーどう まーりゅー (裸でまわっている)。  
 ピさかす [pɪsakasɪ] 【動 1：ピさかし、ピさかさん】凹ませる。  
 ピさきた [pɪsakita] 【名】洗濯板。

- ピさぎなり [pɪsaginari] 【連語】裸で。  
 ピさばんびん [pɪsapambin] 【名】宮古島のクレープ。  
 ピさら [pɪsara] 【名】平良。  
 ぴし [biei] 【動2: ぴし、ぴそうん】据える、設置する。  
 ぴし [piei] 【名】珊瑚礁。  
 ぴし [piei] 【形】寒い。  
 ぴしイ [pieiɪ] 【名】午後三時の休憩。  
 ぴしんな [pieinna] 【名】サザエ。  
 ピす [pɪsɪ] 【名】女性器。  
 ピす [pɪsɪ] 【形】薄い。  
 ピす [pɪsɪ] 【動1: ぴし、ピさん】干る。(潮が) 引く。  
 ピす [pɪsɪ] 【動1: ぴし、ピさん】嚏る。クシャミする。  
 ピす [pɪsɪ] 【動1: ぴし、ピさん】へこむ。  
 ピす [pɪsɪ] 【動1: ぴし、ピさん】放る。(屁を) 出す。  
 ピず [pɪdzɪ] 【名】肘。  
 ピすう [pɪsu] 【形】広い。  
 ピすうー [pɪsuu] 【動1: ピそうい、ピさーん】拾う。  
 ピすうがイ [pɪsugaɪ] 【動1: ピそうがり、ピそうがらん】広がる。  
 ピすうぎ [pɪsugi] 【動2: ピそうぎ、ピそうぐん】広げる。  
 ピずキ [pɪdzɪkɪ] 【名】杼(ひ)、機織の縦糸の間を往復する道具。  
 ピすま [pɪsɪma] 【名】昼、正午あたりの時間。  
 ピすまにヴ [pɪsɪmaniv] 【名】昼寝。  
 ぴた [pita] 【形】下手。  
 ピた [pɪta] 【形】なめらか。  
 ビだ [bɪda] 【形】低い。  
 ピだイ [pɪdaɪ] 【名】左。  
 ピだイていー [pɪdaɪtɪi] 【名】左手。  
 ぴたっふあにゃーん [bitaffanjaan] 【連語】悪くはない。  
 ピだに [pɪdani] 【名】火種。  
 ピだりゃ [pɪdarja] 【名】左利き。  
 ぴつ [pitsɪ] 【名】未(ひつじ)。  
 ビっ [bɪʔ] 【擬】すぐ、ただちに、急に。  
 ぴっヴい [pivvi] 【動2: ぴっヴい、ぴっヴうん】(刃が) 鈍くなる。  
 ビったビった [bɪttabɪtta] 【擬】スベスベである。  
 ぴっちゃ [pittea] 【副】少し。  
 ピでい [pɪdi] 【動2: ピでい、ピどうん】蒸発して水がなくなる。  
 ぴていーつ [pitiitsɪ] 【名】一つ。  
 ピとう [pɪtu] 【数】一。  
 ピとう [pɪtu] 【名】① 人。② 他人。  
 びどう [bidu] 【名】餌。  
 びとうイ [bituɪ] 【動1: びとうり、びとうらん】たくさん食べて飽きる。  
 ピとうイ [pɪtuɪ] 【名】一日。  
 ピとうイがまーす [pɪtuɪgamaasɪ] 【副】一日中。  
 ピとうがーイ [pɪtugaaɪ] 【名】変人。  
 ピとうきゃーん [pɪtukjaan] 【副】一気に。

- ピとうばだ [pɪtupada] 【副】時々。  
 ピとうふつ [pɪtufutsɪ] 【名】一口。  
 ぴどうむりゃ [bidumurja] 【名】釣り針にかかることなく、餌だけを齧る魚のこと。  
 ぴない [pinaɪ] 【動 1 : ぴなり、ぴならん】減る、減少する。  
 ぴならず [pinarasɪ] 【動 1 : ぴならし、ぴならさん】減らす。  
 ぴばき [bibakɪ] 【動 1 : ぴばき、ぴばかん】嘔吐する。  
 ピばり [pɪbari] 【動 2 : ピばり、ピばるん】ひび割れる。  
 ビふー [bɪfuu] 【擬】ふらふら。  
 ビふみキ [bɪfumikɪ] 【動 1 : ビふみき、ビふみかん】ふらふらする。  
 ピぶらす [pɪburasɪ] 【動 1 : ピぶらし、ピぶらさん】(目を)眩(くら)ます。  
 ピぶり [pɪburi] 【動 2 : ピぶり、ピぶるん】(目が)眩(くら)む。  
 ピミキ [pɪmɪkɪ] 【名】喘息、息しにくいこと。  
 びゃー [bjaa] 【文】～かな。諾否疑問文に用いられる。例文：まーんてい キっかまたびゃーやー(本当に来るのかな)。  
 びゃー [pjaa] 【形】早い、速い。連濁形：びゃー。  
 びゃーイ [pjaaɪ] 【名】日差し。連濁形：びゃーイ。  
 びゃーかり [pjaaakari] 【副】速く。  
 びゃーし [pjaaɕi] 【副】(時間が)早く。例文：まいすとうむてい びゃーしどううき(毎朝早く起きる)。  
 びゃーす [pjaaɕɪ] 【動 1 : びゃーし、びゃーさん】囃す、盛り上げる、囃し立てる。  
 びゃーすばい [pjaaɕɪpai] 【慣】煽(おだ)てにのりやすい。  
 びゃーびゃー [pjaaɕɪpjaa] 【副】早く、短期間内。  
 びゃーふつ [pjaaɕɪfutsɪ] 【形】早口。  
 びゃーり [pjaaari] 【名】早魃。  
 びゃーりむぬ [pjaaarimunu] 【名】間食。  
 びゅー [bjuu] 【名】トンボ。  
 びゅー [bjuu] 【動 1 : びゅーい、びゃーん】① (酒に)酔う。② 毒にあたる。  
 びゅーイ [pjuuɪ] 【名】日取り、日選び。  
 びゅーがっさ [bjuuɕassa] 【名】クワズイモ。  
 びゅーっずう [bjuuɕzu] 【名】毒魚。  
 びゅーふさり [bjuuɕfusari] 【動 2 : びゅーふさり、びゅーふさるん】酔っぱらう。  
 びょーすんな [pjooɕɪnna] 【副】たまに。  
 ぴら [pira] 【名】篋(へら)。  
 ぴらキ [birakɪ] 【動 1 : ぴらき、ぴらかん】仰向けになる、倒れる。  
 ぴらす [pirasɪ] 【動 1 : ぴらし、ぴらさん】行かせる。  
 ぴるます [pirumasɪ] 【形】不思議、珍しい。  
 ぴんがす [piŋɕasɪ] 【動 1 : ぴんがし、ぴんがさん】逃す。  
 ぴんぎ [piŋgi] 【動 2 : ぴんぎ、ぴんぐん】逃げる、逃亡する。  
 ぴんくぴんく [piŋkupɪŋku] 【擬】バランスの取れていない状態。  
 ぴんざ [pindza] 【名】ヤギ。  
 ぴんざずうー [pindzadzuu] 【名】ヤギ汁、ヤギの料理、ヤギ肉。  
 ぴんすうー [pinsuu] 【形】貧乏、貧しい。  
 ぴんたがいイ [pintagaiɪ] 【動 1 : ぴんたがいり、ぴんたがいらん】ひっくり返る、

ねじる。

ビんだす [bɪndasɪ] 【動 1: ビんだし、ビんださん】(思いがけず) 出す。

びんだらい [bindarai] 【名】洗面器。

ビんदै [bɪndi] 【動 2: ビんदै、ビんどうん】(思いがけず) 出る。

ぴんな [pinna] 【形】変、不思議。

ピンまピンま [pɪmmapɪmma] 【擬】ぴよんぴよん。

ピンミキ [pinmɪki] 【動 1: ピンミキ、ピンみかん】張っている状態にある。

—ふ—

ふ [fu] 【文】～く。形容詞の語幹に付き、副詞を作る。例文：ばんたが つふあ  
ー いらいふどう なりゆー (うちの子は偉くなっている)。

ふー [fuu] 【名】運。

ぶー [buu] 【名】紐、緒。

ぶー [buu] 【名】苧麻 (ちよま)。

ぷー [puu] 【名】穂。

ぷー [puu] 【名】帆。

ふーイ [fuuɪ] 【動 1: ふーり、ふーらん】震える。

ぷーイ [puuɪ] 【名】五穀の祭り。連濁形：ぶーイ°。

ぷーき [puuki] 【動 2: ぷーき、ぷーくん】はしゃぐ、喜ぶ。

ぶーギ [buugi] 【名】サトウキビ。

ぶーギ [buugi] 【動 1: ぶーぎ、ぶーがん】誘き寄せる。

ぶーギだか [buugɪdaka] 【名】匁として使われるサシバ。

ぶーギぶイ [buugɪbuɪ] 【名】サトウキビ折り。サトウキビの収穫。

ぶーりや [buurja] 【名】同年性。

ふあーす [faasɪ] 【動 1: ふあーし、ふあーさん】① 食わせる、食べ物をあげる。

② (機械に) 差し込む、かみ合わせる。③ ぶつける。

ふあーん ふあーん ななまかイ [faan faan nanamakaɪ] 【慣】「食べない、食べない、七茶碗」小食ぶっついでながらついに大食いをする人。

ふあい [faɪ] 【名】食べること、(主に複合語に使われる)。連濁形：ばイ。

ふあいかたイ [faɪkataɪ] 【動 1: ふあいかたり、ふあいかたらん】① 永遠に話す。

② 悪口を言う、貶す。

ふあいふくり [faɪfukuri] 【動 2: ふあいふくり、ふあいふくるん】好きなものばかりを食べた結果、好みの食べ物しか食べない。

ぶい [bui] 【名】有給労働、出稼ぎ。例文：ぶい すっかどう ぴりゆー (出稼ぎしに行っている)。

ぶい [bui] 【動 2: ぶい、ぶいゆん】吠える。

ぷい [pui] 【名】大きさ、サイズ。

ふイ [fuɪ] 【名】① 豚小屋。② トイレ、お手洗い。

ふイ [fuɪ] 【名】振り、そうであるかのように振舞うこと。例文：っさんふっズあしー (知らない振りをして)。

ふイ [fuɪ] 【形】古い。

ふイ [fuɪ] 【動 1: ふり、ふらん】降る。

ふイ [fuɪ] 【動 1: ふり、ふらん】(手などを) 振る。

ぶイ [buɪ] 【動 1: ぶり、ぶらん】織る。

- ぶイ [buɪ] 【動 1: ぶり、ぶらん】 ① 折る。② (サトウキビを) 倒す。
- ぶイ [buɪ] 【擬】 (否定文で) 一言も (言わない)。
- ぷイ [puɪ] 【動 1: ぷり、ぷらん】 掘る。
- ふいー [fii] 【動 2: ふいー、ふーん】 ① くれる、あげる。② (動詞の中止形に続き) 「～てくれる」を表す。例文: ばぬー んかいが きし ふーじゃーん? (私を迎えに来てくれない?)。
- ぶイぶイ [buɪbuɪ] 【擬】 小言を言う様、ぶつぶつ。
- ぶイみキ [buɪmikɪ] 【動 1: ぶイみき、ぶイみかん】 小言を言う。
- ふイン [fuɪm] 【動 1: ふイみ、ふイまん】 古びる。
- ふおー [foo] 【動 1: ふあい、ふあーん】 ① 食べる。② 消費する、費やす。
- ふおーむぬ [foomunu] 【名】 食べ物。
- ふおーんつあ [foomtsa] 【名】 食べ方。
- ふか [fuka] 【形】 深い。
- ぷか [puka] 【名】 ① 外 (そと)。② 外 (ほか)。
- ぷかぐー [pukaguu] 【名】 沖に接しているリーフ。
- ふかす [fukasɪ] 【動 1: ふかし、ふかさん】 漏らす。
- ふかす [fukasɪ] 【動 1: ふかし、ふかさん】 沸かす、沸騰させる。
- ぷかずま [pukadzɪma] 【名】 他所の集落。
- ぷかつゅあ [pukavva] 【名】 分家の子。
- ふがましや [fugamaɕa] 【名】 短気な人。
- ふがます [fugamasɪ] 【形】 (性格が) うるさい。
- ぷからす [pukarasɪ] 【形】 嬉しい。
- ぷからっさ [pukarassa] 【名】 嬉しさ、喜び。
- ぶがり [bugari] 【形】 疲れた。
- ぶがりの一す [bugarinoosɪ] 【名】 「疲労治し」。一日の仕事が終わった後の祝い。打ち上げ。
- ふき [fuki] 【動 2: ふき、ふくん】 (本当の年齢より) 年配に見える、老ける。
- ふき [fuki] 【動 2: ふき、ふくん】 死ぬ。
- ふき [fuki] 【動 2: ふき、ふくん】 漏れる。
- ぷき [puki] 【名】 埃。連濁形: ぶき。
- ふキ [fukɪ] 【動 1: ふき、ふかん】 沸く、沸騰する。
- ふキ [fukɪ] 【動 1: ふき、ふかん】 (タバコを) 吸う。
- ふキ [fukɪ] 【動 1: ふき、ふかん】 拭う、拭く。
- ふキ [fukɪ] 【動 1: ふき、ふかん】 建てる、建築する。
- ふキ [fukɪ] 【動 1: ふき、ふかん】 吹く。
- ふギ [fugɪ] 【名】 釘。
- ふギ [fugɪ] 【名】 ① 首。② 襟 (えり)。
- ぷギ [pugɪ] 【動 1: ぷぎ、ぷがん】 気に入る、満足する。例文: キむんな ぷが ん (気に入らない)。
- ふきやぎ [fukjagi] 【名】 お萩。
- ふく [fuku] 【名】 肺。
- ぶくー [bukuu] 【形】 不器用。
- ふぐイ [fuguɪ] 【名】 陰囊、睪丸。
- ふくなー [fukunaa] 【名】 春の野芥子。
- ふぐます [fugumasɪ] 【動 1: ふぐまし、ふぐまさん】 凹ませる。

- ふくらす [fukurasɿ] 【動 1：ふくらし、ふくらさん】膨らませる。
- ふくり [fukuri] 【動 2：ふくり、ふくるん】腫（は）れる。
- ふくる [fukuru] 【名】袋。
- ふくン [fukum] 【動 1：ふくみ、ふくまん】（口に）銜える。
- ふぐン [fugum] 【動 1：ふぐみ、ふぐまん】へこむ。
- ふさ [fusa] 【名】草。
- ふさ [fusa] 【形】① 臭い。② 名詞に付き「～の匂いが臭い」。例文：ゆっぱイ°  
ふさーぬ（おしっこ臭い）。
- ぶざ [budza] 【名】おじ。
- ふさかい [fusakaɿ] 【名】草刈。
- ふさがま [fusagama] 【名】（食べ物などに関して）好き嫌いが激しい、選り好み。
- ふさだに [fusadani] 【名】雑草。
- ふさぬンー [fusanumm] 【名】生え損なった芋。
- ふさびキ [fusabɿkɿ] 【名】家畜の草を賭けること。
- ふさびっズう [fusabɿzzu] 【名】魚の一種。
- ふさらす [fusarasɿ] 【動 1：ふさらし、ふさらさん】腐らせる。
- ふさり [fusari] 【動 2：ふさり、ふさるん】腐る。
- ぷさり [pusari] 【動 2：ぷさり、ぷさるん】（日差しに）晒される。
- ふし [fuei] 【名】癖。
- ぷじ [pudzi] 【副】（とにかく）急いで。
- ふしばぬーま [fueibanuuma] 【名】癖のある馬。
- ふしばむぬ [fueibamunu] 【名】癖のある人。
- ぶす [busɿ] 【形】～たい。動詞に付いて「～したい」を表す。例文：いきぶすむぬ（行きたい）。ぴんざずうーゆどう ふおーぶすかー（ヤギが食べたい）。
- ぷす [pusɿ] 【名】星。連濁形：ぶす。
- ぷす [pusɿ] 【形】欲しい。例文：じんぬどう ぷすかー（お金が欲しい）。連濁形：ぶす。
- ぷす [pusɿ] 【動 1：ぷし、ぷさん】干す。
- ふず [fudzɿ] 【名】籤（くじ）。
- ふすう [fusu] 【名】糞。
- ふすうイ [fusuɿ] 【名】① 薬、薬品。② 科学肥料、除草剤、殺虫剤。
- ふすうがなまりや [fusuganamarja] 【名】糞頭。人を罵る言葉。
- ふすうまい [fusumaɿ] 【名】排便。
- ぶすき [busɿki] 【文】～そうだ。例文：さきゅー ぬンぶすきみばな（酒を飲みそうな顔）。
- ふずびキ [fudzɿbɿkɿ] 【名】籤引き。
- ふた [futa] 【数】二。
- ふた [futa] 【名】蓋。
- ぷだ [puda] 【副】約。おおよそ。例文：ぷだ さんじっぷんばかーイ° かかイ°  
がまた（約三十分かかる）。
- ふたーイ [futaai] 【名】二人。
- ぷだーす [pudaasɿ] 【動 1：ぷだーし、ぷだーさん】成長させる。
- ふたーつ [futaatsɿ] 【名】二つ。
- ふたい [futai] 【名】額。
- ふたが [futaga] 【名】双子。

- ふたがさ [futagasa] 【名】 ふたがさ。  
 ふだキ [fudaki] 【動 1: ふだき、ふだかん】 殴る。  
 ふたきな [futakina] 【副】 急に、突然、すぐ。  
 ふだんギ [fudangi] 【名】 抽選。  
 ふち [futei] 【動 2: ふち、ふつうん】 朽ちる。  
 ふちばー [futeibaa] 【名】 虫歯。  
 ふちちゃんた [futeanta] 【名】 粘土状の土。  
 ふつ [futsu] 【名】 向き。例文: イーンかい ふつつあ しー たちゅー (西に向  
 って立っている)。  
 ふつ [futsu] 【名】 ① 口。嘴。② 口、開いているところ。③ 言語。地名に付き  
 「～語」「～方言」を表す。  
 ふつがさ [futsugasa] 【名】 口にできるおでき。  
 ぶったぶった [buttabutta] 【擬】 ぴよんぴよん。  
 ふつちゃーす [futsuteas] 【名】 キス、接吻。  
 ふつちやヴ [futteav] 【動 1: ふつちやっヴい、ふつちやっヴあん】 口がすつきり  
 しない。  
 ふつちやふつちや [futteafuttea] 【擬】 口で音をたてる様。  
 ふつつ [futsutsu] 【動 1: ふつち、ふつつあん】 ほじる、ほじくる。  
 ふつつ [futsutsu] 【動 1: ふつち、ふつつあん】 朽ちる。  
 ぶっていら [buttira] 【名】 チャンプルー (料理の一種)。  
 ふつなギ [futsunagi] 【名】 魚の一種。  
 ふつび [futsubi] 【名】 口にできるおでき。  
 ふつびやー [futsujyaa] 【形】 早口。  
 ぶっふあみかす [buffamikasu] 【動 1: ぶっふあみかし、ぶっふあみかさん】 やぶ  
 る。  
 ぶっふあみキ [buffamik] 【動 1: ぶっふあみき、ぶっふあみかん】 やぶれる。  
 ぶてい [puti] 【名】 傷跡。  
 ぶとう [butu] 【名】 夫。  
 ぶどう [pudu] 【名】 身長。  
 ぶどうい [pudui] 【動 2: ぶどうい、ぶどういゆん】 大きくなる、成長する。  
 ぶどうイ [budui] 【名】 踊り、舞踊。  
 ぶどうイ [budui] 【動 1: ぶどうり、ぶどうらん】 ① 踊る。② 飛び上がる。  
 ふとうてい [fututi] 【動 2: ふとうてい、ふとうとうん】 朽ちる。  
 ぶとうとうイ [bututu] 【名】 一昨日。  
 ぶとうみキ [putumik] 【動 1: ぶとうみき、ぶとうみかん】 ドキドキする。  
 ぶどうらす [buduras] 【動 1: ぶどうらし、ぶどうらさん】 踊らせる。  
 ぶどうんき [budunki] 【動 2: ぶどうんき、ぶどうんくん】 飛び込む。  
 ふなーイ [funaa] 【動 1: ふなーり、ふなーらん】 無くなる。  
 ふなーらす [funaaras] 【動 1: ふなーらし、ふなーらさん】 失くす、紛失する。  
 ふない [funai] 【名】 船酔い。  
 ぶなイ [buna] 【名】 (兄弟から見た) 姉妹。  
 ふなギ [funagi] 【動 1: ふなぎ、ふながん】 (交尾の際) 腰を動かせる。  
 ふに [funi] 【名】 船。  
 ぶに [puni] 【名】 骨。連濁形: ぶに。  
 ふにイ [funi] 【名】 蜜柑。



- ふにんかいよーい [funimkaijooɪ] 【名】「船迎え祝い」。旅に出た人が帰って来たときの祝い。
- ぶば [buba] 【名】おば。
- ぶふ [bufu] 【擬】どすん。
- ふぷかい [fupukaɪ] 【動 1：ふぷかり、ふぷからん】膨らむ、膨張する。
- ふぷからす [fupukarasɪ] 【動 1：ふぷからし、ふぷからさん】膨らす。
- ぶふっち [bufuttei] 【形】ブサイク。
- ふまーい [fumaaɪ] 【動 1：ふまーり、ふまーらん】順番にする。
- ぷみ [pumi] 【動 2：ぷみ、ぷむん】褒める。
- ふゆ [fuju] 【名】冬。
- ふゆー [fujuu] 【形】不真面目。
- ふら [fura] 【名】鞍。
- ぶら [bura] 【名】保良（城辺の集落）。
- ぶら [bura] 【名】① 法螺貝。② 中が空っぽになっている細長いもの。筒。
- ぷらき [purakɪ] 【動 1：ぷらき、ぷらかん】開ける。
- ぷらさい [purasai] 【動 2：ぷらさい、ぷらさいゆん】騙される。
- ぷらさり [purasari] 【動 2：ぷらさり、ぷらさるん】騙される。
- ぶらす [burasɪ] 【動 1：ぶらし、ぶらさん】織らせる。
- ぷらす [purasɪ] 【動 1：ぷらし、ぷらさん】騙す。
- ぶらふきや [burafukja] 【名】ホラ吹き、何もかも誇張する人。
- ぶり [buri] 【動 2：ぶり、ぶるん】折れる。
- ぷり [puri] 【形】バカ。連濁形：ぶり。
- ぷり [puri] 【動 2：ぷり、ぷるん】① 惚れる。② 狂う。発狂する。呆ける。熱狂である。例文：かりゃー ぱちんこぶりむぬ（彼はパチンコにはまっている）。
- ぷりつつあぎ [purittsagi] 【形】あほらしい。
- ぷりばい [puribaɪ] 【名】暴食、食べすぎること。
- ぷりむぬ [purimunu] 【名】馬鹿（な人）。
- ぶりんかす [burinɕasɪ] 【動 1：ぶりんかし、ぶりんかさん】（ドツと）落とす。（沸いた水などに）放り投げる。
- ぶりんき [burinɕki] 【動 2：ぶりんき、ぶりんくん】（ドツと）落ちる。
- ふるしき [furuɕiki] 【名】風呂敷。
- ぶるみき [burumikɪ] 【動 1：ぶるみき、ぶるみかん】液体が沸騰する、人がガヤガヤする。
- ぶん [bun] 【名】お盆。
- ふん [fum] 【動 1：ふみ、ふまん】汲む。
- ふん [fum] 【動 1：ふみ、ふまん】（靴を）履く。
- ふんき [funɕkɪ] 【動 1：ふんき、ふんかん】焦る。
- ふんず [fundzɪ] 【動 1：ふんじ、ふんざん】縛る。
- ぷんだい [pundai] 【名】わがまま、自分勝手。
- ふんたい [fundaɪ] 【動 1：ふんだり、ふんだらん】踏みつける。
- ぷんみき [pummikɪ] 【動 1：ぷんみき、ぷんみかん】温まる、ホカホカする。

— へ —

べー [bee] 【文】～かな。諾否疑問文に用いられる。例文：ういしー じょーぶ

んべーいー? (これで大丈夫かな?)。

べつ [betsɿ] 【形】別。

—ほ—

ぼー [boo] 【名】棒。

ぼー [poo] 【名】(地面に這っている、棘を持つ)植物の一種。

ぼーい [pooɿ] 【動1: ぼーり、ぼーらん】まき散らす、(種などを)蒔く。

ぼーき [pookɿ] 【名】箒。

ぼーき [pookɿ] 【動1: ぼーき、ぼーかん】掃く。

ぼーぎー [poogii] 【名】木の一種。

ぼーし [booei] 【名】帽子。

ぼーちら [booteira] 【形】やんちゃ、乱暴。

ぼちぼち [poteipotai] 【感】犬を呼ぶときに用いる。

—ま—

まーい [maaɿ] 【動1: まーり、まーらん】① 廻る、回転する。② 訪れる、移動する。③ 行動する。

まーがー にゃーん [maagaa njaan] 【連語】誠実性がない。

まーく [maaku] 【形】丸い。

まーじゃがピー [maadzagaɿɿ] 【名】陰火。

まーじゃぬー [maadzanumm] 【名】芋の一種。砂浜にある。

まーす [maasɿ] 【動1: まーし、まーさん】燃やす。

まーすう [maasu] 【名】塩。

まーた [maata] 【名】畑を植え終えた後に設置される人形。

まーだ [maada] 【副】とても。例文: まーだどう ンまかー (とても美味しい)。

まーつき [maatsɿki] 【副】一緒に。

まーに [maani] 【名】棕櫚。

まーばー にゃーん [maabaa njaan] 【連語】仕事ができない。

まーふさがイ [maafusagaɿ] 【動1: まーふさがり、まーふさがらん】塞がる、邪魔である。

まーまーとう [maamaatu] 【副】たくさん。例文: んきゃーんな ぬどうぼーずぬどう まーまーとう とうらいたー (昔はウニがたくさん獲れた)。

まーゆー [maajuu] 【名】料理用の油。

まーらす [maarasɿ] 【動1: まーらし、まーらさん】まわす。

まーる [maaru] 【名】番、順番。

まーん [maan] 【感】そういえば。

まーんがら のーがら [maɱgara noogara] 【連語】本当なのか、なんなのか分からない。

まーんていー [maantii] 【副】本当に。

まい [mai] 【接頭】毎。例文: まいゆー (毎夜)。

まい [mai] 【文】～も。例文: ばんまい いかでい (私も行こう)。

まい [mai] 【名】前。

まい [maɿ] 【名】米。稲。ご飯。

- まイ [maɪ] 【動 1: まり、まらん】排泄する。
- まいがき [maigaki] 【名】馬具の一種。
- まいごす [maɪgoosɪ] 【名】米のお菓子。
- まいすず [maɪsɪdzɪ] 【名】米粒。
- まいにつ [mainitsɪ] 【名】毎日。
- まいぬイ [maɪnuɪ] 【名】(ご飯の) お握り。
- まいふか [maifuka] 【副】① (目下の人に対して) ありがとう。② お利口。(目下の人を) 褒める言葉。
- まいみー [maimii] 【連語】はかどる。例文: うぬ すぐたー まいや みゅーん (この仕事ははかどらない)。
- まいやがびにつ [majagapinitsɪ] 【副】毎日、来る日も来る日も。
- まヴガン [mavgam] 【名】個人の守護神。
- まヴきゃー [mavkjaa] 【名】前、前方、向こう。
- まかイ [makaɪ] 【名】椀。
- まがイ [magaɪ] 【動 1: まがり、まがらん】曲がる。
- まがらす [magarasɪ] 【動 1: まがらし、まがらん】曲げる。
- まき [maki] 【動 2: まき、まくん】① 負ける。② 値引きする。
- まキ [makɪ] 【動 1: まき、まかん】蒔く。
- まキ [makɪ] 【動 1: まき、まかん】巻く。
- まぎ [magi] 【動 2: まぎ、まぐん】曲げる。
- まギ [magɪ] 【動 1: まぎ、まがん】性交する、セックスする。
- まギまギ [magɪmagɪ] 【擬】フニャフニャ。
- まぐ [magu] 【名】容器の一種。
- まくがん [makugan] 【名】ヤシガニ。
- まぐみン [magumim] 【名】内側に反り返った耳。
- まさか [masaga] 【形】正しい。ちゃんとした。例文: まさがんていーぬ すぐと  
う (しっかりとした仕事)。
- まさり [masari] 【副】もっと。ますます。かえって。例文: まさり じょーずん  
なり にゃーん (ますます上手になった)。
- まさりまい [masarimai] 【副】もっと。ますます。かえって。例文: まさりまい  
だみだら (かえってダメだよ)。
- ます [masɪ] 【名】より良い。まし。例文: くいがどう ます (こっちの方がいい)。
- まず [madzɪ] 【副】先ず。
- まずがーていー [madzɪgaatii] 【副】試しに。例文: まずがーていー ぬみ みー  
る (試しに飲んでごらん)。
- ますなが [masɪnaga] 【名】魚の一種。
- まずむぬ [madzɪmunu] 【名】幽霊、妖怪。
- まズン [madzɪm] 【動 1: まずみ、まずまん】積み重ねる。
- また [mata] 【副】又、さらに、その上。
- またす [matasɪ] 【動 1: またし、またさん】待たせる。
- またばい [matabai] 【名】股の間、両腿の間。
- またばし [matabaci] 【名】股の間、両腿の間。
- またンまが [matammaga] 【名】ひ孫。
- まちゃー [matcaa] 【名】雀 (すずめ)。
- まつ [matsɪ] 【名】松。

- まつ [matsʝ] 【動 1: まち、またん】待つ。
- まつがい [matsʝgai] 【副】ご免なさい。例文: まつがいどー (ご免なさい)。
- まつがいが一まつがい [matsʝgaigamatsʝgai] 【副】ご免なさい。
- まつかに [matsʝkani] 【名】マツカニ、人名。松金、真津金とも表記する。
- まつぎー [matsʝgii] 【名】睫毛。
- まつぎー [matsʝgii] 【名】松の木。
- まっち [mattei] 【動 2: まっち、まっつうん】① 混ざる。② 混ぜる。
- まっちゃ [mattea] 【名】店、店舗。
- まつっヴい [matsʝvvi] 【動 2: まつっヴい、まつっヴうん】(糸などが) 絡(から)まる。
- まつふあ [maffa] 【名】枕。
- まつふあっズう [maffazzu] 【名】魚の一種。
- まどう [madu] 【名】窓。
- まどう [madu] 【名】暇。
- まとうみ [matumi] 【動 2: まとうみ、まとうむん】まとめる。
- まない [manai] 【形】素直、大人しい。
- まながいイ [managai] 【動 1: まながいり、まながいらん】転覆する。
- まなた [manata] 【名】蛙の一種。
- まなちや [manatea] 【名】俎板(まないた)。
- まに [mani] 【名】畝(うね)。
- まによー [manjoo] 【動 1: まにゃい、まにゃーん】間に合う。
- まの一き [manooki] 【動 2: まの一き、まの一くん】修理する。
- まぶぐ [mapugu] 【名】魚の一種。
- まぶゆ [mabuju] 【名】魚の一種。
- ままーイ [mamaa] 【名】周囲、付近。
- まみ [mami] 【名】① 豆。② 腎臓。
- まみ [mami] 【動 2: まみ、まむん】ちょびっと(薬などを)塗る。
- まみな [mamina] 【名】モヤシ。
- まやーす [majaas] 【動 1: まやーし、まやーさん】投げて捨てる。
- まやがらす [majagaras] 【動 1: まやがらし、まやがらさん】放り投げる。
- まゆ [maju] 【名】眉毛。
- まゆ [maju] 【名】猫。
- まら [mara] 【名】男性器。
- まらっふぎ [maraffugi] 【名】(男性の)陰毛。
- まる [maru] 【形】短い。
- まるキ [marukʝ] 【動 1: まるき、まるかん】縛る。
- まんじゅー [mandzuu] 【名】パパイヤ。
- まんじゅーぎー [mandzuugii] 【名】パパイヤの木。
- まんだす [mandasʝ] 【動 1: まんだし、まんださん】はみ出す。
- まんでい [mandi] 【動 2: まんでい、まんどうん】飛び出る、はみ出る。
- まんでいばー [mandibaa] 【名】出っ歯。
- まんま [mamma] 【名】拳骨。

- みー [mii] 【名】 目。  
 みー [mii] 【名】 芽。  
 みー [mii] 【名】 中。例文：やまぬ みー (林の中)。  
 みー [mii] 【名】 雌。例文：みーぴんざ (雌ヤギ)。  
 みー [mii] 【名】 穴。  
 みー [mii] 【動 2：みー、みゅーん】 ① 見る。② (人が) 居る。  
 ミー [mɪ] 【数】 三。  
 ミー [mɪ] 【名】 (魚などの) 身。  
 ミー [mɪ] 【形】 新しい。  
 みーぐー [miiguu] 【名】 穴埋め、服の繕い、畑の植え替え。  
 みーぐり [miiguri] 【形】 見にくい、見づらい。  
 みーごー [miigoo] 【形】 見にくい、見づらい。  
 みーだつ [miidatsɪ] 【名】 女性が独身であること。  
 みーちゃぎ [miiteagi] 【形】 見苦しい、みすぼらしい。  
 みーつ [miitsɪ] 【名】 三つ。  
 みーつう [miitsu] 【名】 目に入るゴミ。  
 みーつうむぬ [miitsumunu] 【名】 目の中に入るゴミ。  
 みーつき [miitsɪki] 【動 2：みーつき、みーつくん】 じっと見つめる。  
 ミーていなてい [mɪtinati] 【名】 一昨年。  
 ミーな [mɪna] 【名】 蕘 (にら)。  
 みーにつ [miinitsɪ] 【名】 命日。  
 みーぬかー [miinukaa] 【名】 瞼 (まぶた)。  
 みーぬ ばぎきや [miinu pagikja] 【連語】 「目が剥げるまで」甚だしい努力の譬え。例文：みーぬばぎきや ばたらき (一所懸命働きなさい)。  
 みーぱらん [miiparam] 【名】 卵巣。  
 みーびき [miibiki] 【名】 雌雄同体。  
 ミーぶた [mɪbuta] 【形】 実がふだんより大きい。  
 みーまーイ [miimaaɪ] 【名】 見物。  
 みーまらばー [miimarapaa] 【連語】 「目・男根・歯」老衰の譬え。  
 ミーみゅーとうら [mɪmjutura] 【名】 新婚の夫婦。  
 みーむつつ [miimuttsɪ] 【動 1：みーむっち、みーむつつあん】 老眼になる。  
 みーむぬ [miimunu] 【名】 雌。  
 みーやー [miijaa] 【名】 眼医者。  
 ミーゆみ [mɪjumi] 【名】 新婦、新婚の女性。  
 みが [miga] 【名】 ミガ、女性の名前。  
 みかかす [mikakasɪ] 【動 1：みかかし、みかかさん】 (ちょっとした) 傷を付ける、損害を与える。  
 みかき [mikaki] 【動 2：みかき、みかくん】 傷が付く、欠ける。  
 みがキ [migakɪ] 【動 1：みがき、みがかん】 みがかく。  
 みキ [mikɪ] 【動 1：みき、みかん】 ～めく、擬態語・擬声語に付き動詞を派生させる接辞。例文：ぶイ° みキ (ぶつぶつと言う、小言を言う)。  
 みぐとう [migutu] 【副】 見事。  
 みくふあ [mikufa] 【形】 嫌い、憎い。  
 みくン [mikum] 【名】 見込み。  
 みざーす [midzaasɪ] 【形】 (人が) 明るい。

- みし [miei] 【動 2：みし、みそうん】 見せる。
- みす [misɿ] 【名】 飯。
- みず [midzɿ] 【名】 水。
- みすきな [misɿkina] 【名】 杓文字。
- みた [mita] 【副】 そういえば。
- みたーっヴい [mitaavvi] 【動 2：みたーっヴい、みたーっヴうん】 眩暈（めまい）する、くらくらする。
- ミタが [mɿtaga] 【名】 三つ子。
- みつあーい [mitsaaɿ] 【名】 三人。
- みつふあかつふあ [miffakaffa] 【擬】 適当に、でたらめに。
- みとうぱい [mitupaɿ] 【形】 眩しい。
- みどうん [midum] 【名】 ① 女性。② 妻。
- みどうんぐる [midumguru] 【形】 女誑し。
- みどうんっヴあ [midunvva] 【名】 娘、女の子。
- みどうんぶす [midumbusɿ] 【名】 ヤンキーな女性、不良の女性。
- みどうんぶり [midumburi] 【形】 女誑し。
- みどうんやらび [midunjarabi] 【名】 女の子、若い女性。
- みなか [minaka] 【名】 庭。
- みながま [minagama] 【名】 小指。
- みぱいふくん [mipaɿfukum] 【名】 (口に食べ物をいっぱい) 入れること。
- みばかい [mibakaɿ] 【動 1：みばかり、みばかりん】 ① 面倒を見る、世話する。② (機械を) 整備する。
- みぱぎ [mipagi] 【名】 目が見えないこと、盲目。
- みぱぎざか [mipagidzaka] 【名】 ① ネズミの一種 (ジャコウネズミ)。② 人を罵る言葉。
- みぱぎや [mipagja] 【名】 目の悪いや見えない人。
- みぱな [mipana] 【名】 顔。
- みぱながーむキ [mipanagaamukɿ] 【連語 1：みぱながーむき、みぱながーむかん】 恥をかかせる。
- みぱりや [mibarja] 【名】 魚の一種。
- みみじやー [mimidzaa] 【名】 魚の一種、ヒメフエダイ。
- みゃー [mjaa] 【名】 勝負。例文：ピキみゃー (引く勝負、引き合い勝負)。
- みゃーぎ [mjaagi] 【動 2：みゃーぎ、みゃーぐん】 振り返って見る。
- みゃーく [mjaaku] 【名】 ① 宮古、宮古島、宮古群島。② 世の中、現世。③ 楽しいこと、楽なこと。例文：あんしー うーきやぬ みゃーく (こんなに楽しく)。
- みゃーくーみゃーく [mjaakuumjaaku] 【副】 宮古島風。
- みゃーくずま [mjaakudzɿma] 【名】 宮古島、宮古本島。
- みゃーくピとう [mjaakupɿtu] 【名】 宮古の人、宮古島出身の人。
- みゃーくふつ [mjaakufutsɿ] 【名】 宮古方言、宮古語。
- みゃーぐん [mjaagun] 【名】 宮国。
- みゃーす [mjaasɿ] 【形】 楽。
- みゅーい [mjuuɿ] 【名】 姪、甥。
- みゅーとら [mjuutura] 【名】 夫婦。
- みん [mim] 【名】 耳。

ミン [mim] 【名】茸 (きのこ)。  
 ミンカー [minkaa] 【名】耳が聞こえない人。  
 ミンガミ [mimgami] 【名】取っ手の付いている甕 (かめ)。  
 ミンギ [mimgi] 【動 1: ミンギ、ミンガン】殴る。  
 ミンダイ [mimdaɪ] 【名】耳から出る汁。  
 ミンたっずう [mintazzu] 【名】魚の一種。  
 ミンたま [mintama] 【名】目玉。  
 ミンばに [mimbani] 【名】びんた。

## —む—

むい [mui] 【動 2: むい、むいゆん】燃える。  
 むイ [muɪ] 【接頭】すっかりと。完全に。語頭に付きその意味を強調する。例文：  
 むいばっし (すっかり忘れる)。  
 むイ [muɪ] 【動 1: むり、むらん】挽 (も) ぐ。  
 むイ [muɪ] 【動 1: むり、むらん】子守する。  
 むいぞーき [muɪdzooki] 【名】箕 (み)、(豆用の) 浅い籠。  
 むいっづあ [muɪvva] 【名】子守されている子供。  
 むいとう [muɪtu] 【副】全く。  
 むいぶり [muɪburi] 【名】すっかり惚れてしまうこと。  
 むギ [mugi] 【名】麦。  
 むぎー [mugii] 【形】何事においても無才、無芸。  
 むぎゃーり [mugjaari] 【動 2: むぎゃーり、むぎゃーるん】① 濁る。② お腹の調子が悪い。  
 むく [muku] 【名】婿。  
 むぐイ [muguɪ] 【動 1: むぐり、むぐらん】潜る。  
 むす [musɪ] 【名】虫。  
 むずふイ [mudzɪfuɪ] 【名】作物。  
 むたぎ [mutagi] 【動 2: むたぎ、むたぐん】持ち上げる。  
 むたす [mutasɪ] 【動 1: むたし、むたさん】持たせる。あげる。  
 むつ [mutsɪ] 【名】餅。  
 むつ [mutsɪ] 【名】左官。  
 むつ [mutsɪ] 【動 1: むち、むたん】① 持つ。② 運転する。③ 育てる。  
 むつかす [mutsɪkasɪ] 【形】難しい。  
 むっす [mussɪ] 【動 1: むっし、むっさん】① むしる、むしり取る、ちぎる。② つねる。  
 むっすう [mussu] 【名】筵 (むしろ)。  
 むっちやかイ [mutteakaɪ] 【動 1: むっちやかり、むっちやからん】くっ付く。  
 むっちやむっちや [mutteamuttea] 【擬】べたべた。  
 むつふさ [mutsɪfusa] 【名】草の一種。  
 むてい [muti] 【名】分。例文：うぬ ふさー ぴんざぬ むていどー (この草はヤギの分だよ)。  
 むでい [mudi] 【動 2: むでい、むどうん】ねじる。  
 むでいむぬイ [mudimunuɪ] 【名】振じった言葉。  
 むとう [mutu] 【名】木の株、株を数える助数詞。

- むどうイ [muduɪ] 【動 1: むどうり、むどうらん】 戻る。  
 むどうす [mudusɪ] 【動 1: むどうし、むどうさん】 戻す。  
 むとうビ [mutubɪ] 【名】 野イチゴ。  
 むとうびらい [mutubirai] 【名】 先妻。  
 むぬ [munu] 【文】 ~なのに。例文: じんな にゃーんむぬー! (お金がないのに!)。  
 むぬ [munu] 【名】 ① 物。者。② 食事。ご飯。例文: むぬーばー んなだ ふあーん (食事はまだ食べていない) ③ 動詞や形容詞に付き「~すること」「~するひと」を表す。  
 むぬイ [munuɪ] 【名】 言葉。  
 むぬぐとう [munugutu] 【名】 物事。  
 むぬばなす [munubanasɪ] 【名】 お話。  
 むぬゆみや [munujumja] 【名】 おしゃべりな人。  
 むぬゆン [munujum] 【形】 おしゃべり。  
 むむに [mumuni] 【名】 腿 (もも)。  
 むやい [mujai] 【名】 模合、頼母子講 (相互的な金融組合)。  
 むり [muri] 【動 2: むり、むるん】 漏れる。  
 むろー [muroo] 【動 1: むらい、むらーん】 貰う。  
 むン [mum] 【名】 桃。  
 むン [mum] 【動 1: むみ、むまん】 揉む。  
 むんじやむんじや [mundzamundza] 【擬】 くしゃくしゃ。  
 むンふつつ [mumfuttsɪ] 【動 1: むンふつつち、むンふつつあん】 皺くちやにする。

## —も—

- もーき [mooki] 【動 2: もーき、もーくん】 (金を) 儲ける。  
 もーとう [mootu] 【副】 真っ直ぐ。

## —や—

- やー [jaa] 【数】 八。  
 やー [jaa] 【終】 ~ね。例文: きゅーや ぞーわーつキやー (今日は良い天気ね)。  
 やー [jaa] 【名】 家。  
 やー [jaa] 【動 1: あらん】 ~だ。コピュラ。例文: やらびどう やーむぬー (子供だのに)。やーや んざ やりやー? (家はどこですか?)。  
 やーくす [jaakusɪ] 【名】 引っ越し。  
 やーす [jaasɪ] 【形】 お腹がすいている、空腹である。  
 やーずみ [jaadzɪmi] 【名】 ヤモリ。  
 やーつ [jaatsɪ] 【名】 八つ。  
 やーっしゅー [jaaceuu] 【名】 凶年、飢餓。  
 やーでい [jaadi] 【名】 家族。  
 やーでいぬ たすきだみ [jaadinu tasɪkidami] 【名】 家庭を助ける行事。  
 やーに [jaani] 【名】 来年、翌年。  
 やーぬい [jaanui] 【名】 屋根。  
 やーぬピとう [jaanupɪtu] 【名】 八人、八名。



- やーばん [jaaban] 【名】 留守番。  
 やーふキ [jaafukɨ] 【名】 家葺き、家を建てること。  
 やーま [jaama] 【名】 八重山。  
 やーまぬンまがゆっばイ [jaamanummagajuppaɨ] 【名】 草の一種。  
 やーまピぐる [jaamaɸguru] 【連語】 八重山冷え。八重山の人の性格が冷たいこと  
 のたとえ。  
 やーむとう [jaamutu] 【名】 本家。  
 やーら [jaara] 【形】 柔らかい。  
 やい [jai] 【形】 (体が) 細い、痩せている。  
 やい [jai] 【動 2: やい、やいゆん】 痩せる。  
 やイ [jaɨ] 【名】 銚。  
 やいなが [jainaga] 【形】 細くて背が高い。  
 やいば [jaiba] 【接続】 だから。  
 やいまだ [jaimanda] 【名】 非常にやせている人。  
 やかずまーイ [jakadzɨmaaɨ] 【名】 しょっちゅうあちこちに行くこと。  
 やかずまーりや [jakadzɨmaarja] 【名】 しょっちゅうあちこちに行く人。  
 やがてい [jagati] 【副】 もうすぐ。じきに。間もなく。例文: ばっさ やがてい  
 キっとうす (バスはすぐ来る)。  
 やキ [jakɨ] 【動 1: やき、やかん】 ① 焼く。② (肉などを) 焼く、(食用に動物  
 を屠殺して) 料理する。  
 やぐい [jagui] 【名】 どなっている声、叫び。  
 やぐみ [jagumi] 【形】 ① 恐れ多い。② すごい、とんでもない。  
 やす [jasɨ] 【形】 ① 安い。② 動詞に付き「～しやすい」を表す。例文: つこー  
 やすーぬ きかい (使いやすい機械)。  
 やすキ [jasɨkɨ] 【名】 屋敷。敷地。  
 やすたい [jasɨtai] 【形】 (値段が) 安い。安価。  
 やずまい [jadzɨmaɨ] 【動 1: やずまり、やずまらん】 不妊症である。  
 やつ [jatsɨ] 【名】 お灸 (きゅう)。  
 やっヴあ [javva] 【形】 優しくない。  
 やっヴあす [javvasɨ] 【動 1: やっヴあし、やっヴあさん】 壊す。  
 やっヴい [javvi] 【形】 暴力的。  
 やっヴい [javvi] 【動 2: やっヴい、やっヴうん】 ① 壊れる。② 悪くなる。③ (海  
 が) 荒れる。  
 やっかい [jakkai] 【形】 厄介。  
 やっくん [jakkun] 【名】 薬缶。  
 やっジあみ [jazzami] 【名】 (建物の中に) 侵入する雨。  
 やつふさ [jatsɨfusa] 【名】 草の一種。  
 やでいゆン [jadijum] 【名】 (口) 喧嘩。  
 やとう [jatu] 【名】 (潮が引いたときに残っている) 水溜り。  
 やどう [jadu] 【名】 戸、ドア。  
 やどうばす [jadubasɨ] 【名】 雨戸。  
 やどうふつ [jadufutsɨ] 【名】 玄関。  
 やどうむや [jadumuja] 【名】 水字貝。  
 やな [jana] 【形】 悪い。  
 やないみ [janaimi] 【名】 悪夢。

- やなうむくとう [janaumukutu] 【名】 ずるさ、悪知恵。
- やなかーぎ [janakaagi] 【名】 醜い容貌。
- やなさい [janasai] 【名】 ずるい、悪知恵。
- やなじんぶん [janadzinbun] 【名】 弁えがない。
- やなすんキ [janasɯŋkɯ] 【名】 悪い根性。
- やなすんた [janasɯmta] 【名】 根性が悪い。
- やなびゃーイ [janabjaaɯ] 【名】 非常に強い日差し。
- やなみー [janamii] 【名】 怖い目つきで見ること。
- やなわーつキ [janavaatsɯkɯ] 【名】 悪天候。
- やなんまり [janammari] 【名】 ぶさいくであること。
- やば [japa] 【形】 ① 柔らかい。② やさしい。③ (籤などで) 運がいい。
- やばん [jabam] 【動 1: やばみ、やばまん】 中止する、やめる。
- やぶイ [jabuɯ] 【動 1: やぶり、やぶらん】 壊す、千切る。
- やふぱり [jafupari] 【名】 厄が晴れること。
- やま [jama] 【接頭】 野生の、野良。例文: やまいん (野良犬)。
- やま [jama] 【名】 ① 林、森。② 山。
- やま [jama] 【名】 畏、仕掛け。
- やまいん [jamain] 【名】 野良犬。
- やまかさ [jamakasa] 【副】 たくさん。多い。例文: やまかさぬ じん (たくさんのお金)。たらまざるまんな ぴんざぬどう やまかさ うー (多良間島にはヤギがたくさんいる)。
- やます [jamasɯ] 【動 1: やまし、やまさん】 痛める。
- やまだつ [jamadatsɯ] 【名】 下痢。
- やまとう [jamatu] 【名】 大和。日本本土。琉球列島を除いた日本。
- やまとうぎに [jamatudzani] 【名】 本土血統、本土出身、又は親が本土出身である。
- やまとうピとう [jamatupɯtu] 【名】 日本人、本土出身の人、ナイチャー。
- やまとうふつ [jamatufutsɯ] 【名】 日本語。
- やまむん [jamamum] 【名】 山桃。
- やみ [jami] 【動 2: やみ、やむん】 やめる。
- やらす [jarasɯ] 【動 1: やらし、やらさん】 行かせる、派遣する。
- やらび [jarabi] 【名】 児童、子供。
- やらびつつあぎ [jarabittsagi] 【形】 子供っぽい。
- やらびなー [jarabinaa] 【名】 童名。
- やり [jari] 【形】 古い、使い古された、ボロボロ。
- やりぎん [jarigɯn] 【名】 「ぼろ着物」(ヤギの) 胃袋。
- ヤン [jam] 【名】 ① 病気。② 痛み。
- ヤン [jam] 【形】 痛い。
- ヤン [jam] 【動 1: やみ、やま n】 ① 痛む。② 病む、病気である、(病気に) 罹る。
- ヤンさ [jamsa] 【名】 痛み。
- ヤンピとう [jampɯtu] 【名】 病人。
- ヤンまー [jammaa] 【感】 待てよ。

- ゆ [ju] 【終】 ～よ。相手に対する訴えかけを強くする。
- ゆー [juu] 【数】 四。
- ゆー [juu] 【名】 お湯。
- ゆー [juu] 【名】 夜。
- ゆー [juu] 【形】 重い。
- ゆー [juu] 【動 1: ゆい、やーん】 (髪を) 結う、結ぶ。
- ゆー [juu] 【副】 ① よく、頻繁に。② 良く。
- ゆーす [juusʔ] 【動 1: ゆーし、ゆーさん】 ～しきれぬ。否定の形で使われることが多い。例文: みゃーくづつうばー あイ° ゆーさん (宮古方言が言いきれない)。
- ゆーつ [juutsʔ] 【名】 四つ。
- ゆーでい [juudi] 【動 2: ゆーでい、ゆーどうん】 茹でる。
- ゆーでいとうなか [juuditunaka] 【名】 ゆで卵。
- ゆーふる [juufuru] 【名】 お風呂。
- ゆイ [juʔ] 【名】 夜。
- ゆイ [juʔ] 【名】 晩ご飯、夕食。
- ゆイ [juʔ] 【名】 結、共同作業・相互扶助の制度。
- ゆイ [juʔ] 【動 1: ゆり、ゆらん】 依る。
- ゆイきゃ [juʔkja] 【文】 ～より。例文: かりゃー くずうゆイ° きゃー やいど  
うー (彼は去年より痩せている)。
- ゆヴ [juv] 【名】 お粥。
- ゆが [juga] 【形】 ① 歪んだ。② 不正、間違っている。
- ゆかーす [jukaasʔ] 【動 1: ゆかーし、ゆかーさん】 休ませる。
- ゆかーら [jukaara] 【名】 側、横。
- ゆかーらばた [jukaarabata] 【名】 脇腹。
- ゆかい [jukaʔ] 【動 1: ゆかり、ゆからん】 幸せである。
- ゆがいな [jugaina] 【名】 冗談、滑稽。
- ゆがならーす [juganaraasʔ] 【名】 間違った教え。
- ゆかに [jukani] 【名】 床。
- ゆかばす [jukabasʔ] 【名】 敷居。
- ゆがみー [jugamii] 【名】 視線をそらすこと。
- ゆがン [jugam] 【動 1: ゆがみ、ゆがまん】 歪む、曲がる。
- ゆキ [jukʔ] 【名】 斧。
- ゆぎゃらつふあにやーん [jugjaraffanjaan] 【連語】 余計、要らない。
- ゆく [juku] 【名】 横。
- ゆくー [jukuu] 【名】 休憩、休み。
- ゆくー [jukuu] 【動 1: ゆくい、ゆかーん】 休む、休憩する。
- ゆぐす [jugusʔ] 【動 1: ゆぐし、ゆぐさん】 汚す。
- ゆくみー [jukumii] 【名】 よそ見。
- ゆぐり [juguri] 【名】 汚れ。
- ゆぐり [juguri] 【動 2: ゆぐり、ゆぐるん】 汚れる。
- ゆさらび [jusarabi] 【名】 夕、夕方。
- ゆし [juei] 【動 2: ゆし、ゆそうん】 寄せる。
- ゆすキ [jusʔkʔ] 【動 1: ゆすき、ゆすかん】 濯 (そそ) ぐ。
- ゆだ [juda] 【名】 枝。

- ゆたーイ [jutaaɪ] 【名】 四人。  
 ゆだに [judani] 【名】 しばらくの間、一瞬間。  
 ゆだにゃー すうーんきゃ [judanjaa suunkja] 【連語】 間もなく、すぐに。  
 ゆだりゃ [judarja] 【名】 よだれをたらす人。  
 ゆちらー にゃーん [jutsiraa njaan] 【連語】 役に立たない。  
 ゆつ [jutsɪ] 【形】 幸福、幸せである。  
 ゆっずあ [juzza] 【文】 ～より。例文：かりゃー くずうゆイ° きゃー やいどうー (彼は去年より痩せている)。  
 ゆつつ [juttsɪ] 【動 1：ゆっち、ゆつつあん】 ① 寄る。② (前へ) 進む、前進する。  
 ゆっぱイ [juppaɪ] 【名】 小便、しっこ。  
 ゆっふあーす [juffaasɪ] 【形】 不真面目、怠慢。  
 ゆどうます [judumasɪ] 【動 1：ゆどうまし、ゆどうまさん】 止める、停止させる。  
 ゆどうん [judum] 【動 1：ゆどうみ、ゆどうまん】 止まる。  
 ゆない [junai] 【名】 夜。  
 ゆなか [junaka] 【名】 夜中、夜。  
 ゆなば [junapa] 【名】 与那覇集落。  
 ゆにく [juniku] 【名】 麦粉。  
 ゆぬ [junu] 【形】 同じ。  
 ゆぬぐー [junuguu] 【名】 同類、同じ。  
 ゆぬす [junusɪ] 【名】 ユヌス (人名)、世の主。  
 ゆぬとうす [junutusɪ] 【名】 同年性。  
 ゆぬなか [jununaka] 【名】 世の中。  
 ゆばぎむぬ [jupagimunu] 【名】 いつ経っても成功しない人。  
 ゆばす [jubasɪ] 【動 1：ゆばし、ゆばさん】 吸わせる、吸い込ませる。  
 ゆび [jubi] 【名】 昨夜、昨晚。  
 ゆビ [jubɪ] 【動 1：ゆび、ゆばん】 ① 吸う、吸い込む。② 感電させる。  
 ゆまた [jumata] 【名】 十字路。  
 ゆみ [jumi] 【名】 嫁。  
 ゆみゃーす [jumjaasɪ] 【動 1：ゆみゃーし、ゆみゃーさん】 数える。  
 ゆむ [jumu] 【接頭】 付く言葉を強調する。主に悪い意味の言葉に付く。例文：ゆむつギ (最も劣っている)。  
 ゆむざにふ [jumudzanifu] 【形】 非常に憎い。  
 ゆむつギ [jumutsɪgɪ] 【名】 もっとも劣っている。最低。  
 ゆむな [jumuna] 【名】 鼠 (ネズミ)。  
 ゆむぬ [jumunu] 【名】 鼠 (ネズミ)。  
 ゆらり [jurari] 【動 2：ゆらり、ゆらるん】 (道に) 迷う。  
 ゆらりむぬ [jurarimunu] 【名】 風来坊。  
 ゆるがす [jurugasɪ] 【動 1：ゆるがし、ゆるがさん】 動かす。  
 ゆるギ [jurugɪ] 【動 1：ゆるぎ、ゆるがん】 動く。  
 ゆるす [jurusɪ] 【動 1：ゆるし、ゆるさん】 許す。  
 ゆん [jum] 【形】 お喋り。  
 ゆん [jum] 【動 1：ゆみ、ゆまん】 ① 声に出して言う。お喋りをする。② 読む。  
 ③ 数える。  
 ゆんぎー [jumgii] 【名】 耕す部品の一つ。

—よ—

よー [joo] 【形】 弱い。  
よーイ [jooi] 【名】 祝い、祝賀。  
よーイ [jooi] 【動 1：よーり、よーらん】 弱まる、弱くなる。  
よーイふおー [jooifoo] 【名】 宴、祝宴。  
よーかばイ [jookaba] 【名】 太陽が沈んで夜になるまでの時間帯。  
よーだがま [joodagama] 【名】 病人。  
よーだき [joodaki] 【形】 多い、たくさん。  
よーばー [joobaa] 【名】 弱い人。  
よーん [joon] 【文】 ～ように。例文：のーきょーん やまかき よきんぬ うっ  
きよーん すーやー (農協にたくさんのお金を置くようにしよう)。  
よーんなー [joonnaa] 【副】 ゆっくり。

—ら—

らい [rai] 【文】 ① ～られる。受身（～される）の接辞。例文：じゅんしゃんど  
う んちゃみらいたー (警察官に逮捕された)。② ～られる。可能（～すること  
ができる）の接辞。例文：とうみらいどうす (探せる)。とうみろーん (探せない)。

—る—

る [ru] 【文】 ～ろ、～なさい。命令形。クラス 2 動詞のい語幹に付く。日本語の  
～ろほど口調は強くない。例文：みーる (見なさい)。いでいる (出なさい)。

—わ—

わー [vaa] 【名】 豚。  
わーきな [vaakina] 【名】 ① 態度が悪い、傲慢であること。② 嫉妬。  
わーしゃー [vaacaa] 【名】 豚をつぶし、売ることを職業とする人。  
わーちゃく [vaateaku] 【名】 ① 悪戯。② あいにく。例文：わーちゃくどう う  
きなーんかい ぴり うらんだら (あいにく沖縄に行って、いないのだ)。  
わーつき [vaatsuk] 【名】 天気。  
わーばだ [vaapada] 【名】 表面。  
わーびがた [vaabigata] 【名】 上級や上役の人。  
わーぶ [vaabu] 【名】 上。  
わーら [vaara] 【名】 上、上座。  
わーり [vaari] 【動 2：わーり、わーるん】 追われる。  
わいていー [vaitii] 【副】 一所懸命。  
わいどー [vaidoo] 【感】 励ましの言葉、頑張れ。

—ん—

ん [n]【助数】～回。回数を数える助数詞。例文：いふんが くまんかい キったりゃー？(何回ここに来たの?)。んにゃ ピとうんていー うりゅーばー すうーじゃーん (もう二度とそれをやらない)。

ん [n]【文】～に、～で。例文：しゅーや やーんどう うらまい (おじいさんは家にいらっしゃる)。

ん [n]【文】～ない。否定形を作る。例文：くーん (来ない)。すうーん (しない)。いどうん (出ない)。ぶどうらん (踊らない)。

ン [m]【文】M 語尾。例文：んにゃ ふおーんどー (もう食べちゃうよ)。あさンまぬきゃーや がんずうーっちゃ うらまい。ン？(ご両親は元気でいらっしゃるの?)。

んー [nn]【形】似ている。

んー [nn]【感】はい。同輩や目下に対して用いる。

んー [nn]【感】話し手が次の言葉などを思い出そうとしているときに用いる。

ンー [mm]【数】六。

ンー [mm]【名】巳 (み)。

ンー [mm]【名】芋。

ンー [mm]【動 1：ンみ、ンまん】熟する。

ンー [mm]【動 1：ンみ、ンまん】膿 (う) む。化膿する。

ンー [mm]【動 1：ンみ、ンまん】績 (う) む。(麻などを) よりあわせる。

ンーがまちや [mmgamateɔ]【名】芋ほっぺ屋。服顔。

んーぎ [nngi]【形】似たようである。

ンーぎー [mmgii]【名】芋づる。

ンーぐーる [mmguuru]【名】芋を丸く切った料理。

んーさ [nnsa]【名】唾 (おし)。

んーさ [nnsa]【形】(比較して) 似たようである。

んーだ [nnda]【形】似ている。

ンーつ [mmtsɯ]【名】六つ。

んーな [nnna]【感】はい。同輩や目下に対して用いる。

ンーな [mmna]【名】カタツムリ。

ンーな [mmna]【名】皆、全部。

ンーにーなび [mmniinabi]【名】芋用の (大型) 鍋。

ンーぬイ [mmnuɿ]【名】芋のお握り。

ンーぬピとう [mmnupɿtu]【名】六人、六名。

ンーばとう [mmbatu]【名】鳩。

ンーぶ [mmbu]【名】臍 (へそ)。

ンーぷりゃ [mmpurja]【名】芋堀り用の道具。

んかい [ŋkai]【文】～へ、目的地を表す。例文：くまんかい くー (ここに来なさい)。

んかい [ŋkai]【動 2：んかい、んかいゆん】迎える、歓迎する。

んかし [ŋkaɛi]【文】～へ (向かう方向)。例文：イーんかし あイ°き くー (西に向って歩いて来なさい)。

んかじ [ŋkadzi]【名】ムカデ。

んキ [ŋkɿ]【名】お神酒。

んぎ [ŋgi]【名】アダンの木。

んギ [ŋgɿ]【名】棘。

- んぎ [ŋgɪ] 【名】 右。
- んぎ [ŋgɪ] 【動 1: んぎ、んがん】 抜く。
- んぎていー [ŋgɪtɪi] 【名】 右手。
- んきばな [ŋkɪbana] 【名】 軒下。
- んぎゃ [ŋgja] 【形】 苦い。
- んきゃーん [ŋkjaan] 【名】 昔。
- んきゃーんばなす [ŋkjaanbanasɪ] 【名】 昔話。
- んきゃぎ [ŋkjagi] 【動 2: んきゃぎ、んきゃぐん】 召し上がる、「食べる」「飲む」の尊敬語。
- んぎゃな [ŋgjana] 【名】 にが菜。
- んきゃふ [ŋkjafu] 【名】 海葡萄。
- んぎゃます [ŋgjamasɪ] 【形】 うるさい。
- んキン [ŋkɪm] 【名】 ニキビ。
- んくン [ŋkum] 【動 1: んくみ、んくまん】 ① 下腹に力を入れる。② (痛みなどで) 体を丸める。
- んこー [ŋkoo] 【動 1: んかい、んかーん】 向かう。
- んざ [ndza] 【名】 どこ。例文: あざが やーや んざが やらまいやー? (おにいさんお家はどこにありますか?)。
- んざがま [ndzagama] 【名】 人間のくず。
- んざた [ndzata] 【名】 どころ。例文: んざた やたーがりー? (どころ辺だったっけ?)。
- んざんざ [ndzandza] 【名】 どこそこ。
- んじ [ndzi] 【名】 ① どれ。例文: んじがが ます? (どれがいい?)。② どれどれ。確認する時や、物を渡してもらうように要求する時などに用いる。例文: んじ みし みーる (どれ、見せてちょうだい)。
- んしー [neii] 【文】 ~ようで、~のように。
- んじた [ndzita] 【名】 どれら。
- んじんじ [ndzindzi] 【感】 どれどれ。確認する時、物を渡してもらうように要求する時、相手を促す時などに用いる。例文: んじんじ みし みーる (どれどれ、見せてごらん)。
- んずう [mdzu] 【名】 溝。
- んずぎ [ndzɪgi] 【形】 醜い。
- んぞーさ [ndzoosa] 【副】 残念。
- んぞーな [ndzoona] 【形】 残念。
- んた [mta] 【名】 土。
- んだイ [ndaɪ] 【動 1: んだり、んだらん】 壊す。
- んたビ [ntabɪ] 【動 1: んたび、んたばん】 ① いじる。② 殴る。
- んたぶき [mtabuki] 【名】 土埃。
- んたみーだか [mtamiidaka] 【名】 目の黒いサシバ。
- んだらす [ndarasɪ] 【動 1: んだらし、んだらさん】 壊す。
- んだり [ndari] 【動 2: んだり、んだるん】 壊れる、故障する。
- んちゃみ [nteami] 【動 2: んちゃみ、んちゃむん】 ① 捕まえる。② 触る。
- んつ [mtsɪ] 【名】 道。
- んつ [mtsɪ] 【動 1: ンち、ンたん】 満ちる、多い、いっぱいである。
- んつあ [ntsa] 【名】 (動詞に付き) ~し方、方法。

- ンつう [mtsu] 【名】味噌。  
 ンつうす [mtsusɿ] 【名】味噌汁。  
 ンつなか [mtsɿnaka] 【副】途中。  
 ンてい [mti] 【動2：ンてい、ンとうん】満たせる。  
 んどうイ [nduɿ] 【動1：んどおり、んどौरん】叩きつける。  
 んとうビ [ntubɿ] 【名】野イチゴ。  
 んどうぼーず [nduboodzɿ] 【名】雲丹。  
 んな [nna] 【副】もう（一回など）。あと（一年など）。例文：んな ピてい一つ  
 どう あー（もう一つある）。  
 んなー [nnaa] 【名】今。  
 んなーイ [nnaaɿ] 【名】皆愛、下地にある集落。  
 んなーイふつ [nnaaɿfutsɿ] 【名】皆愛方言。  
 んなイ [nnaɿ] 【動1：んなり、んならん】（ご飯を）握る。  
 んなイ [nnaɿ] 【動1：んなり、んならん】退く。  
 ンなか [mnaka] 【名】中央、真ん中。  
 ンなぐー [mnaguu] 【名】砂。  
 んなぐーずー [nnaguudzɿ] 【名】砂地。  
 んなす [nnasɿ] 【動1：んなし、んなさん】退ける。  
 んなだ [nnada] 【副】まだ。  
 んなつず [nnatsɿdzɿ] 【名】頭のとっぺん。  
 んなび [nnapi] 【副】もっと。例文：んなび っジ ふーじゃーん？（もっと入  
 れてくれない？）。  
 んなピカイ [nnapɿkaɿ] 【名】稲光。  
 んなま [nnama] 【名】今。  
 んなミーてい [nnaɿmɿti] 【名】再来年。  
 んならす [nnaɿrasɿ] 【動1：んならし、んならさん】退かす。  
 んにゃ [nnja] 【名】大変なこと。例文：んにゃてい一どー（たえられない、き  
 つい）。  
 んにゃ [nnja] 【副】もう（しない）。例文：んにゃ くーん（もう来ない）。  
 んにゃさいか [nnjasaika] 【連語】大変だ。  
 んにゃすぐ [nnjasɿgu] 【副】話の中に次の展開を強調する副詞。  
 んにゃゆーんにゃ [nnjajuunnja] 【副】大変だ。  
 んぬつ [nnutsɿ] 【名】命、生命。  
 んぬつがばだ [nnutsɿgapada] 【連語】命の間、一生（の間）。  
 ンばい [mbai] 【動2：ンばい、ンばいゆん】（傷が）広がる、化膿が進む。  
 ンばす [mbasɿ] 【動1：ンばし、ンばさん】伸ばす。  
 ンビ [mbɿ] 【動1：ンび、ンばん】伸びる。  
 ンびよー [mbjoo] 【動1：ンびゃい、ンびゃーん】耐える。  
 ンぶす [mbusɿ] 【動1：ンぶし、ンぶさん】蒸す。  
 ンぶり [mburi] 【動2：ンぶり、ンぶるん】① 蒸れる。② むしむしする、蒸し暑  
 くなる。  
 ンぼー [mboo] 【動1：ンばい、ンばーん】奪う、強引に取る。  
 ンま [mma] 【名】午（うま）。  
 ンま [mma] 【名】① 祖母。② おばあ、年寄りの女性。③ （複合語で）母。例  
 文：なすンま（実母）。



- ンま [mma] 【形】 美味しい、旨い。
- ンまー [mmaa] 【文】 ～するのでしょうか、いやしないでしょう。～するわけないでしょう。反語を表す。例文：きゅーや インかい いかいンまー（今日は海に行けるわけないよ）。
- ンまー [mmaa] 【感】 いやだ。
- ンまが [mmaga] 【名】 孫。
- ンまキ [mmakɿ] 【形】 横着。
- ンまくイ [mmakuɿ] 【形】 非常に美味しい。
- ンます [mmasɿ] 【動 1：ンまし、ンまさん】 濡らす。
- ンまつふあ [mmaffa] 【名】 親子（母と子）。
- ンまつまー [mmatsɿmaa] 【名】 お調子者。
- ンまぬば [mmanupa] 【名】 南の方。
- ンまばく [mmabaku] 【名】 ばくろう、馬の仲買人。
- ンまばっち [mmapattei] 【連語】 母がなくなった。
- ンまやー [mmajaa] 【名】 母側の家。
- ンまらす [mmarasɿ] 【動 1：ンまらし、ンまらさん】 生れさせる。
- ンまり [mmari] 【動 2：ンまり、ンまるん】 生まれる。
- ンまりずま [mmaridzɿma] 【名】 故郷。
- ンまりぱー [mmaripaa] 【名】 親不知。
- ンまりピかず [mmaripɿkadzɿ] 【名】 誕生日。
- ンまりやヴ [mmarijav] 【名】 生まれ損なえ。
- ンまりんから [mmarin̄kara] 【連語】 生まれた時から。天性の。
- ンみ [mmi] 【名】 胸。
- ンみ [mmi] 【名】 棟。
- ンみ [mmi] 【名】 丘、高い所。
- ンみ [mmi] 【名】 群れ。
- ンみ [mmi] 【形】 小さい。
- ンみ [mmi] 【動 2：ンみ、ンむん】 濡れる。
- ンミくず [mmɿkudzɿ] 【形】 喉が詰まる。
- ンみずー [mmidzɿɿ] 【名】 貧乳。
- ンみやーイ [mmjaaɿ] 【動 1：ンみやい、ンみやーん、ンみやーち】 いらっしやる。「行く」「来る」の尊敬語。例文：んざんかいが ンみやーイが？（どこへいらっしやいますか？）。

受理日 2018年4月16日